

平成30年度 夏期スクーリングの手引

第1期 7月28日(土)・7月29日(日)

第2期 8月 1日(水)～8月 3日(金)

※『体育実技Ⅰ・Ⅱ』のみ7月31日(火)～8月2日(木)

第3期 8月 4日(土)～8月 6日(月)

第4期 8月 8日(水)～8月10日(金)

第5期 8月11日(土)～8月13日(月)

第6期 8月15日(水)～8月17日(金)

スクーリング受講手続日程

①	受講申込開始日 (ポータルサイト)	6/ 7(木)
②	履修登録締切日 併用レポート提出締切日(必着) 受講申込締切日	6/20(水) <u>ポータルサイト【24:00まで】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
③	受講資格審査 通知予定日	7/ 6(金) ※ポータルサイトに掲載します。
④	振込用紙発送予定日	7/ 6(金) 発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。
⑤	受講辞退手続締切日	7/13(金) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
⑥	受講料納入期限	7/23(月) <u>銀行窓口にて【厳守】</u>
⑦	結果通知予定	9月上旬 ポータルサイトに掲載します。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学修要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 3 上記1・2の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 4 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 5 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目 次

I 開講日程・会場

- 1 開講日程及び会場…………… 2

II 講座の選定

- 1 受講講座の選定…………… 7
- 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について…………… 8
- 3 「開講講座表」の見方…………… 9

III 開講講座表・講座内容（シラバス）

- 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）
- ・開講講座一覧表…………… 10
 - ・第1期…………… 14
 - ・第2期…………… 16
 - ・第3期…………… 42
 - ・第4期…………… 70
 - ・第5期…………… 94
 - ・第6期…………… 122

IV 講座の申込方法

- 1 受講手続の流れ…………… 148
- 2 履修登録をする…………… 149
- 3 講座を申し込む…………… 152
- 4 受講講座の変更・追加…………… 156

V 申込講座の許可と不許可

- 1 受講資格審査結果通知を確認する…………… 157
- 2 講座振り分け及び受講不許可について…………… 158
- 3 許可講座を辞退する…………… 159

VI 受講料の納入

- 1 受講料…………… 160
- 2 振込用紙発送予定日…………… 160
- 3 納入期限…………… 160
- 4 納入方法…………… 160

VII 受講準備

- 1 使用教材の入手…………… 162
- 2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行…………… 164
- 3 通学定期券の購入手続…………… 164
- 4 「学割証」の発行について…………… 165
（長距離区間乗車時の学生割引制度）

VIII 受講及び試験

- 1 講座の受講…………… 168
- 2 試験の受験…………… 168
- 3 スクーリング結果の確認…………… 169

IX 受講期間中の学生生活

- 1 受講にあたっての諸注意…………… 170
- 2 スクーリング期間中の滞在先届…………… 171
- 3 「千代田区生活環境条例」について…………… 171
- 4 緊急時の避難行動の指示について…………… 171

X オープン受講

- …………… 173

XI 各種用紙

- 「為替」送付時の注意事項…………… 176
- 履修届…………… 177
- 夏期スクーリング受講届…………… 179
- 「博物館実習Ⅰ」受講届…………… 181
- オープン受講届 通信教育部（在学生用）…………… 183
- オープン受講届 社会人等（卒業生用）…………… 185
- スクーリング受講講座変更届…………… 187
- 夏期スクーリング受講申込辞退願…………… 189
- 教材配本申請書…………… 191
- 教材購入用紙（丸沼書店用）…………… 193
- 教材購入願（通信教育教材用）…………… 195
- 通学定期乗車券発行控…………… 197
- 学割証交付願…………… 199
- 証明書交付願…………… 201
- 滞在先届…………… 203
- 休暇依頼状（勸奨状）申込書…………… 205

付録

- 1 交通案内・校舎案内…………… 207

I 開講日程・会場

1 開講日程及び会場

① 開講日程

夏期スクーリングは、「3日間集中講義型」で行われます。(第1期を除く)

第1期～第6期の全6期で開講し、最多で合計6講座まで受講できます。

第1期 7月28日(土)・7月29日(日)

第2期 8月1日(水)～8月3日(金) ※『体育実技Ⅰ・Ⅱ』のみ7月31日(火)～8月2日(木)

第3期 8月4日(土)～8月6日(月)

第4期 8月8日(水)～8月10日(金)

第5期 8月11日(土)～8月13日(月)

第6期 8月15日(水)～8月17日(金)

授業時間各日9:00～17:30(時間内に昼休みを設けます)

		第1期		7月		第2期			第3期			第4期				第5期			第6期			
		28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
授 業 時 間	9:00	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目			授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目		授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目		授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目
	17:30		試 験					試 験			試 験				試 験			試 験				

② 会場

(1) 授業校舎

授業は主として日本大学法学部校舎で行います。ただし、「保健体育講義Ⅰ」、「体育実技Ⅰ・Ⅱ」、「博物館実習Ⅰ」は文理学部校舎、「教職実践演習②」は通信教育部校舎(市ヶ谷キャンパス)で行います。

【講義科目・演習科目】

名 称	日本大学法学部
所 在 地	東京都千代田区神田三崎町2-3-1
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※授業講堂は本学通信教育部ポータルサイトにて事前にお知らせします。

(2) 文理学部で開講する講座(上記の授業校舎と異なる場所で開講する講座)

ア 「保健体育講義Ⅰ」(第1期)について

a 開講日程

7月28日(土)・7月29日(日) 10:00～16:30

※他の科目と開講日程及び時間が異なりますので、留意してください。

b 受講会場

日本大学文理学部3号館 予定(決定次第ポータルサイトで通知します。)

c 「保健体育講義Ⅰ」受講上の注意事項

- ・平成30年度春期教育実習受講者は、「教職実践演習①(事後指導含む)」と日程が重複するため、受講できません。

イ 「体育実技 I ・ II」 (第2期) について**a 開講日程**

7月31日(火)～8月2日(木) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部百周年記念館(後掲「案内図」参照)

c 持参物

- ・運動できる服装(トレーニングウェア等)
- ・室内運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・夏期スクーリングの手引
- ・スクーリング受講資格審査結果通知書

d 集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体に関する理由で体育実技への参加が困難であると思われる方は、**受講申込前(「受講届」提出前)**に教務課に連絡してください(TEL 03-5275-8911)。

f 「体育実技」受講上の注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・文理学部周辺は住宅街で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できないため、食事はなるべく持参することをお勧めします。

ウ 「博物館実習 I」 (第4期) について

「博物館実習 I」は、他の講座と異なり文理学部校舎で受講します。また、以下の受講条件等を確認の上、申し込んでください。

a 開講日程

8月8日(水)～10日(金) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部1号館1階「学芸員課程実習室」

※「学芸員課程実習室」の場所は受講許可通知時に案内します。

c 受講条件(対象者)

- 1 3学年以上で、受講申込の時点で「生涯学習論」、「博物館概論」、「博物館経営論」及び「博物館資料論」の4科目をすでに修得済みであること。
- 2 これまで「博物館実習 I」を受講していないこと。

d 受講申込

- 1 巻末の「博物館実習Ⅰ」受講届」にて申し込んでください。
巻末の「夏期スクーリング受講届」及びポータルサイトからは申し込みできません。
- 2 別途、履修登録が必要です。
- 3 表紙記載の手続期限までに上記手続を行ってください。

e 受講許可

- 1 受講申込者のうち、前述の「c 受講条件」を充足しているか審査します。
- 2 受講許可者には、「博物館実習Ⅰ」専用の「受講許可通知書兼納金票」を送付します。

※受講定員は20名です。受講許可者数が受講定員を超えた場合は、別の開講期に増設して開講する予定です。

なお、増設して開講する場合、講座は大学側で指定します。あらかじめご了承ください。

f 受講料の納入

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

【受講料】20,000円（スクーリング受講料10,000円、諸経費10,000円）

※他の講座と金額が異なりますので、注意してください。

【納入期限】7月23日（月）

※納入期限までに納入がない場合は、受講辞退とみなします。

【納入方法】

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

- 1 窓口で手続きを行う場合
納金票と共に会計課窓口にて現金で納入してください。
- 2 郵送で手続きを行う場合
 - ① 定額小為替又は普通為替で納入する場合
納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。
 - ② 現金で納入する場合
納金票と共に現金書留にて会計課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。

g 注意事項

- 1 当日は、動きやすい服装で受講してください。
- 2 講義内容の詳細は、シラバスを参照してください。
- 3 第4期に他の講座の受講申込がある場合、「博物館実習Ⅰ」は受講できません。ご注意ください。

平成30年度教職実践演習②（8月11日、12日開講）の受講申込みについて

1 教職実践演習とは

教職実践演習とは、平成20年の教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成25年度から開講となったもので、教職課程の他の授業科目の履修や、教職課程外での様々な活動を通じて、教員として最小限必要な資質能力が形成されたかを最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた教職課程の「学びの軌跡の集大成」として位置づけられるものです。

2 開講日程及び会場

- ① 開講日程：平成30年8月11日（土）、12日（日）※2日間とも出席が必要です。
- ② 会場：日本大学通信教育部校舎（市ヶ谷キャンパス）

3 受講対象者

以下①・②の両方に該当する者。

① 対象となる入学年度・入学学年

入学年度	入学形態			
平成22年度	1学年入学			
平成23年度	//	2学年編(再)入学		
平成24年度	//	//	3学年編(再)入学	
平成25年度以降	//	//	//	4学年編(再)入学

② 「教職に関する科目」第5欄「総合演習」に該当する科目（※）を未修得。

【受講が不要な者】

平成20年の教育職員免許法施行規則の改正前の旧課程適用者で、既に「教職に関する科目」の、第5欄「総合演習」に該当する科目（※）を本学もしくは出身大学で修得済みである者。

※本学では、平成24年度までに開講していた「教職課題演習」及び「教職総合演習」。

4 受講料

【受講料】10,000円（スクーリング受講料）

【納入期限】7月23日（月）（銀行窓口 当日事務取扱時間まで）

教職実践演習②専用の「振込用紙」にて上記納入期限までに納入してください。

5 受講手続

「教職実践演習②」は、巻末の「受講届」では申し込みできません。手続き方法の詳細をポータルサイトに掲載していますので、そちらを参照の上、手続きしてください。

また、夏期スクーリング第5期の他の科目と重複して申し込むことはできません。

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

夏期スクーリングでは、3日間の集中講義を、各期につき、1講座（最大6講座）申込みことができます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。以下のような講座が該当します。

過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があります。この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道德教育の研究	T21300	道德教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態	
	平成23年度	1学年入学生	
	平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生	
	平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生	
	平成26年度以降	全入学生	

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

Ⅲ 開講講座表・講座内容（シラバス）

開講講座一覧表

第1期 7 / 28 (土)・7 / 29 (日)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COA1	保健体育講義 I	高橋 正則

火2期 8 / 1 (水)～8 / 3 (金)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COB1	英語 A	アレックス ブラウン
COB2	英語 B	小田井勝彦
COB3	体育実技 I・II ※	高橋 正則
COB4	憲法	名雪 健二
COB5	民法V	山川 一陽
COB6	行政法 I	西原 雄二
COB7	日本政治史	石川 徳幸
COB8	国語音声学	田中ゆかり
COB9	国語学演習 I～III	鈴木 功真
COBA	英作文 I	ダレル ハーディ
COBB	英語学概説	秋葉 倫史
COBC	スピーチコミュニケーション I	パトリック マッコイ
COBD	英語学演習 A	小澤 賢司
COBE	英米文学演習 A	佐藤 秀一
COBF	哲学概論	齋藤 隆
COBG	哲学演習 A	長谷川武雄
COBH	東洋史演習 I・II	高綱 博文
COBJ	古文書学	渡邊 浩史
COBK	経済学概論	続橋 孝行
COBL	労働経済論	村上 英吾
COBM	情報概論 A	中村 典裕
COBN	商法	鬼頭 俊泰
COBP	マーケティング	雨宮 史卓
COBQ	現代教職論	杉森 知也
COBR	教育制度論	長嶺 宏作
COBS	英語科教育法IV	小林和歌子

※『体育実技 I・II』のみ7月31日(火)～8月2日(木)に実施

第3期 8 / 4 (土) ~ 8 / 6 (日)

講座コード	開講講座名	担当講師名
COC1	哲学	嘉吉 純夫
COC2	英語 C	和泉 周子
COC3	英語 D	寒河江 融
COC4	刑法 I	尾田 清貴
COC5	西洋政治史	三澤 真明
COC6	国文学史 I	近藤 健史
COC7	国文学講義Ⅵ (現代)	久米 依子
COC8	英語音声学	森 晴代
COC9	スピーチコミュニケーションⅡ	ダレル ハーディ
COCA	異文化間コミュニケーション概論	大庭 香江
COCB	英米文学演習 B	原 公章
COCC	宗教学基礎講読	小林 紀由
COCD	倫理学基礎講読	関谷 雄磨
COCE	哲学特殊講義	小山 英一
COCF	日本史入門	関屋 雄一
COCG	西洋史特講Ⅱ	高草木邦人
COCH	西洋経済史	上村 能弘
COCJ	経済政策 / 経済政策総論	周藤 利一
COCK	財政学 / 財政学総論	野田 裕康
COCL	経済地理学 / 経済地理	井村 博宣
COCM	貿易論	岡田 直己
COCN	国際金融論	谷川 孝美
COCP	発達と学習	野村 康治
COCQ	教育の方法・技術論	池田有里子
COCR	地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論 (地誌を含む)	羽田 麻美
COCS	社会科・公民科教育法Ⅱ	壽福 隆人
COCT	英語科教育法Ⅲ	リチャード キャラクター
COCU	文化人類学	服部 慶亘

第4期 8 / 8 (水) ~ 8 / 10 (金)

講座コード	開講講座名	担当講師名
COD1	英語 E	天野 暁子
COD2	英語Ⅴ	福島 昇
COD3	英語基礎	上島 美佳
COD4	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子
COD5	民法Ⅰ	益井 公司
COD6	知的財産権法	大滝 均
COD7	政治学原論	吉野 篤
COD8	国文学講義Ⅱ (中古)	笹生美貴子
COD9	漢文学Ⅰ	本間 直人
CODA	国文学演習 A	長谷川正江
CODB	英米文学概説	新井 英夫
CODC	イギリス文学史Ⅱ	猪野 恵也
CODD	英作文Ⅱ	アレックス ブラウン
CODE	英語学演習 B	佐藤 健児
CODF	英米文学演習 C	閑田 朋子
CODG	東洋思想史Ⅱ	梅川 純代
CODH	西洋史概論 / 西洋史概説	馬淵 彰
CODJ	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	坂口 太助
CODK	国際経済論	田宮 憲
CODL	地方財政論	野田 裕康
CODM	保険総論	岡田 太
CODN	商業政策	新島 裕基
CODP	英語科教育法Ⅰ	隅田 朗彦
CODQ	特別活動論 / 特別活動の研究	今泉 朝雄
CODR	博物館実習Ⅰ	折茂 克哉

第5期 8 / 11 (土) ~ 8 / 13 (月)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
C0E1	歴史学	下川 雅弘
C0E2	法学	高須 則行
C0E3	英語 F	桶田 由衣
C0E4	英語 G	山下 登子
C0E5	フランス語 I・II	大庭 克夫
C0E6	商法II	小菅 成一
C0E7	刑事訴訟法	澤田 康広
C0E8	国際政治学 / 国際政治論 / 国際政治学概論	大八木時広
C0E9	国文学概論	武藤 純子
C0EA	国文法	阿久澤 忠
C0EB	国文学講義IV (近世)	高野 奈未
C0EC	英文法	山岡 洋
C0ED	英米文学特殊講義	新井 英夫
C0EE	西洋古典	大住有里子
C0EF	英語学演習 C	田中 竹史
C0EG	英米文学演習 D	堤 裕美子
C0EH	日本思想史 I	島田健太郎
C0EJ	倫理学特殊講義	嘉吉 純夫
C0EK	日本史概論 / 日本史概説	中村 順昭
C0EL	西洋史演習 I・II	坂口 明
C0EM	考古学演習 I・II	西野 吉論
C0EN	経済史総論	飯島 正義
C0EP	情報概論 B	戸塚 英臣
C0EQ	交通論	針谷 莊司
C0ER	教育原論 / 教育の思想	北野 秋男
C0ES	生徒指導・進路指導論	渡辺 典子
C0ET	国語科教育法III	野澤 拓夫
C0EU	博物館経営論	中野 照男

第6期 8 / 15 (水) ~ 8 / 17 (金)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
C0F1	政治学	関根二三夫
C0F2	英語 H	佐藤 恵一
C0F3	英語 J	八木茂那子
C0F4	ドイツ語 I・II	志田 慎
C0F5	中国語 I・II	泉 朝子
C0F6	民法III	長谷川貞之
C0F7	商法III	金澤 大祐
C0F8	法哲学	高須 則行
C0F9	行政学	山田 光矢
C0FA	国文学講義 I (上代)	梶川 信行
C0FB	文章表現法	木村 一
C0FC	国文学演習 B	藤平 泉
C0FD	イギリス文学史 I	鈴木ふさ子
C0FE	アメリカ文学史	北原 安治
C0FF	英語学特殊講義	佐藤 健児
C0FG	英語学演習 D	山岡 洋
C0FH	科学哲学	江川 晃
C0FJ	哲学演習 B	吉岡 司郎
C0FK	日本史特講 I	関 幸彦
C0FL	西洋史入門	後藤 秀和
C0FM	会計学	林 徳順
C0FN	租税論	鵜藤 俊英
C0FP	商品学	松本 竜一
C0FQ	教育相談 / 教育カウンセリング論	望月 由起
C0FR	社会科・地理歴史科教育法 I	ト部 勝彦
C0FS	かな書法	山本まり子
C0FT	博物館情報・メディア論	品川 欣也

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第1期	日 程		授 業 内 容	備 考
	7月28日	土	10:00～16:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを 設けます。
	7月29日	日		

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
COA1	保健体育講義 I	高橋 正則	1	H10100	保健体育講義 I	×	1年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆健康・体力の維持増進について考える

〔保健体育講義Ⅰ〕

担当者：高橋 正則

◆**学修到達目標** 生涯を通じて最も大切な健康とは何か、また、健康・体力の維持増進のために何が必要かについて、基本的な知識を身につけます。この授業では、それらの知識が実際に自らの生活習慣に結びつくための基礎づくりをねらいとしています。

◆**授業方法** 講義形式の授業ですが、資料はパワーポイントによってスクリーンに示しながら、それに沿って授業を進めます。また、必要な場合には、配布資料を準備する予定です。授業の最後に、講義内容からレポートや課題を出す場合があります。

◆**準備学修** 新聞やテレビなどのマスコミを通して、健康・体力に関する情報に日頃から注目するよう心がけてください。

◆**授業計画（各 360 分）**

1日目	午前：ガイダンス（スケジュール、受講時の注意等） コミュニケーションスキル、体力の定義を理解する 午後：体力トレーニングとトレーナビリティ、効果的な運動学習とは（講義の順番等は変更する場合があります）
2日目	午前：メンタルヘルスをチェックする、オリンピズムとは何か？ 午後：現代社会と健康、まとめおよび試験（講義の順番等は変更する場合があります）

◆**教科書** **当日資料配布** 使用しない（授業時、必要に応じて資料を配布します）。

◆**参考書** 使用しない。

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよびレポート・試験結果によって総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第2期

日 程		授 業 内 容	備 考
8月1日	水	各日 9:00～17:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを設けます。
8月2日	木		
8月3日	金		

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COB1	英 語 A	アレックス ブラウン	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
COB2	英 語 B	小田井勝彦	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
COB3	体育実技 I・II	高橋 正則	1	J101S0	体育実技 I	×	1年	・ スクーリング1回の合格で単位 完成する科目です。 ・ 他の講座とは違い、7月31日 (火)、8月1日(水)、8月2日 (木)が授業日となります。	
				J102S0	体育実技 II				
COB4	憲 法	名雪 健二	2	K20100	憲 法		※	・ 法学部のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
COB5	民 法 V	山川 一陽	2	K30400	民 法 V		2年		
COB6	行 政 法 I	西原 雄二	2	K30900	行 政 法 I		2年		
COB7	日 本 政 治 史	石川 徳幸	2	L30400	日 本 政 治 史		2年		
COB8	国 語 音 声 学	田中ゆかり	2	M31400	国 語 音 声 学		2年		
COB9	国 語 学 演 習 I ～ III	鈴木 功眞	1	M401S0	国語学演習 I	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				M402S0	国語学演習 II				
				M403S0	国語学演習 III				
COBA	英 作 文 I	ダレル ハーディ	2	N30400	英 作 文 I	×	2年	・ スクーリング1回の合格で単位 完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COBB	英 語 学 概 説	秋葉 倫史	2	N30700	英 語 学 概 説		2 年		
COBC	スピーチコミュニ ケーションⅠ	パトリック マッコイ	2	N30900	スピーチコミュニ ケーションⅠ		2 年		
COBD	英 語 学 演 習 A	小澤 賢司	1	N401S0	英 語 学 演 習 Ⅰ	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英 語 学 演 習 Ⅱ				
				N403S0	英 語 学 演 習 Ⅲ				
COBE	英 米 文 学 演 習 A	佐藤 秀一	1	N404S0	英 米 文 学 演 習 Ⅰ	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英 米 文 学 演 習 Ⅱ				
				N406S0	英 米 文 学 演 習 Ⅲ				
COBF	哲 学 概 論	齋藤 隆	2	P30300	哲 学 概 論		2 年		
COBG	哲 学 演 習 A	長谷川武雄	1	P401S0	哲 学 演 習 Ⅰ	×	3 年	・哲学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				P402S0	哲 学 演 習 Ⅱ				
COBH	東 洋 史 演 習 Ⅰ Ⅱ	高綱 博文	1	Q403S0	東 洋 史 演 習 Ⅰ	×	3 年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q404S0	東 洋 史 演 習 Ⅱ				
COBJ	古 文 書 学	渡邊 浩史	2	Q31700	古 文 書 学		2 年		
COBK	経 済 学 概 論	続橋 孝行	2	R20300	経 済 学 概 論		※	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
COBL	労 働 経 済 論	村上 英吾	2	R32200	労 働 経 済 論		2 年		×
COBM	情 報 概 論 A	中村 典裕	2	R32300	情 報 概 論		2 年		
COBN	商 法	鬼頭 俊泰	2	S30200	商 法		2 年		
COBP	マーケティング	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング		2 年		
COBQ	現 代 教 職 論	杉森 知也	2	T10100	現 代 教 職 論	×	2 年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COBR	教 育 制 度 論	長嶺 宏作	2	T20200	教 育 制 度 論	×	2 年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COBS	英 語 科 教 育 法 Ⅳ	小林 和歌子	2	T30400	英 語 科 教 育 法 Ⅳ	×	2 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	×

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

- ◆ **学修到達目標** In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie; School of Rock starring Jack Black.
- ◆ **授業方法** We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.
- ◆ **準備学修** Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.
- ◆ **授業計画 (各日450分)**

1日目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study Scenes 1 & 2 comprehension questions and role play Scenes 3 & 4 vocabulary study Scenes 3 & 4 comprehension questions and role play
2日目	Movie viewing Scenes 5 & 6 vocabulary study Comprehension questions and role play Vocabulary quiz Scenes 7 & 8 vocab, comprehension questions and role play
3日目	Scenes 9 & 10 vocab, comprehension questions and role play 9 & 10 Continued Vocabulary quiz #2 Review for Final Final Test

- ◆ **教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.
- ◆ **参考書** none.
- ◆ **成績評価基準** Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代のイギリスを知る

〔英語 B〕

担当者：小田井 勝彦

◆**学修到達目標** 長い伝統を持ち、これまで世界をリードし、国際社会に大きな影響を与えてきたイギリスに関して、EU 離脱問題など最新事情を考察しながら、英語の読む・聞く・書く・話すの4技能の向上を目指していきます。

◆**授業方法** 教科書の順に進めていきます。まず Warm-up, Vocabulary in Focus でその課で学ぶ表現を確認、Reading Comprehension で一文一文和訳しながら内容を学び、Exercises で本文の内容や出てきた表現を確認、Dialogue でリスニングに挑戦していただきます。

◆**準備学修** 受講者を指名して和訳していただきますので、辞書をしっかり引き、本文を和訳して来て下さい。また、Warm up, Dialogue は当日 CD を聞きながら解答していただきますが、Vocabulary in Focus, Exercises は事前に解答を考えてきて下さい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価についてなど） Unit 1 The Brexit Referendum . Unit 2 The New Mayor of London Unit 3 Brits on Bikes Unit 4 Oxford and Cambridge: Looking to the Future Unit 5 A Profile of Cornwall. ※進度は当日の状況により、変更となる場合があります
2日目	Unit 6 The Cost of Being Young Today Unit 7 It All Began at Rugby School. Unit 8 Britain and the Sea Unit 9 Images of Scotland Unit 10 “The New Look” : Beards and Tattoos
3日目	Unit 11 The Japanese in Britain Unit 12 Health Matters Unit 13 The House of Windsor: Crisis and Continuity テスト

◆**教科書** 丸沼 『鼓動するイギリス』 John H.Randle 成美堂 2018 2,052円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点（発表、出席状況など） 30% ※毎回出席することを前提としています。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：高橋 正則

- ◆**学修到達目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、適度な運動習慣を日常生活習慣に取り込んでいくための基盤づくりをねらいとしています。
- ◆**授業方法** 原則として天候に左右されない体育館での授業とし、小グループで色々な運動やスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心に）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解します。また、体力測定を通して、体力の現状を自覚し、その維持増進についての認識を高めます。
- ◆**準備学修** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	ガイダンス（施設の使用法および注意事項等）、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定（握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び等）、自己評価、体力の維持増進についての解説 班別スポーツ種目の展開 (1) 卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
2日目	班別スポーツ種目の展開 (2) 卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等班別スポーツ種目の展開 (3) 卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
3日目	班別スポーツ種目の展開 (4) 卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等班別対抗ソフトバレーボール大会（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）

- ◆**教科書** 使用しない。
- ◆**参考書** 使用しない。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価します。

◆憲法を考える

〔憲法〕

担当者：名雪 健二

- ◆**学修到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で、憲法を知ることが極めて重要である。憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。
- ◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。
- ◆**準備学修** 3日間の授業計画が記載されているので、授業を理解する前提として、教科書をよく読んでおくこと。授業範囲内における専門用語については、法学（法律学）辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	憲法の学び方、憲法の内容、憲法の分類、日本国憲法制定の法理、日本国憲法の構造、日本国憲法の基本原理、天皇、基本的人権－人権総論
2日目	基本的人権（精神的自由権）、国会の憲法上の地位、衆議院の解散。議院の権能（自律権、国政調査権）、内閣総理大臣の憲法上の地位・権能、違憲審査権
3日目	基本的人権（経済的自由、人身の自由）、社会権、国会の権能（憲法改正）、内閣の総辞職、総括

- ◆**教科書** **丸沼** 『日本国憲法』名雪健二 有信堂 3,780円（税込）（送料350円）
- ◆**参考書** **丸沼** 『憲法第6版』芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店 3,348円（税込）（送料350円）
- ◆**成績評価基準** 授業態度・小テスト（1回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆家族のあり方と相続

〔民法V〕

担当者：山川 一陽

◆**学修到達目標** 親族という家族における法律関係の発生・変更・解消ということを知り、さらに親族の死亡にともなう相続という法律関係を理解する。そして、相続の形態としての法定相続ではないものとしての遺言相続を理解できるようにする。

◆**授業方法** 教科書を元にして講義方式によるが、なるべく重要な所については集中方式をとりたい。

◆**準備学修** 講義前に一通り教科書に目を通しておくこと。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	<ol style="list-style-type: none"> 1 家族法の歴史と家族法を学ぶに際しての前提となる知識〔家庭裁判所の機能と役割、家族の登録制度である戸籍制度など〕を学ぶ。 2 親族概念とその発生・変更・解消など 3 家族の発生原因としての婚姻、解消原因としての離婚について
2日目	<ol style="list-style-type: none"> 1 親子と新しい家族制度 2 民法が認める親子の種類 3 実親子関係とその変容 4 普通養子制度と特別養子制度について 5 扶養制度 6 相続の歴史と相続の基礎知識 7 相続における同時存在の原則と相続の基本原則
3日目	<ol style="list-style-type: none"> 1 相続人と相続分 2 代襲相続制度 3 相続の放棄と承認 4 特別受益と寄与分 5 遺言制度 6 遺留分制度 7 最新の相続法改正とその概要

◆**教科書** **丸沼** 『親族法・相続法講義〔第6版〕』山川一陽著 日本加除出版 ¥3,888円(税込)(送料350円)

◆**参考書** **丸沼** 『相続法改正のポイントと実務への影響』山川一陽他 日本加除出版 ¥4,644円(税込)(送料350円)

◆**成績評価基準** 講義への出席と論文試験の結果による。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 現代の行政が高度化し、それに伴って行政の手法も多様化してくると、行政の制度・理論も現代行政の態様に応じた変容が必要となってくる。本授業では、行政法についての基本的な知識や考え方を理解することを目的としている。いかに行政法が身近で重要な法律であるのかを学ぶ。

◆**授業方法** 主に講義形式で行う。ただし、受講生ができる限り主体的に授業に参加し、理解を深めてもらいたいと考えているので、質疑応答の形式をとることもある。重要なテーマを取り上げ、板書しながら解説する。

◆**準備学修** 短時間で授業を行うため、その場で初めて授業の内容に触れたのでは、なかなか理解ができない内容もある。したがって、毎回事前に教科書の該当箇所を読んでおくことが前提となる。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	①ガイダンス ②行政法の全体像 ③行政と法 ④行政法の法源 ⑤行政活動の担い手1 ⑥行政活動の担い手2 ※行政法とは何か、行政とは何か、行政法の法源（具体的な存在形式）とは何か、行政活動の担い手（行政組織）について、十分に理解する。
2日目	①行政過程と法 ②行政行為1 ③行政行為2 ④行政行為3 ⑤行政立法 ⑥行政計画 ※行政作用（活動）の中で、行政過程とは何か、行政行為の意義・種類・効力などについて理解を深める。さらに、行政作用の別のテーマである行政立法、行政計画についても理解する。
3日目	①行政指導 ②行政契約 ③行政上の義務履行の確保 ④行政救済 ⑤試験の実施 ※行政作用の別のテーマである行政指導、行政契約、行政上の義務履行の確保（行政強制）について、それぞれの意義や内容などを理解する。さらに、行政救済（行政活動に対する国民の救済手段）についても言及する。

◆**教科書** 丸沼 『行政法（第3版）』池村正道編 弘文堂 2017年2月 3,024円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験（100%）。ただし、毎回出席することを前提として評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆昭和前期の日本政治

〔日本政治史〕

担当者：石川 徳幸

- ◆**学修到達目標** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史の形で学んでいく。歴史の流れを正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは得策ではないが、便宜上、本講義では昭和前期（戦前期・戦中期・占領期〔一部〕）を対象とする。第二次世界大戦前後の背景を理解するとともに、歴史的事象の見方や考え方を身につけてもらいたい。
- ◆**授業方法** 基本的には、教科書の章立てに沿った形で講述する。授業内容は、あくまでも初学者を対象とした内容で構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、各自、ノートを必ず持参すること。
- ◆**準備学修** 予習として、事前に教科書の該当範囲（第8章～第9章）に目を通しておくこと。復習として、受講中にとったメモを整理し、ノートをまとめておくこと。
- ◆**履修条件** 昼間スクーリングで同科目を受講しているか、教科書第7章までを通読していることが望ましい。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	「軍部支配と戦争への歩み Ⅰ」 イントロダクション／政党政治の隆盛と国際的孤立 ※二大政党による国内政治の展開と、軍部が政治に進出してくる過程を詳しくみていく。
2日目	「軍部支配と戦争への歩み Ⅱ」 戦争とファシズムへの道／日中戦争 ※二大政党による国内政治の展開と、軍部が政治に進出してくる過程を詳しくみていく。
3日目	「大日本帝国の崩壊」と「新生日本の誕生」 戦争への道／大東亜戦争（アジア・太平洋戦争）／新生日本の誕生へ ※戦時体制の形成過程と、敗戦までの政治情勢について詳しくみていく。当時の対外論の論理を考察する。

- ◆**教科書 教材** 『日本政治史 L30400』通信教育教材（教材コード000452）3,400円（送料込）
- ◆**参考書** 参考書は、必要に応じて授業の中で紹介する。
高校時代に「日本史」選択だった方は、日本史用語集なども有用。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。
なお、全体の3分の1を超える欠席がある場合、評価の対象としない。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 日本語の音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションについて概説する。音声学の基礎的な考え方について学習し、日本語音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションの具体的な記述と考察が、受講者各自可能な段階に到ることを目標とする。

◆**授業方法** 教科書・教場における配布資料を用いた講義形式を中心とするが、視聴覚教材なども用いた発音・聞き取り・国際音声記号などの書き取りの練習も行う。また、具体的な事例から、規則を発見する課題なども適宜行う。

◆**準備学修** 事前に教科書に一通り目を通しておくことを薦める。

◆**履修条件** 国語学概論修得済みであることが望ましい。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	1. ガイダンス 2. 拡大50音図・音素記号・音声記号（IPA） 2. 発音器官 3. 母音
2日目	4. 子音 5. 異音 条件異音 自由異音
3日目	6. リズム：拍・音節・フット 7. アクセント・イントネーション 8. 教場試験と解説

◆**教科書** **通材** 『国語音声学 M31400』通信教育教材（教材コード000266）1,650円（送料込）

◆**参考書** 教科書末尾掲載の参考文献参照。授業内でも随時紹介する。

◆**成績評価基準** 教場試験 80%・平常点・出席 20% ※全日程出席が試験受験資格

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆狂言台本を日本語学的に考察する

〔国語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

担当者：鈴木 功真

◆**学修到達目標** 日本語に就いて研究する実際の分析考察方法を知るために、具体的な文献として中世後期から近世中期の大蔵流狂言台本を採り上げ、本文を全員で分担解説・現代語訳を作成し、調査・考察の報告を行う。その作業を通して、日本語学的な分析考察方法を獲得することを目標とする。

◆**授業方法** 演習科目なので、全員が報告をする。受講生数が決まり次第、事前資料を送付し、分担箇所を指示する。開講前に十分な日本語学的作業を行った報告資料を作成した上で授業に臨むこと。作業方法は配付資料に示す。必要に応じて報告時の討議で明らかとなった課題についてレポートを課すことがある。

◆**準備学修** 事前配付資料を熟読の上、日本語学・日本語史や中世後期の抄物資料に関する日本語学的研究の情報を参考書等を中心に把握しておくこと。参考書は図書館で閲覧するレベルのものである。第1回発表に就いては、自分の担当箇所はもちろんのこと、前後も読んだ上で準備を進めること。第2回発表に就いても、3日間のスクーリング期間中はなかなか進められないため、事前に準備しておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス 日本語学的調査・考察方法に就いて。 中世近世資料、特に狂言台本の日本語学的性格に就いて。 発表と討議 1-1 正確な本文解読の獲得
2日目	発表と討議 1-2 正確な本文の獲得と考察ポイントの探究。 特に、古代語・現代語との相違の自覚。 発表と討議 2-1 日本語学的位置づけの検討に向けて。 古代語から現代語への変化の過程を中心に。
3日目	発表と討議 2-2 日本語史の変遷の中で当該資料をどう位置付けるかの検討。実際の本文を通じた調査と先行研究の指摘の 対応に就いての確認。 まとめ 対象資料を中心とした日本語の実態と、日本語史全体の把握。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリント配布。

◆**参考書** **丸沼** 『日本語大事典』佐藤武義ほか編 朝倉書店 81,000円
〈上記の本は高額のため図書館等を利用してください〉

丸沼 『国語史を学ぶ人のために』木田章義編 世界思想社 3,132円（税込）（送料300円）

丸沼 『日本語研究法【古代語編】』青葉ことばの会編 おうふう 3,024円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 第1回、第2回の発表および質疑応答への参加100%。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆学修到達目標 The course objectives are as follows:
- 1.To define academic writing and become familiar with pre-writing activities.
 - 2.To review and practice writing effective topic, supporting, and concluding sentences.
 - 3.To learn important language factors to make paragraphs more coherent and cohesive.
 - 4.To practice and improve edition and revision skills.
- ◆授業方法 In this course we will emphasize academic writing skills and focus on how to write an “academic” paragraph. We will begin with practicing pre-writing activities to generate ideas for writing. Next, we will look at the components of a paragraph, topic sentence, supporting sentences, and concluding sentence, in detail. Once we have covered the main components, we will study language factors which are important for paragraph coherence and cohesion. Finally, we will discuss what to look for when editing.
- ◆準備学修 No preparation or prerequisites are required. However, students should have a good understanding of basic sentence structure.
- ◆履修条件 Students are required to attend all three days, submit an “academic” paragraph, and write a final test.
- ◆授業計画 (各日450分)

1日目	Orientation; Introduction to academic writing; Part 1 - Getting ready to write: what is a paragraph? The structure of a paragraph, generating ideas for writing – brainstorming, writing a topic sentence, choosing supporting points, and making an outline. Part 2 - Writing a paragraph: supporting ideas with details, organizing supporting sentences, writing a concluding sentence, and choosing a title.
2日目	Part 3 - Writing a coherent paragraph: coherence, using conjunctions, using transitional expressions, avoiding run-on sentences and sentence fragments. Complete first draft of paragraph.
3日目	Part 4 - Editing a paragraph: academic writing style, edition a paragraph, and peer editing of paragraph. Submit final draft of paragraph and final examination.

- ◆教科書 Handouts will be provided.
- ◆参考書 A dictionary may be helpful.
- ◆成績評価基準 “Academic” paragraph = 40%; Final test = 40%; Participation = 20%

◆英語の世界をより深く知るために

〔英語学概説〕

担当者：秋葉 倫史

◆**学修到達目標** 本講座では、英語を研究する学問である英語学がどのような学問分野であるか、言語を研究する上で必要なアプローチ方法はどのようなものがあるかといった入門的知識を導入します。英語学のねらいとその学問の下位分類や関連する学問分野を学習することによって、国際共通語としての英語の言語的特徴を説明できるようになること、及び、これらの知見を今後の学習や実際の場面（日常的な言語使用での気付きや教育現場等）へ活用できるようになることを目標とします。

◆**授業方法** 基本的に配布プリントを基に講義形式で進めます。ただし、学習内容に沿った質疑応答や、プリントの例文について発表してもらうというような演習形式の要素も適宜加えていきます。なお、授業内で使用するため、辞書（ただし、ネットワークに接続可能なものは認められない）は必ず持参すること。必要に応じて、内容・進度は調整することもあります。

◆**準備学修** 下記の授業計画のトピックに関して、事前に配布された資料に沿って、指定された参考書やその他の英語学の入門的な教材を事前に読んでおくことが望まれます。

◆**履修条件** 平成29年度夏期スクーリング「英語学概説」（秋葉担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	1. 授業ガイダンス 2. Introduction —英語学とは何を研究する分野であるかを学習する 3. 英語学の研究分野と方法論（1） —音韻論・形態論・統語論を中心に学習する
2日目	1. 英語学の研究分野と方法論（2） —意味論・語用論を中心に学習する 2. 英語史入門 —「英語史」とはどのような研究領域か、通時的に観察される例を検証しながら学習する
3日目	1. 日英語対照研究入門 —日英語の相違について、複数の文法項目の例を検証しながら学習する 2. その他の言語学的観点 —社会言語学・コーパス言語学等を中心に英語学の知見の活用を学習する 3. 試験

◆**教科書** **事前資料送付** 事前に授業プリントを配布します。

◆**参考書** **通材** 『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード000400）3,400円（送料込）
<この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄・澤田治美 編（開拓社）と同一です。>

丸沼 『日英語対照による英語学概論 増補版』 西光義弘 編 くろしお出版 2,700円（税込）（送料300円）

丸沼 『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三 著 ひつじ書房 1,512円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業への取り組み（40%）を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とします。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** Since this is a speech communication class, I expect you to try your best to speak English at all times (part of your grade will be based on participation)
There are no prerequisites for this class, so I expect there will be a mixture of students with a variety of language ability in English. For students who have had little experience studying English communication, this class may seem quite difficult – please try your best. For students who have studied English communication or have lived abroad, this course may seem rather easy; however, I expect you to do your best and help other students. Your grade for the speaking test will be based on your effort to communicate using the Language covered in this course. Your grade will NOT be based on your overall language ability.

◆**授業方法** 1. To use English for communication with a focus on fluency.
2. To review basic language to talk about general themes.
3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆**準備学修** なし

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	Orientation; Clarifying Language, introducing your partner (Getting To Know You) ; Find Someone Who..., Values Topics discussion. Talking About Routines.
2日目	Famous Firsts; Talking About Appearance and Personality.
3日目	1st Part: Preparation for presentations of topics from previous lessons./Students give presentations of their selected topics. 2nd Part: Preparation for Tests; Written and Oral Tests.

◆**教科書** No text-handouts provided by instructor.

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** Class participation: 60% Written test: 20% Speaking test: 20%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆進行形 be- ing を深く考える

〔英語学演習 A〕

担当者：小澤 賢司

◆**学修到達目標** 本授業では、進行形 be- ing に関する基礎的文献 Quirk et al. (1985) を読みます。英語学に関する論文を作成する場合、「英語で書かれた英語学に関する文献」、すなわち「英語の文献」を読むことは必須となります。本授業では、「英語の文献」を読みこなす力を身に付けるとともに、英語の進行形が持つ様々な意味特徴を広く深く理解し、発展的に考える力を身に付けることを目標とします。

◆**授業方法** 輪読形式でテキストを読み進めていきます。受講者の方に（こちらが指名して）音読・和訳をしてもらいます。本授業では、専門書を扱い（読み）ますので、以下に示した準備学修が極めて重要となります。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、以下の授業計画はあくまでの「目安」とお考えください。

◆**準備学修** 「徹底した'予習」と「可能な限りの'復習」をお願いします。

(a) 音読

本授業において、極めて重要な予習項目となります。既知の単語でも発音とアクセント（特にアクセント）はしっかりと調べ、発声できるようにしておいてください。

(b) 内容理解及び和訳

きれいな和訳にすることも重要ですが、それよりもそこに書かれている内容がしっかりと把握・理解できているかを重視してください。わからない箇所は何度も何度も読み返し、考えに考え抜いてください（「読書百遍意（義）自らから通ず」）。

(c) 文法・文構造の理解

文法的、ないしは文構造的に不明な箇所はチェックしておいてください。

(d) 復習

本授業は3日間と期間は短いですが、復習を怠らないようにしてください。テキスト（プリント）が難しいと感じる場合、殊更、復習が重要となります。

(e) 事前知識として

中高のときに使用していたもので構わないので、手持ちの文法書や参考書等で、本授業に関する知識を復習しておいてください。

◆**履修条件** 平成28年度夏期スクーリング「英語学演習」（小澤担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	§ 4.25 (aspect とは何か) § 4.26 State, event, and habit with the progressive § 4.27 Situation types Vendler (1967) による動詞の4分類 State / Activity / Accomplishment / Achievement
2日目	§ 4.28 Stative types A and B: Qualities and States § 4.32 Type C: Stance § 4.33 Dynamic types D-K § 4.34 Durative situation types
3日目	§ 4.35 Punctual situation types § 4.36 Progressive aspect in relation to tense § 4.37 Other uses of the progressive aspect テスト ※時間の都合上、§ 4.37 は扱わない可能性アリ

◆**教科書** **事前資料送付** Quirk, Randolph, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech and Jan Svartvik. 1985. A Comprehensive Grammar of the English Language. London: Longman.

◆**参考書** 特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの英和辞典は必ず持参してください。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・出席状況・発表など）、及びテストにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆憂鬱な人生観のメルヴィル

〔英米文学演習 A〕

担当者：佐藤 秀一

- ◆学修到達目標 American Renaissance の作家のひとり、Herman Melville はその短篇『バートルビー』Bartleby の中で自身の人生観を表明している。そしてこの作品の主人公は、21世紀の人生観を代弁していると考えられ、そのことを作品を通して考察できるようにする。
- ◆授業方法 受講生には分担された箇所を翻訳し、あるいは内容を要約し、手法、描写、コンテンツ等において感動した点、疑問点、問題点を発表してもらう。時にはペアワークやグループワーク等を通してそれに基づいてディスカッションをし、鑑賞して行く。
- ◆準備学修 作品をあらかじめ一語一語単語を調べ、丁寧によく読んで、自分の考え、意見をもって授業に参加し、積極的に発言して欲しい。
- ◆授業計画 (各日450分)

1日目	ガイダンス (授業の進め方、ペアワーク、グループワーク、評価等) Herman Melville についての基本的な知識 I am a rather elderly man. (p.1, 1.1) ~ …suffering much from perplexity and distress of mind. (p.21, 1.26) 演習, 発表, ディスカッション
2日目	Shall I acknowledge it? (p.21, 1.27) ~ …for such period as you may see fit to remain. (p.41, 1.24) 演習, 発表, ディスカッション
3日目	I believe that this wise and blessed frame of mind (p.41, 1.25) ~ …Ah!, Bartleby! Ah humanity (p.55, 1.25) 演習, 発表, ディスカッション, 作品の総括

- ◆教科書 丸沼 『バートルビー』Bartleby 高村勝治・木村治美編註 松柏社 1,026円 (税込) (送料215円)
- ◆参考書 授業内で適宜紹介します。
- ◆成績評価基準 授業への参加度 (予習, 発表, 受講状況, 貢献) 40%、試験 60%

◆近世以降の哲学

〔哲学概論〕

担当者：齋藤 隆

- ◆学修到達目標 中世末から近世への移行を概観し、R. デカルトと F. ベーコンに始まる近世哲学の二大潮流と、それらが I. カントによって批判的に統合され、G.F. ヘーゲルに至る展開を理解する。
- ◆授業方法 テキストと印刷物を用いて、講義中心に授業をすすめる。質問は随時受けつけるので、遠慮なく発言してもらいたい。
- ◆準備学修 テキストの第1章・第2章・第3章の当該箇所を前もって2~3回読んでおくこと。印刷物にも眼を通しておくこと。
- ◆授業計画 (各日450分)

1日目	哲学とは何か、古代・中世哲学外観、ルネサンス、宗教改革
2日目	デカルトと大陸合理論哲学の展開 ベーコンと英国経験論哲学の展開 カント哲学
3日目	カントからヘーゲルへ

- ◆教科書 通材 『哲学 B10700』通信教育教材 (教材コード000404) 3,650円 (送料込) ※学修指導書付き。
(この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆編著 (北樹出版) と同一です。)
事前資料送付 印刷物。
- ◆参考書 授業時に紹介する。
- ◆成績評価基準 全出席を前提とし、最終日に行なう筆記試験の成績を中心に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「労働」と「仕事」

〔哲学演習 A〕

担当者：長谷川 武雄

◆**学修到達目標** 日本は高齢化と少子化，結果労働力不足と共に働き方の問題に直面している。「生きるため」に働くは周知のことである。前回はヘーゲル以降，ニーチェまでの主な「労働観」を概観したが，今回は一女性政治哲学者の「人間の条件 (condition)」から，マルクスの労働観の批判が中心となる。その中で，「労働」と「仕事」との関係において示唆するものを得てもらいたい。

◆**授業方法** 基本的に「一定ページについての(分析・批判)発表」と，それに対する「質疑応答」を中心とする。従ってこの点から授業の中では，様々な「問い・答え」の組合せ(いわゆる「対話」)方法を通して，「分析する」に加え，「探求する」をも実践する。同時に受講者にはその要点・妥当性を「記述(論述)」することにより，「分析・探求」の整理を行ってもらう。

◆**準備学修** 教科書「プロローグ」「第一章」は必ず事前に読み，著者がどのような問題意識を持ち，何を目的として本書を著したのかを理解しておくこと。更に発表章(第三章 労働)以外の章(特に4章 仕事)にも目を通しておき，不明・理解難な概念や表現も可能なかぎり調べておくこと。少なくとも言葉の意味等調べることが出来るよう辞典・事典類は手元に置き，いつでも調べられるようにしておくこと。

◆**授業計画(各日450分)**

1日目	1 これからの講義について全体的説明，2 この授業における論述の書き方，3 講義：ヘーゲル以降の「労働観」(ヘーゲルからマルクスへ)，「労働観」の整理(まとめ，問題点，批判的考察)，教科書「第一章，第二章」まとめ
2日目	教科書 第三章 労働(11「わが肉体の労働とわが手の仕事」/12 世界の物的性格/13 労働と生命/14 労働と繁殖力) <発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察>
3日目	教科書 第三章 労働(15 財産の私的性格と富/16 仕事の道具と労働の分業/17 消費者社会) <発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察>

◆**教科書** **丸沼** 『人間の条件』ハンナ・アレント 筑摩書房 ちくま学芸文庫 1,620円(税込)(送料300円)

◆**参考書** **丸沼** 『ハンナ・アレント 「戦争の世紀」を生きた政治哲学者』矢野久美子 中央公論新社(中公新書) 885円(税込)(送料300円)

丸沼 『ハンナ・アレント 「人間の条件」入門講義』仲正昌樹 作品社 2,160円(税込)(送料450円)

◆**成績評価基準** 発表・質疑応答(60%)，授業時課題(主に論述)(30%)，その他(10%)。
最終的には，以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

注意

E-mailを送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

◆満洲事変

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：高綱 博文

◆**学修到達目標** 緒方貞子『満洲事変』をテキストとして、満洲事変の背景・展開・影響を検証しながら講読する。満洲事変前後の日中関係、その後における日本の政策と国際関係の変容について理解する。

◆**授業方法** 報告担当者を決め、レジュメを提出していただき発表・討論・質疑応答の形式で進める。

◆**準備学修** 事前に資料を送付しますので、担当したテキスト個所についてレジュメ(内容要約・コメント等)を作成する。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	近代日中関係史の研究手法(講義) 「満洲事変から満洲国建国へ」(DVD視聴) テキスト『満洲事変』を講読・討論(1)
2日目	テキスト『満洲事変』を講読・討論(2) 「満洲国皇帝・溥儀」(DVD視聴)
3日目	テキスト『満洲事変』を講読・討論(3)

◆**教科書** **丸沼** 『満洲事変』 緒方貞子 岩波現代文庫 1,598円(税込)(送料300円)

事前資料送付 事前に資料を送付します。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 3日間の出席を前提として授業への取り組み(発表・討論等)により総合的に評価します。

◆古文書とは何かを理解しよう

〔古文書学〕

担当者：渡邊 浩史

◆**学修到達目標** 古文書の様式や機能を理解する事で、古文書読解の基礎力を習得する。また、複数の文書がどのように機能するかも学び、卒業論文作成の基本的な能力を身につける。

◆**授業方法** 講義方式で行う。テキストを指定するが、適宜テキストを理解するためのプリントやweb上で利用できる古文書のデジタルデータを利用する。

◆**準備学修** なし。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	はじめに 史料論 1. 古文書の様式 (1) 様式の分類 (2) 公式様文書
2日目	(3) 公家様文書 (4) 武家様文書
3日目	2. 古文書の実際 東寺百合文書に見る古文書の発給過程とその機能

◆**教科書** **通材** 『古文書学 Q31700』 通信教育教材(教材コード000502) 4,350円(送料込)
(この教材は市販の『古文書学入門』 佐藤進一 法政大学出版会と同一です。)

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 平常点20% 試験80%

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆経済学入門<ミクロ編>

〔経済学概論〕

担当者：続橋 孝行

◆**学修到達目標** この授業は、ミクロ経済学の分析要具を用いて現実に身の回りで起きる経済事象を分析し、理解することにあります。経済事象として消費者物価の下落・上昇、喫煙、最低賃金制、消費者金融、所得格差、環境、企業倒産などを取り上げます。

◆**授業方法** 板書を中心とした授業になりますが、教員が一方向的に説明し続けることは避けたい。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問するなどして課題の理解を深めたいと思っております。

◆**準備学修** (1) 新聞の政治・経済面を読んでおきましょう。(2) 経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3) 図やグラフに親しんでおきましょう。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	ガイダンス / 経済学とは何か。 マクロ経済学とミクロ経済学の違い。 マーケット(=市場)とは何か、そして市場の果たす役割について触れます。現実に起きている経済事象として、消費者物価の上昇・下落、喫煙、最低賃金制、消費者金融、環境などを議論します。
2日目	消費者行動理論(効用の極大化)について学ぶ。 取り扱う分析要具は基数的効用と序数的効用 現実に起きている事象として所得格差問題を取り扱います。
3日目	生産者行動理論(利潤の最大化)について学ぶ。 取り扱う分析要具は経営の基本方程式 現実に起きている事象として企業倒産について触れます。

◆**教科書** **丸沼** 『Next 教科書シリーズ経済学入門』山口正春・楠谷清編 弘文堂 2015 2,160円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 資料を必要に応じて配布します。

◆**成績評価基準** 筆記試験 90%、「授業への取り組み」10% で評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆働き方、働かされ方について考える

〔労働経済論〕

オープン受講：不可 担当者：村上 英吾

- ◆**学修到達目標** 本講義の目標は、雇用・失業、賃金、労働時間ならびに働き方・働かされ方に関する諸問題を経済学的に分析する視点を身につけることです。はじめに、応用ミクロ経済学としての労働経済学における基本的な理論を学び、それを批判的に検討した上で、現代日本の身近な労働問題について考えていきたいと思えます。
- ◆**授業方法** 事前に講義スライドと関連資料を Web ページから配付し、スライドに沿って講義を進めます。ただし、講義の内容や進度は、受講生の理解の程度、経済状況の変化や要望等により変更することがあります。なお、講義時間内に簡単な小テストの実施を予定しています。
- ◆**準備学修** 講義スライドを Web ページにアップしますので、事前にダウンロードし、大体の授業の流れを把握しておいてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	労働経済学の基本的な理論として、所得余暇選好モデルと限界生産力説に基づく労働市場のモデルを学びます。さらに、このモデルの問題点について検討します。この素朴な労働市場モデルは、現実の労働政策を検討する際にも一定の影響を持っているので、この問題点を把握するのが1日目の課題です。
2日目	素朴な労働市場のモデルを相対化して、労働研究の焦点を労働過程に転換する労働者統制システムの理論を紹介し、賃金と雇用に関する代替的な理論を学びます。
3日目	2日間の学習を踏まえて、現代日本における「働き方改革」について考えます。長時間労働や正規・非正規間の労働条件格差の是正は、重要な政策課題となっています。この課題を解決するための政策について、理論を踏まえて検討します。

- ◆**教科書** テキストは使用しません。
- ◆**参考書**
 - 丸沼** 『労働経済学 第2版』小野旭 東洋経済新報社 一般的な「労働経済学」のテキストです。2,808円（税込）（送料300円）
 - 丸沼** 『入門 社会経済学』宇仁・坂口・遠山・鍋島著 ナカニシヤ出版 3,240円（税込）（送料350円）「社会経済学」の新しいテキストです。批判的な視点から学べます。
 - 通材** 『労働経済論 R32200』通信教育教材（教材コード000500）3,600円（送料込）
〈この教材は市販の『よくわかる社会政策[第2版]』石畑良太郎・牧野富夫編（ミネルヴァ書房）と同一です。〉労働政策の動向について参考になるテキストです。
- ◆**成績評価基準** 基本的には最終日の筆記試験の結果により評価します。ただし、授業内に小テストを実施しますので、その結果を加点します（最大+10%程度で、減点はしません）。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆オフィスソフトを使いこなす

〔情報概論 A〕

担当者：中村 典裕

- ◆**学修到達目標** コンピュータを用いた情報処理を行う際には、文書などの文字情報ではワード、数字やデータなどの数的情報にはエクセル、図形やグラフ、写真・ビデオなどの画像情報の提示にはパワーポイントなどの「オフィスソフト」を用いる。本講義では、これらオフィスソフトの概要と特徴を学び、情報の種類に応じて適切に使いこなす能力を身につけることを目的とする。
- ◆**授業方法** 本スクーリングの中では講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、コンピュータセキュリティ、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。授業の折々に小課題を課し提出する。
- ◆**準備学修** 日常的にコンピュータやインターネットに関する興味を持ち、新聞やテレビの報道などに関心を持つ態度が望ましい。また、すでにコンピュータなどを所有している人は、もう一度、そのマニュアル全体に目を通し、情報機器の概要を基本から把握する事が望まれる。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス、PC操作の基礎とウェブの原理と閲覧 ワードの基礎：タイピング、各種記号や特殊文字の入力、コピー & ペースト ワードの応用：表、図形の作成、ビジネス文書（社内文書、社外文書）の作成 コンピュータの基本原理・コンピュータ技術の基礎に関する学習
2日目	ワードの総合演習：表現力のある文書の作成 エクセル入門：表計算ソフトの基礎、合計と平均を使った表の作成 エクセル活用：四則演算、グラフ基礎、IF関数、条件付き書式 エクセル応用：オートフィルタ、データベース機能、ピボットテーブル インターネットセキュリティ：コンピュータ犯罪などについて学ぶ
3日目	パワーポイント入門：プレゼンテーションの基礎と実践演習 最終課題：これまでに学習した内容を駆使して、ワードとエクセルを応用した課題に取り組む。

- ◆**教科書** **【当日資料配布】** 基本的には講義初日に3日分の資料を配付する。
- ◆**参考書** 特に指示しない。
- ◆**成績評価基準** 平常点(20%)、小課題(30%)、最終課題レポート(50%)。全時間受講する事を前提として評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会社法の全体像を理解しましょう

〔商法〕

担当者：鬼頭 俊泰

- ◆**学修到達目標** この講義は、「会社」について規定している会社法を解説します。日頃、多くの会社と様々な機会に接点を持っているにも関わらず、会社が法律によってどのように規律されているのか知らない人がほとんどであると思います。そこで、この講義は、会社のうち、最も重要性が高いと思われる株式会社に焦点を当てて講義を行い、株式会社に關するルールの全体像を受講者に理解・習得してもらうことを最終的な学修到達目標とします。
- ◆**授業方法** 毎回出席を取った上で、授業計画に従って講義を進めていきます。講義は、会社法の条文や実際の事例等を紹介しながら進めていきますが、一方的なレクチャーではない双方向的な講義にするため、受講生との間で簡単な質疑応答を行うことを予定しています。なお、具体的な授業方法・内容については、1日目のガイダンスにおいてまとめて説明するので、必ず出席してください。
- ◆**準備学修** 3日間の短期完結講義であるため、予習をすることは難しいと思います。ただ、その日受講した講義内容について、その日のうちに復習をきちんとこなす必要はあります。とりわけ、講義で説明がなされた難解な法律専門用語や、考え方の基本となる原理原則などは、きちんと押さえておかないと実際の問題に対応できないだけでなく、講義内容の理解にも支障をきたします。毎回の講義内容をきちんと理解し消化することが求められます

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス、会社法の概要、株式会社の設立と法規制、株式と株主の地位 ※会社法全体を概観したうえで、まず、会社制度の基礎的部分を説明します。そのうえで、株式会社はどのような手続きに従って作られるのか、その際にどのような規制が法的に課されているのかにつき、実際の事例等を素材に説明します。また、株式という制度についても法的・経済的側面から説明します。
2日目	株式会社の機関設計と各機関の概要、株主総会の機能・権限、役員の義務と責任、株式会社の資金調達① ※株式会社がどのような機関によって構成されているのか、それらはどのような機能・権限を有し、どのような責任を負っているのかにつき説明します。特に、株主総会と取締役（会）については重点的に説明を行う予定です。その他、募集株式の発行を素材に、株式会社がいかにして資金を調達するのかを学びます。
3日目	株式会社の資金調達②、株式会社の組織再編、M&Aに関する法規制、講義のまとめ、テスト ※株式会社の資金調達につき説明します。2日目に行う予定である株式会社の資金調達①と併せて、株式会社がいかにして事業に必要な資金を調達しているのかを学びます。また、すでに出来上がった株式会社を、状況に合わせて作り変えていく術（組織再編、M&A）を説明します。

- ◆**教科書** **丸沼**『会社法講義 30 講』松嶋隆弘ほか編著 中央経済社 3,780 円（税込）（送料 350 円）
当日資料配布 そのほか、初回講義時に適宜レジュメを配布する。
- ◆**参考書** 六法（最新版が望ましい）。
- ◆**成績評価基準** 3日間の講義の中で重要と思われる箇所や、会社法の全体像の理解度を確認するため、最終日にテストを行います。この講座の成績は、かかるテストの評価をもとに決定します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆マーケティング戦略の基本事項と理論の理解

〔マーケティング〕

担当者：雨宮 史卓

◆**学修到達目標** 製品にまつわる競争優位の源泉は、時代とともに大きく変化している。それによって、マーケティング戦略の進め方も大きく変化してきた。近年、強まっていた消費者の低価格志向による価格競争は、広告費の減少やメディア戦略の見直しを迫っているのが現状である。このような状況下で、本講義はマーケティングを深く理解するための前提となる、基礎的な知識を体系的に解説する事を目的とする。

◆**授業方法** 初日はテキストに沿いながらマーケティングの基本機能を解説し、二日目以降は、必要に応じて資料を配布して企業の戦略事例を織り交ぜてマーケティング理論を解説する。また、二日目の後半は、テストの解答方法を解説し、質問を受け付ける。そして、最終日は簡単なテストを実施する。

◆**準備学修** 指定のテキストを前もって読んでおくのが望ましい。ノートは必ず持参すること。

◆授業計画（各日450分）

1日目	製品をより多く、より効率的に販売するためには、市場をどう捉えるか（市場戦略）、価格をどう設定するか（価格戦略）、プロモーションをどうするか（販促戦略）、といったマーケティング戦略の基本概念について解説する。また、日本市場におけるマーケティング活動が時代の変化に伴い、どのように変遷してきたかについても考察する。
2日目	近年ではマーケティング戦略の中でブランド戦略という新たな領域が築かれている。その戦略がブランドを基点として行われ、構築・育成を目指す活動であるならば、広告もブランドを中心として行われるコミュニケーション活動として捉える必要がある。そのため、マーケティング・フレームワークの一要素としての広告に焦点を当て、ブランドの基本的概念とその役割を学ぶ。
3日目	現代は製品の本質的な機能だけで、企業が競争優位を勝ち取る事は不可能である。様々な製品・サービスにおいて象徴的な要素が重要視されているのが現状である。そのため、生活全体や文化といった広い視点でもマーケティング戦略の理解を目指し、消費者を生活者として考察する事の重要性を解説する。また、マーケティングの今後の課題、方向性についても考察する。

◆**教科書** **通材** 『マーケティング S30500』通信教育教材（教材コード000182）2,550円（送料込）

当日資料配布 必要に応じて当日、資料を配布する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として評価します。テスト（70%）、平常点（30%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆教職観を構築してみよう

〔現代教職論〕

担当者：杉森 知也

- ◆学修到達目標
1. 教職の意義、教員の役割と職務内容、教員の地位と身分、教職の専門性などについて総合的に理解することができる。
 2. 近年の学校・教員を巡る状況の変化について、世界的な動向を含めて説明することができる。
 3. レポート課題を含めて将来の進路選択の機会にする。
 4. 上記 1.～3. を踏まえて、自己の教職観を構築し、それを説明することができる。

◆授業方法 原則として、講義形式による解説を中心とするが、適宜、グループディスカッションや個別学習を併用する。

◆準備学修 講義に参加するための予備的知識を得たり、グループディスカッションを円滑に進めたりするために、授業前に指定教科書の該当箇所と参考書、インターネット等でその内容を調べ、事項について自分なりの解釈をしておくこと。
1 講義につき、事前学修に 180 分、事後学修に 90 分程度を要する。

◆授業計画（各日 450 分）

1 日目	ガイダンス（教員との出会いを振り返る）、教員の職務内容とその意義、教員の地位と身分（教員の「地位」・教員の義務と身分保障の意味、教員の待遇） ※教員の職務の多様さと校務分掌、「全体の奉仕者」性、教員の義務と権利、「全体の奉仕者」性の代償としての教員の身分保障の意味と課題、教員の待遇（主に給与面）と、それに関連する近年の政策動向などについて扱う。
2 日目	教員研修の種類と意義、教員の免許制度と教員の存在意義（日本の教員免許制度、世界の教員免許制度と日本の改革動向）、教員のやりがいとバーンアウト ※研修の意味と種類、日本の教員免許制度の歴史と現状の課題、教員免許制度の比較検討、教員養成の高度化・長期化の意味とそれにともなう課題、教員のやりがいの本質と多忙化などについて扱う。
3 日目	価値多様化社会の中の専門職（価値多様化社会とは何か、反省的实践家と反省的思考）、新しい教師の力量（日本における政策動向とその対応、OECD の提言から考える）、チーム学校、試験とその解説 ※価値多様化社会の中で求められる「専門職」の能力とその世界的な動向、教員の資質の変化、教育委員会の求める教員像と自らの教師像とのマッチング、「チーム学校」のコンセプトが重視されるようになってきた状況の変化などを扱う。

◆教科書 **通材** 『現代教職論 T10100』通信教育教材（教材コード 000541） 3,100 円（送料込）※学修指導書付き。
当日資料配布 自作プリント。

◆参考書 **丸沼** 『専門家の知恵』ドナルド・ショーン / 佐藤学・秋田喜代美訳 ゆみる出版 2001 年
1,836 円（税込）（送料 300 円）
丸沼 『解説 教育六法 2018 平成 30 年版』解説教育六法編修委員会編 三省堂 2018 年
2,808 円（税込）（送料 450 円）

◆成績評価基準 試験の成績（60%）、コメントシートの質（20%）、授業の参加姿勢（20%）を、総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆社会の変化と教育制度

〔教育制度論〕

担当者：長嶺 宏作

◆**学修到達目標** 本授業では社会の変化にともない教育に何が求められ、何が教育制度として具現化されたのかを考察する。日本の教育制度の構造と特質を理解し、現在の学校が、どのような制度理念によって成立、維持しているのかを批判的に考察したい。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で授業は行う。また、下記にある準備学修にあるレポート課題を、各授業の内容を説明する前に学生に発表してもらい、必要に応じてディスカッションを行う。

◆**準備学修** ①テキストの1章を読み、学校選択制度についての意見（日米を問わず）を書いてください（A4,1枚）。
②テキストの3章を読み、新しい学習指導要領（H30年）についての意見を書いてください（A4,1枚）。
③テキストの4章を読み、任意の自治体の教育委員会の構成メンバーを調べ、教育委員会会議の議事録を調べ、どのようなことが話し合われているかについて書いてください（A4,1枚）。
※①は一日目に提出、②は二日目に提出。③は三日目に提出

◆授業計画（各日450分）

1日目	公立学校再考：学校選択から考える公教育 ①ガイダンス、②学校選択制度の理論（1章）、③学校選択制度の実態、④公教育の誕生（序章）、 ⑤単線系と複線系：戦後教育制度の基本理念
2日目	教育制度の変遷：能力と人間像の転換 ①能力主義社会の実像、②ゆとり教育から確かな学力へ（3章）、③PISA型学力（6章）、 ④教育における平等（7章）
3日目	教育におけるガバナンス：最も妥当な統制とは何か？ ①教育委員会制度とは何か？（4章）、②教育における権限関係：誰が官僚か？ ③条件整備と学校・学級経営（2章）、④多様なニーズへの挑戦（8章）

◆**教科書** **丸沼** 『教育学へのアプローチ：教育と社会を考える18の課題』北野秋男編 啓明出版 2017年出版予定 2,330円（税込）（送料300円）

◆**参考書** **丸沼** 『解説教育六法2018』解説教育六法編修委員会 三省堂 2,808円（税込）（送料450円）

◆**成績評価基準** レポート課題（60%）授業の課題等（40%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆第二言語習得理論の概要と学習評価

〔英語科教育法Ⅳ〕

オープン受講：不可 担当者：小林 和歌子

- ◆**学修到達目標** 英語学習の過程、英語教授法・第二言語習得理論の具体的な歴史・概要を知り、それらを現在の英語学習者のニーズや学習環境に応じて実行できるようになる技術を身につける。第二言語習得理論の過去・現在・を知ることで、今後の英語教育業界における山積する課題についても考察することにより、よりよい「行動志向の進化する英語教師」となることを目標とする。
- ◆**授業方法** 講義に加えてグループワークによるマイクロ・ティーチングなども適宜取り入れる。また、各教授法・第二言語習得理論・評価法についての省察（リフレクションペーパー）を書いたり、発表したりすることにより、英語学習・英語教育における振り返りの習慣を構築する。
- ◆**準備学修** 指定したテキストを事前に熟読しておくこと。また、授業範囲の専門用語を事前に調べて意味をよく理解しておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	日本で英語を何故教え、また学ぶのだろうか。EFLとESLの違いから始めて、英語教育の目的：実用性と教養、国際語としての英語についてまず考えてみる。また、どの英語教授法を選択すべきなのかについては、それぞれの英語教授法の概観を掴むことにより、「よい」教授法を探して、学習者自身にも未来の教授法について予測してもらいたい。最後に日本人が目指すべき英語コミュニケーション能力とは、どのくらいのレベルなのか、また近年盛んに言われている小中高でいかに連携が可能なのかCEFRを紹介しながら考えてみたい。
2日目	英語教授法における文法訳読法、オーラルアプローチ、Communicative Language Teachingについて紹介した後、1960年代から主に始まった第二言語習得理論に関する研究についても学習する。インプット・アウトプット・インタラクション・発達最近接領域と足場かけ、学習ストラテジーなど主だった研究を通して、何が学習者の第二言語習得を促進するのか考えてみたい。
3日目	最終日は、英語能力をどのように評価するのか、CEFRとCan-doリストや観点別評価等を学ぶことで、如何に自律的な学習者を育てることが英語教育において重要か考察してみたい。また、英語教育における学習動機、自己効力感についても着目する。3日間を通して、その都度リフレクションペーパー、発表、ディスカッション、そして最後は試験を行うことを予定している。

- ◆**教科書** **丸沼** 『国際語としての英語：進化する英語科教育法』岩本夏美・今井由美子・大塚朝美・杉森直樹著 松柏社 2,376円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** **丸沼** 『行動志向の英語科教育の基礎と実践—教師は成長する—』JACET教育問題研究会編 三修社 2,808円（税込）（送料350円）
- ◆**成績評価基準** リフレクションペーパー（30%）発表・参加（30%）試験（40%）。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

Horizontal dashed lines for writing notes.

開講日程
・会場

講座の選定

開講講座
一覧表

第1期

第2期

第3期

第4期

第5期

第6期

講座の
申込方法

申込講座の
許可と不許可

受講料の納入

受講準備

受講及び試験

受講期間中の
学生生活

オープン受講

各種用紙

付
録

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第3期	日 程		授 業 内 容	備 考
	8月4日	土	各日 9:00～17:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを 設けます。
	8月5日	日		
	8月6日	月		

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0C1	哲 学	嘉吉 純夫	2	B10700	哲 学		1年		
C0C2	英 語 C	和泉 周子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
C0C3	英 語 D	寒河江 融	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
C0C4	刑 法 I	尾田 清貴	2	K20300	刑 法 I		※	・ 法学学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
C0C5	西 洋 政 治 史	三澤 真明	2	L30500	西 洋 政 治 史		2年		
C0C6	国 文 学 史 I	近藤 健史	2	M30100	国 文 学 史 I		2年		
C0C7	国 文 学 講 義 VI (現 代)	久米 依子	2	M31000	国 文 学 講 義 VI (現 代)		2年		
C0C8	英 語 音 声 学	森 晴代	2	N30600	英 語 音 声 学		2年		
C0C9	スピーチコミュ ニケーションII	ダレル ハーディ	1	N31000	スピーチコミュ ニケーションII		2年		
COCA	異文化間コミュ ニケーション概論	大庭 香江	2	N31700	異文化間コミュ ニケーション概論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COCB	英米文学演習 B	原 公章	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COCC	宗教学基礎講読	小林 紀由	2	P30100	宗教学基礎講読		2年		
COCD	倫理学基礎講読	関谷 雄磨	2	P30200	倫理学基礎講読		2年		
COCE	哲学特殊講義	小山 英一	2	P31000	哲学特殊講読		2年		
COCF	日本史入門	関屋 雄一	2	Q20100	日本史入門		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
COCG	西洋史特講Ⅱ	高草木邦人	2	Q31350	西洋史特講Ⅱ	×	2年		
COCH	西洋経済史	上村 能弘	2	R30600	西洋経済史		2年		
COCJ	経済政策/ 経済政策総論	周藤 利一	2	L31500 R30700	経済政策 経済政策総論		2年	・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ申込可。	
COCK	財政学/ 財政学総論	野田 裕康	2	L31400 R31500	財政学 財政学総論		2年	・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ申込可。	×
COCL	経済地理学/ 経済地理	井村 博宣	2	R32600 S32200	経済地理学 経済地理		2年	・法・文理・経済学部のみ申込可。 ・商学部のみ申込可。	×
COCM	貿易論	岡田 直己	2	S30400	貿易論		2年		
COCN	国際金融論	谷川 孝美	2	S31200	国際金融論		2年		
COCP	発達と学習	野村 康治	2	T10500	発達と学習	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COCQ	教育の方法 ・技術論	池田 有里子	2	T21700	教育の方法 ・技術論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COCR	地誌学 /地誌学概論 /地理学概論 (地誌を含む)	羽田 麻美	2	T21900 T22000 T22100	地誌学 地誌学概論 地理学概論 (地誌を含む)		2年	・哲学専攻・史学専攻・経済学 部のみ申込可。 ・法学部のみ申込可。 ・商学部のみ申込可。	×
COCS	社会科・ 公民科教育法Ⅱ	壽福 隆人	2	T20800	社会科・公民 科教育法Ⅱ	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・ 経済学部・商学部のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COCT	英語科教育法Ⅲ	リチャード キャラクター	2	T30300	英語科教育法Ⅲ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COCU	文化人類学	服部 慶巨	2	Y21300	文化人類学		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

- ◆**学修到達目標** 西欧の哲学の歴史的展開を知り、受講者自身が世界と人生について哲学的に思考できるようになることを目指す。受講者自身が自分なりの世界観・人間観・価値観を自分の内に確立するにいたることを、最終的な目標とする。
- ◆**授業方法** 講義形式で行うが、単なる知識の習得に終わることのないよう、問題提起を念頭に、各哲学者の思想が現代に生きる我々にとってどのような意味をもつのか講述する。
- ◆**準備学修** 教科書を指定しないので、各自、下記の授業計画に記された哲学者たちについて、書店や図書館で関連書・概説書を購入して下調べをしておくこと。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	序（哲学とはどのような学問か）。古代哲学の成立（タレスからデモクリトスまでの自然哲学）、古代哲学の発展（ソラクテス、プラトン、アリストテレス他）。 ※いわゆるギリシア哲学の展開について学び、哲学することの意義について考究します。
2日目	中世哲学の概説（キリスト教の思想的原地と思想的展開）、近世哲学の成立（デカルト、ベーコン他）、近世から近代への哲学の展開（カント、ヘーゲル他）。 ※近世・近代の哲学者たちの問題意識を我々自身の立場から捉え直して考究します。
3日目	近代から現代にかけての哲学の展開（キルケゴール、ニーチェ、ベンサム、ミル他）。 ※19世紀以降の哲学者たちの思想の内実を踏み込むことによって、我々自身の置かれている思想的状況を批判的に考察します。試験を行います。

- ◆**教科書** 使用しない。
- ◆**参考書** **通材** 『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード 000404）3,650円（送料込）※学修指導書付き。
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』 嘉吉純夫・齋藤隆編著（北樹出版）と同一です。〉
- ◆**成績評価基準** 試験（90%）平常点（10%）。毎回出席することを前提として評価します。
授業への取り組み（主体性）を加味し、テストによって総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文化に関するエッセイを通して学ぶ英文読解と文法

〔英語 C〕

担当者：和泉 周子

◆学修到達目標 文法や語彙をしっかりと押さえ、英文が精読できるようになることを目指します。

◆授業方法 指定したユニットをそれぞれ同じ形式で学修していきます。

1. Grammar Points で、該当ユニットで扱われている文法事項の確認を行います。
 2. ① Reading のエッセイを読みます。(Comprehension ①～④は扱わない予定です。)
 3. ② Writing の問題の解答・解説を行います。
 4. ③ Text Completion の英文を読みながら、問題の解答・解説を行います。
- 2,3,4 では適宜指名し、文法や語彙の意味、英文の和訳、練習問題の解答等を答えてもらいます。

◆準備学修 必ず授業の前に該当ユニットの英文を和訳し、練習問題を解いてきてください。どのような文法や語彙が使われているかという点に留意しながら予習を行ってください。

◆履修条件 特にありませんが、英和辞書（電子辞書・可）を持参してください。また、教科書は TOEIC350-550 点のレベルのものを使用します。

◆授業計画（各日450分）

1日目	・ガイダンス ・Unit 3, 10, 8（この順番で扱います。） ※ Comprehension ①～④, ④ Conversation, ⑤ Miscellany は扱わない予定です。
2日目	・Unit 12, 11, 4（この順番で扱います。） ※ Comprehension ①～④, ④ Conversation, ⑤ Miscellany は扱わない予定です。
3日目	・Unit 1, 2 ※ Comprehension ①～④, ④ Conversation, ⑤ Miscellany は扱わない予定です。 ・まとめ ・試験

◆教科書 **丸沼** 『English Indicator 3 (Intermediate) (英語総合インディケーター〈中級〉)』
ジョシュア・コーエン / 三原京 / 中村善雄 / 木村博是 南雲堂 2,160 円 (税込) (送料 300 円)

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験 (60%)、発表等の授業への取り組み (40%)
毎回出席することを前提とします。また、発表等の授業への取り組みは予習状況を含みます。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 英語の小説というと非常に難解なもの、という印象を持つと思われますが、中学・高校で学んだ知識と辞書があれば、大体のものは読むことができます。本授業では、わかりやすい文章の超短編推理小説を、文法事項をおさらいしながら、読んでいきます。そして、辞書があれば英文が読める事を実感してもらい、英文を読む自信をつけてもらう事を目標とします。また謎を解く事で、文化や知識を楽しみます。

◆**授業方法** 一文一文一人ずつ読んでいってもらいます。その訳ついて丁寧に解説を加えていきます。情景描写や表現などの、英文ならではの面白さも説明します。訳を発表する際、間違えることは問題ないです。わからないところを見つけるのも学習の一つです。なぜそのような意味になるのかをしっかりと説明します。また、テキストについている問題を通して、文法知識の定着をも目標とします。内容を把握した段階で謎解きをしてもらいます。

◆**準備学修** 最初の段階では誰が当たるのかはわかりません。1日目の目標である5作品には、少なくとも目を通し、自分がいつ当たっても良いようにしておいて下さい。最終目標はUnit 12です。間違えるのは構いませんが、わからない単語は必ず調べておくこと。時間が短いので、なるべくスムーズに授業が流れるように準備してください。作品のリズムもあるので、頑張って準備してください。当てられて、何も答えられないことの無いように。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	教科書のガイダンス。後、UNIT 1～UNIT 5の5作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため)表現中の文法を説明します。内容理解の確認のため、各ユニット毎で謎解きをしていきます。
2日目	UNIT 6～UNIT 10の5作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため)表現中の文法を説明します。内容理解の確認のため、各ユニット毎で謎解きをしていきます。
3日目	UNIT 11, UNIT 12, 他2作品(テキスト以外)の4作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため)表現中の文法を説明します。内容理解の確認のため、各ユニット毎で謎解きをしていきます。 試験。

◆**教科書** **丸沼** 『Solve the Mystery and Improve Your English Reading Skills ミステリーを読んで英語のスキルアップ』 Donald J. Sobol 著 英宝社 1,944円(税込)(送料215円)

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表など)・テストにより総合的に評価します。毎回出席することを前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**刑法の基礎をみんなで一緒に考えよう。**〔**刑法 I**〕

担当者：尾田 清貴

- ◆**学修到達目標** 刑法が、何故犯罪者のマグナカルタと言われるのかを知り、犯罪の成立に関する過程について考察し、具体的な犯罪現象について刑法適用如何について分析し、説明できる力を養う。
- ◆**授業方法** 事前学習を前提として、基本的な事項をみんなで一緒に考え、議論をする。
議論の方法は、課題事例について、グループ毎に検討し、発表すると共に、質疑応答を行う。
- ◆**準備学修** 授業内容に関する項目について、通信教材でも、自分が読みやすいと思った教科書でも構いませんから、該当する箇所を事前に熟読しておいて下さい。
- ◆**履修条件** 平成 27 年度夏期スクーリング「刑法 I」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画（各日 450 分）**

1 日目	刑法についての基本的な考え方を、「刑法の役割」「犯罪なければ刑罰なし」「法律なければ犯罪・刑罰なし」「責任なければ刑罰なし」という視点から、その基本原理を学びます。
2 日目	犯罪（の成立）とは何かについて、「犯罪の概念」「因果関係」「正当化事由」「故意・過失と錯誤」「犯罪形態」について、その基本概念や類型を学びます。
3 日目	5～6名で1グループを編成し、各グループ毎に、2つの事例問題について検討を加え、グループ発表と質疑応答を行う。発表に際しては、2枚の模造紙と色マーカーを有効に利用し、各グループの発表に資する工夫を凝らして欲しい。1日目と2日目の授業の知識を最大限活かして取り組んで欲しい。

- ◆**教科書** **当日資料配布** 参考資料は、随時配付します。
特に指定はしません。手に取ってみて、読みやすいものを使って下さい。
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 講義に毎回出席することを前提に、平常点 20%、グループ討議及び発表 50%、質疑応答 30%で評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆市民的政治体制の形成と展開

〔西洋政治史〕

担当者：三澤 真明

◆**学修到達目標** 政治学の諸概念（ex. 政治システム、ポリアーキーなど）を理解した上で、市民革命という歴史的事象を「説明」できるようになることを目的とする。具体的には、歴史的事象をただ単に「叙述」できるようになるだけでなく、なぜ各国の市民革命が起こったのか、その結果、政治システムにどのような影響を与えたのかを理解できるようになることが目的である。

◆**授業方法** 基本的には、パワーポイントを用いた講義形式をとる。1日目と2日目は、授業の最後に小テストを行うことで、学生の理解度を問うと同時に、翌日に教員からのリプライを行う。

◆**準備学修** 本年度は、教科書の前半部分（第1章から第2章）が授業範囲となるので、事前に該当部分の熟読が求められる。また、政治学のテキストを通読し、一定の政治学的基礎知識を修めていることで本講義の理解が深まる。

◆授業計画（各日450分）

1日目	政治システム、民主主義、ポリアーキーといった概念を理解することで、歴史分析の手段を学ぶ。その上で、具体的な事例として、まず初めにフランス革命を取り上げる。いわゆる典型的な市民革命と言われるフランス革命は、どの点が典型的であったと言えるのかを検討していく。講義後に、当日の理解度を問う小テストを実施する。
2日目	2つ目の事例としてイギリス革命を取り上げる。いち早く市民革命が起こったイギリスでは、市民革命によって、民主主義体制が実現したわけではなかった。イギリスは、市民革命によって、何を成し遂げたのか、民主主義には何が足りなかったのかを検討していく。講義後に、当日の理解度を問う小テストを実施する。
3日目	3つ目の事例としてドイツ三月革命を取り上げる。未完の革命と称される同革命を検討することで、何が市民革命の成否を左右するのか、その後のドイツの政治システムはいかなるものになったのかを検討していく。講義後に、3日間の理解度を問う論述試験を実施する。

◆**教科書** **通材** 『西洋政治史 L30500』通信教育教材（教材コード000503）2,950円（送料込）※学修指導書付き。
〈この教材は市販の『西洋政治史』杉本稔（弘文堂）と同一です。〉

◆**参考書** 授業中に適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点：1日目、2日目の最後に当該講義の理解度を問う小テストを実施（20%）
試験：論述試験を最終日に実施（80%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本古典文学の歴史と特質を学ぶ

〔国文学史Ⅰ〕

担当者：近藤 健史

◆**学修到達目標** 上代から近現代までの文学の歴史を概観したうえで、上代から近世の文学（古典文学）の流れ、文学の特質、政治的・社会的・文化的・風土的背景を学び、日本文学を理解するうえで必要な知識を身につけることを目標とする。単に暗記する「文学史」ではない「文学史」を理解し、説明できる力を養う。

◆**授業方法** 基本的には、テキストを読み理解するという方法である。各時代区分にある「概説」を読んだうえで、各章の内容や引用されている作品を読み解く。「日本文学史年表」や「文学史事項」により、文学史の流れの確認をしながら進める。

◆**準備学修** テキストを読んでおくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1, 「文学史とは何か」（文学史概観）を学ぶ 2, 文学の発生、文字との出会い、文字の使用を学ぶ 3, 上代文学の概観（文学作品の範囲）を学ぶ 4, 上代の作品の成立事情、特質、時代背景を学ぶ	
2日目	1, 中古文学の成立と特質を学ぶ ①和歌集の編纂意識 ②物語の成立と発展 ③歴史物語・説話の成立と発展 ④日記文学の成立と発展	2, 中世文学の歴史と特質を学ぶ ①中世文学の概観 ②新興の文学 ③伝統の文学
3日目	1, 近世文学の成立と特質を学ぶ ①江戸文学の概観 ②江戸文学の成立と背景 ③江戸文学の特質	2, 試験

◆**教科書** **当日資料配布** 「系統別文学史」

通材 『国文学史Ⅰ M30100』通信教育教材（教材コード000553）3,100円（送料込）※学修指導書付き。
〈この教材は市販の『日本文学史』久保田淳編（おうふう）と同一です。〉

◆**参考書** 授業内で指示する。

◆**成績評価基準** 試験100%。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 児童文学は近代になって確立した文学ジャンルです。日本でも近代以降に発展し、20世紀後半には、児童の気持ちに寄り添い、また社会問題なども扱う作品が生まれました。しかし現代では、児童文学の行き詰まりも指摘されています。日本の児童文学の歴史を振り返りながら、ジャンルの特質と、現代における意義や、今後の課題を理解することを目標とします。

◆**授業方法** 講義形式で進めます。日本の近現代の児童文学の代表的作家・作品を紹介しながら、それらがどのような社会的・文化的状況の中にあり、どのような意義を担ったかを確認します。また現代において、それらの作品がいかに関容され教えられているかという点も考察し、児童文学のメッセージの移り変わりや、作品の評価の変遷を理解します。

◆**準備学修** 指定教科書の135ページまでの作品は読んでおくこと。作家情報も見た上で、各作品の表現やストーリーで特色があると思った点や、疑問点など、簡単な感想をメモしておく。それらを授業内課題として、提出する予定です。また最後の試験では、授業のまとめと共に、自分で教科書の作品を一つ選び、分析を行う予定なので、事前にどの作品を選ぶか、候補を2～3編考えておくといい。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	児童文学の発生から、確立期までを確認。欧米児童文学の発生と展開、日本の古典と児童文学の成立、家族観・児童観の反映など。児童文学と教育や家族制度との関係や、時代に即した物語のメッセージを理解する。
2日目	児童文学の多様性を確認。近代文学者の児童文学、「童心主義」の問題、生活童話のリアリズム、新美南吉と教科書の中の作品、大衆的児童文学の人気、成長物語とファンタジー。著名な作家の作品や、改革が進められた時代の作品を振り返り、受容の変遷を概観する。
3日目	現代の児童文学の課題を考察。社会派児童文学の主張、80年代の変容、サブカルチャーの隆盛、児童文庫やライトノベルの台頭。児童文学が挑戦を果たした時代から、サブカルチャーの勢いに押されるようになった現代の困難と、新たな指標となるかもしれないライトノベルの状況を考え、児童文学の課題を展望。

◆**教科書** **丸沼** 『もう一度読みたい教科書の泣ける名作』学研教育出版編 学研教育出版社 864円(税込)(送料215円)

◆**参考書** 『アプローチ児童文学』関口安義編 翰林書房 ※購入する必要はなく、図書館などで参照して下さい。

◆**成績評価基準** 平常点(20%) 授業内課題(30%) 試験(50%)

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語音声の基礎理解

【英語音声学】

担当者：森 晴代

- ◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のスペルと発音のずれを意識を置き、正確な発音を目指す。
3. 発音記号からスペルに変換できる能力をつける。

◆**授業方法** 英語音声学の観点から母音、子音の説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。事前に配布するプリントには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。練習問題を解きながらわかりにくい箇所を補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。

◆**準備学修** たった三日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。最終目的は発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。

◆**履修条件** 平成29年度夏期スクーリング「英語音声学」（森晴代担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、Phonicsに関わるプリント配布及び解答 英語の母音について（前舌母音、中舌母音、後舌母音、二重母音）、発音練習（単語、文） 母音確認プリント配布、解答 小テスト
2日目	英語の子音について（阻害音、鼻音、接近音、子音連続）発音練習（単語、文）子音の確認プリント配布、 解答 小テスト
3日目	母音、子音の補足説明、語強勢と文強勢の若干の説明、文章音読 小テスト 試験

◆**教科書** **事前資料送付** プリント使用（事前配布）

当日資料配布

◆**参考書** **丸沼** 『英語の音声を科学する』大修館書店 新装版 CD付 川越いつえ著 2,592円（税込）（送料300円）
※授業では使用しません。

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.
- ◆**授業方法** This course is based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities such as group tasks and role-plays which incorporate the language covered in the section.
- ◆**準備学修** No preparation or prerequisites are required, just a willingness to communicate in English and do group work. The language and activities are set for pre-intermediate to intermediate level I language ability.
- ◆**履修条件** Students are required to attend all three days, complete a written and oral test.
- ◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	Orientation, introductions and classroom language. Topic 1 - Obligations: talking about obligations in the past and present. Review of modal verbs and expressions to express obligations and advice. Groups will decide on rules and guidelines for teachers and students at a fictitious language school.
2日目	Topic 2 - Situations and Dilemmas: review of conditional sentences to discuss consequences, imaginary situations, and express regret. Students will role-play asking and giving advice.
3日目	Topic 3 - Future Plans and Predictions: expressing probability and using time expressions. Groups will discuss life in the year 2030. Written and Oral tests.

- ◆**教科書** Handouts will be provided.
- ◆**参考書** A dictionary may be helpful.
- ◆**成績評価基準** Written test = 40%; Oral test = 40%; Participation = 20%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆異なる文化を超えてのコミュニケーションとは〔異文化間コミュニケーション概論〕

担当者：大庭 香江

◆**学修到達目標** 異文化間コミュニケーションとは文化的背景の異なる人同士のコミュニケーションですが、国籍の同じ日本人同士でも文化的背景が一緒であるとは限りません。出身地、男女、世代によっても文化的背景は異なります。私たちは日常的にも異文化間コミュニケーションを経験しているのです。

本授業では、異文化間コミュニケーションについて述べられた論文やエクササイズを通して、英語が使用されている国や地域の文化的背景を知り、多様性がある中での異文化コミュニケーションの重要性について学び実践していきます。

◆**授業方法** 1. テキストで異文化間コミュニケーションについての解説を読み、例題を通して問題を掘り下げます。
2. 英語論文を読み、異文化間コミュニケーションの実際について考察を行います。

◆**準備学修** テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめておくこと。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	異文化間コミュニケーションとは何かについての考察： コミュニケーションの定義、ステレオタイプ
2日目	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの比較： ジェスチャー、時間と空間の感覚
3日目	コミュニケーション・スタイルとスキルの分析： 双方向コミュニケーション、アサーティブ・コミュニケーション 試験

◆**教科書** **丸沼** 『よくわかる異文化コミュニケーション』 池田理知子著 ミネルヴァ書房
ISBN-13：978-4623056095 2,700円（税込）（送料350円）

当日資料配布 プリント教材（英文）

◆**参考書** 授業時に、单元ごとに、関連する参考書や資料について御紹介致します。

◆**成績評価基準** 試験、及びレポート。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ロマン派の代表的な詩を読む

〔英米文学演習 B〕

担当者：原 公章

- ◆学修到達目標 ロマン派の詩を読み、それぞれの詩人の特質に触れる。「詩を読む」とはということかを知る。
- ◆授業方法 テキストに付されたアンソロジーをテキストに、担当を決めて授業内でその詩の特質について受講生が発表する。
- ◆準備学修 あらかじめ担当したい詩を選び、その作品について英語と内容を把握して授業に参加する。
- ◆授業計画（各日450分）

1日目	Introduction / William Wordsworth, "Tintern Abbey" / Samuel Taylor Coleridge, The Rime of Ancient Mariner
2日目	Coleridgeの続き / Lord Byron, "childe Harold's Pilgrimage" canto IV / P.B.Shelley, "Ode to the West Wind"
3日目	P.B.Shelley, "To a Skylark" / John Keats, "To Autumn" / John Keats, "Ode to a Nightingale"

- ◆教科書 **通材** 『イギリス文学史Ⅱ N30100』(pg173～235) 通信教育教材（教材コード000112）3,200円（送料込）
- ◆参考書 授業内で紹介する。
- ◆成績評価基準 授業内の発表（プレゼンテーション）を主に評価する。
最終日は試験ではなく、読んだ詩についてのエッセイを書く。

◆初代キリスト教会を知る

〔宗教学基礎講読〕

担当者：小林 紀由

- ◆学修到達目標 知識：新約聖書「使徒行伝」を読み、キリスト教のはじめについてのルカの思想を知る。技能：編集された文書を分析的に読む技能を身につける。
- ◆授業方法 テキストを読み、解釈をめぐる議論を通して、その意図をさぐる。
- ◆準備学修 新約聖書「使徒行伝」を読んでおくとよい。（「使徒言行録」と記される場合もあり）
- ◆授業計画（各日450分）

1日目	講義：授業の目標と予定。新約聖書、「使徒行伝」について 解釈と議論：「使徒行伝」1,2章
2日目	解釈と議論：「使徒行伝」3-5章
3日目	解釈と議論：「使徒行伝」6-16章

- ◆教科書 『新約聖書』日本聖書協会のものをすすめます。
- ◆参考書 上記以外の『新約聖書』英訳等も可、不可欠ではない。
- ◆成績評価基準 小課題80%、授業参加度20%。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆プラトン（ソクラテス）の倫理思想

〔倫理学基礎講読〕

担当者：関谷 雄磨

◆**学修到達目標** プラトンの作品と一緒に読みながら、倫理学（哲学）書の読み方を習得することを目標とします。具体的には、1) まず、作品の中でどのような問題が提起されているのかを理解します。2) そして、その問題に対して著者（あるいは登場人物）がどのような主張をしているのかを読み解きます。3) その上で、読み手であるわれわれ自身がその問題について主体的に考察します。

◆**授業方法** 通信教育部指定テキストのうち、本年は『ゴルギアス』を扱います。授業は、学生のみなさんひとりひとりにテキストを音読してもらい、そこにどのような問題が隠れているのかを掘り起こして解説しながら読み進むというスタイルで行います。（『授業計画』では便宜的に最終章まで振り分けてありますが、読了するのは難しいと思われます。）

◆**準備学修** 3日間という短期間で読まなければならないので、必ず事前に『ゴルギアス』を読んでから授業に臨んで下さい。

◆**履修条件** 平成28年度の夏期スクーリング「倫理学基礎講読」（関谷担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	ガイダンスおよび、古代ギリシア、特にソフィストについての一般的説明。 『ゴルギアス』1章～23章講読。
2日目	『ゴルギアス』24章～57章講読。
3日目	『ゴルギアス』58章～83章講読。まとめ（質問コーナー）。試験。

◆**教科書** **通材** 『倫理学基礎講読 P30200』通信教育教材（教材コード000337）2,700円（送料込）

◆**参考書** **丸沼** 『増補ソクラテス』岩田靖夫 ちくま学芸文庫 1,512円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 最終日に実施する試験によって評価します。

◆現代思想をして「今日を読み解」こう

〔哲学特殊講義〕

担当者：小山 英一

◆**学修到達目標** この哲学特殊講義の目標は、難解な現代思想を「生命」「生命」「歴史」（「情報」「暴力」）という観点から他者に説明出来るようになることである。

◆**授業方法** 教科書をゆっくり読みながら下記の教科書を中心に講義形式で行う（教科書を購入すること。持っていない人は講義も試験も受けることはできない）。教科書を（指名して）読んでもらう（ゆっくり読みながら授業を進めて行く）

◆**準備学修** 下欄の授業計画をもとに、下記の教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおくと良い。授業計画の（ ）内は教科書のページ。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	・はじめに（p.13～24） ・序章 現代とは何か（p.26～46） ・第1章 生命——進化論から生命政治まで（p.48～129） モダンとポストモダン、ダーウィン、優生思想、生命倫理、フェミニズム、生命政治、臨床医学、予防医学、健康、トリアージ社会
2日目	・第2章 精神——宇宙における人間（p.132～212） 宇宙進化論、普遍的登記簿、生の哲学、生の強度、ニヒリズム、文化人類学、構造人類学、実存主義、死に向かう存在
3日目	・第3章 歴史——構造主義史観へ（p.214～306） 歴史哲学、哲学の終焉、生か意識か、現象学、差異の哲学、論理実証主義、「語り得ないもの」、構造主義、差異の体系、エクリチュール、エピステーメー

◆**教科書** **丸沼** 『現代思想史入門』船木 亨 ちくま新書（1183）1,404円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験（80%、記述式2問）と平常点（20%、小レポート、小テスト、発表、授業への参加・貢献など）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本史研究の土台を作る

〔日本史入門〕

担当者：関屋 雄一

- ◆**学修到達目標** 本科目では、日本史を研究する上での「入門」という位置付けです。日本史を学修することの意義や、必要とされる研究方法、知識を会得してもらうのが目的です。特に日本中世史を中心としつつ、他時代も交えて、専門への導入に至る。
- ◆**授業方法** 講義形式で、テキスト（教科書）とプリントで進めていきます。また、小テストを途中実施し、履修内容の定着を確認します。
- ◆**準備学修** 中世以外の各時代についても、事前に教科書、参考書などを読んでおくことをおすすめします。講義でも改めて触れることですが、「如何に考え、如何なる方法で研究するのか」という事を考えつつ臨んで下さい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1日目は、主に日本中世史に関わる、基本的な史料や辞書を紹介します。教科書はⅠ-1（文学）とⅡ-1（祭）を扱い、史料とこの読解に関する諸々の視点や方法を学修します。宗教史にも軸を置きつつ、3日間、プリントも交えて史学研究への理解を共に深めていきます。
2日目	教科書Ⅲ-3（儀礼）を中心に、史資料の様々な形態と、それへのアプローチの方法について紹介していきます。
3日目	教科書Ⅳ-1（星占い）を扱いつつ、日本中世あるいは他時代についての災害や戦、「変異」に関する研究を紹介しつつ、最新の研究に関する理解を深めます。

- ◆**教科書** **通材** 『日本史入門 Q 20100』通信教育教材（教材コード000484）3,800円（送料込）
〈この教材は市販の『方法教養の日本史』竹内誠・君島和彦・佐藤和彦・木村茂光（東京大学出版会）と同一です。〉
当日資料配布 プリントを配布します。
- ◆**参考書** **丸沼** 『全集 日本の歴史』（全17巻）
〈図書館等を利用してください。〉
他にも適宜紹介致します。
- ◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、小テスト（30%）全日出席が前提です。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 100年前のルーマニアの小学校教師たちが何をしていたか？〔西洋史特講Ⅱ〕

担当者：高草木 邦人

◆**学修到達目標** 100年前のルーマニアでは、小学校教師は教育者だけではなく、農村の社会改良運動の担い手でもありました。彼らは学校で教鞭をとるかたわら、村の唯一の知識人として農民の相談にのったり、農民を経済的に支援したりしていました。そして、社会問題を間近で目撃していた教師たちは次第に既存の政治制度に不満を抱き、新たな政治勢力の結成を述べる者も現れていきました。受講生は、国政レベルの政治家だけでなく、地域レベルの指導者＝教師の思想と行動も学ぶことで、「政治」というものの再考する機会を得ることができます。また、講義で取り上げる人物の言説と社会状況との関連付けを学修することで、受講生は史料の意義づけを学び、自身の研究テーマに応用する能力を身に付けます。

◆**授業方法** 当日に配布するプリントや映像資料などを利用しながら、基本的に講義形式をとりますが、1日目と2日目の最後に授業内レポートを行う予定です。また、必要に応じて映像教材・視聴覚資料も利用しながら、授業をおこないます。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干変更することがあります。

◆**準備学修** 本講義では、ルーマニアの歴史を対象としますが、世界史に関するある程度の知識を必要とされます。本講義を履修する際には、高等学校で使用した「世界史A」や「世界史B」の教科書を必ず熟読しておいてください。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	◇農村の知識人としての教師 教師ドブレスク＝アルジェシュの社会運動、教育大臣ハレトの教育政策、そしてその帰結である1907年の農民反乱における教師の役割と行動を学びます。 なお、当該日の最後に「授業内レポート」を行います。
2日目	◇小学校教師の生活と労働 農村社会における知的センターとしての教師の役割、そして小学校教師の利益団体である全国教師協会が展開した給与増額運動について学びます。 なお、当該日の最後に「授業内レポート」を行います。
3日目	◇「教師と政治」をめぐる論争 教育大臣ハレト、全国教師協会会長ヨネスク＝ルング、そして急進的な教師ミハラケの主張を検討し、「教師はどのように政治に参加すべきか」を学びます。 なお、当該日の最後に「試験」を行います。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 『ルーマニア史（文庫クセジュ）』 ジョルジュ・カステラン著（萩原直 訳）白水社 1994年
（上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。）

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、平常点（50%）、試験（50%）です。平常点は第1日目と第2日目の授業の最後に行うレポートや授業態度などをもとに評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 「産業革命」期のマーチャント・バンカーとファクター制度〔西洋経済史〕

担当者：上村 能弘

◆**学修到達目標** 「産業革命」期における世界通商を流通と金融の両面から支えたファクター制度の仕組みと、ロンドン金融市場で活動していたマーチャント・バンカーが同制度のなかで果たした役割を理解し、それらの経済史的意義について説明することができる。

◆**授業方法** 講義形式で授業を進める。最終日に「質疑と討論」の時間を設ける予定である。

◆**準備学修** 特別な準備学習は必要としないが、受講に当たっては、高等学校の「世界史」で扱われるような知識を、ごく大雑把にでも持っていることが便利である。各自、手許の「世界史」の教科書や参考書を用いて、特に19世紀前半の西洋史を扱ったページを、ざっと眺めておくことをお勧めする。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	はじめに 「産業革命」の経済史的性格 ・世界商品市場 ・主導産業としての綿工業
2日目	ファクター制度 ・起源と仕組み ・マーチャント・バンカーの果たした役割 ・「産業革命」とファクター制度
3日目	ファクター制度の経済史的意義 ・長期金融市場との連関 ・制度的な欠陥と1837年恐慌 まとめ、質疑と討論

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** **通材** 『西洋経済史 R30600』通信教育教材（教材コード000163）2,450円（送料込）

◆**成績評価基準** 試験（100%）：論述形式を予定。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本経済の課題を理解する

〔経済政策／経済政策総論〕

担当者：周藤 利一

◆**学修到達目標** 現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解することを目標とします。

◆**授業方法** 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な経済政策の内容を学びます。

◆**準備学修** 特段の準備学習をする必要はありません。関心のあるテーマについて、新聞の経済面を読んだり、統計データを把握することにより、講義の内容を理解しやすくなります。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1 経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の分配など 2 国民経済論・経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など 3 国際収支と対外関係：国際収支の構造、外国為替市場と為替レートなど 4 金融政策論：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライなど
2日目	5 財政政策論：財政制度の意義、財政投融资、裁量的財政政策、財政再建など 6 租税政策論：租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類、税制の課題など 7 貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、WTOルール、EPA、TPP等
3日目	8 雇用政策論・労働政策論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善など 9 社会保障政策論：私的保障と公的保障、財源の調達、社会保険と公的扶助など 10 社会福祉政策論：社会福祉の供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係 11 資源・エネルギー政策論：世界のエネルギー事情、省エネ対策、福島原発事故以後のエネルギー政策

◆**教科書** **当日資料配布** 教科書の指定はありません。当日、資料を配布します。

◆**参考書** 講義で紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 財政学の歴史、理論、政策の各局面について総論的に理解できるようになることを目的とする。すなわち、スミス、ワグナー、ケインズ、マズグレイブによる財政学の歴史的な意義を学び、基礎的な財政理論としてIS/LM分析の意味と、財政政策による経済上の効果を解明でき、我が国の歳入としての租税・公債制度、及び歳出としての予算編成過程まで正確に説明できるようになること、が目標である。

◆**授業方法** 基本的に板書による講義形式により、時限毎にテーマを定めた授業を進めていく。但し、教員の拙い板書だけでは理解不十分となる部分が残るため、できる限りノートやメモを多用されたい。また、受講者の関心や財政政策の近年の動向も適宜取り入れ、多角的な学習も心がけたい。さらに、必要に応じて財務省などの公表資料に基づいた最新の情報や統計データも適宜配布して、より具体的な授業を行う予定である。

◆**準備学修** 政府の経済活動たる財政学は、多様な関心を有する国民のあらゆる視点からの勉強の関連づけが可能である。復習する場合には、財政学の史的展開は経済史のテキストより、財政理論の理解はマクロ経済学のテキストより、我が国の財政政策の理解は財務省のHP等より、それぞれ積極的に調べて意味をよく理解しておくこと。

◆**履修条件** 平成29年度夏期スクーリング「財政学／財政学総論」（野田裕康担当）との積み重ね不可。
平成28年度東京スクーリング（10月期）「財政学／財政学総論」（野田裕康担当）との積み重ね不可。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	財政学の意義、財政の3機能、古典学派、歴史学派、重商主義、自由主義、帝国主義、市場の失敗、公共財、フィスカルポリシー ※まず、財政学の社会科学における意義とその機能を基本から学び、今日の財政学の役割を理解する。続いて、財政学の歴史的な生成・発展段階を重商主義から現代までを考察していく。
2日目	三面等価理論、有効需要理論、乗数理論、流動性選好理論、所得仮説、45度分析、IS/LM分析、ケインズの罫、クラウディングアウト、総需要・総供給分析 ※ケインズ財政学の伝統的な基礎理論として、国民所得決定の理論から、財政政策と金融政策の効果までを数学的、視覚的に理解する。
3日目	予算機能、予算原則、一般会計、特別会計、補正予算、予算循環、所得・消費・資産課税、公債理論 ※我が国の予算編成過程を時系列に分析し、予算の持つ意義や日本の予算策定の問題点を具体的に指摘しつつ、歳入における租税制度と公債制度、及び、歳出におけるスリム化や財政再建と東日本大震災後の日本財政の現状について学ぶ。

◆**教科書** **当日資料配布** 初回授業時にプリント配布。

◆**参考書** **丸沼** 『図説 日本の財政 平成29年度版』宇波弘貴編著 東洋経済新報社 2,808円(税込) (送料350円)

◆**成績評価基準** 最終試験50%、授業中のミニテスト30%、平常点20%。全授業出席を前提として評価する。
(頻繁な遅刻・授業中のスマホ弄りは、平常点だけでなく、テストにも悪い影響を与えていると考えています)

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆産業の立地について学ぶⅡ

〔経済地理学／経済地理〕

オープン受講：不可 担当者：井村 博宣

◆**学修到達目標** 本講義では、今後経済地理学研究を進めるうえで必要となる、事象の空間的な立地展開に関する理論（法則性）の習得を目的とする。本講義では、演繹法的研究と帰納法的研究の特徴の違いと相互補完関係、および近年再評価識されている帰納法的な研究方法の重要性について理解、習得を目的とする。

◆**授業方法** 授業は講義形式にて行う。板書と配付資料を基本に解説するが、必要に応じて適宜 PC・プロジェクターを用いる。なお、配布資料は当該授業時にのみ配布する。

◆**準備学修** 授業内容に関するキーワードについて、事前に関連する文献等で調べるとともに、事後には具体的な事例を通して、理解しておくこと。わからないことを放置せず、まずは自ら調べること。

◆授業計画（各日450分）

1日目	まず経済地理学の研究領域と分析方法、本講義にて取り上げる立地研究の動向や意義について、思考方法、地域差・土地条件等の優劣に留意しながら説明した後、演繹法的な思考方法に基づき、かつ最も基本的な理論であるチューネンの立地論（チューネンの孤立国）について教授する。
2日目	チューネンの立地論について、実際の農産物の収益を通して理解するとともに、現実的な検証を行う。理解しやすいように具体的な北海道における酪農の立地展開を事例として、同理論の抱える問題点について解説する。
3日目	自然条件に社会経済条件等を含めた総合的かつ生態的な帰納法的な産業の立地に関する研究の重要性について、担当者の研究成果に基づき解説する。また近年、関連学界において注目を集める行動経済学について、経済地理学の立場から説明する。

◆**教科書** なし。

◆**参考書** その都度、授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 授業内試験（100%）。但し、遅れず出席することが大前提であり、授業参画度等により減点する。なお試験は持ち込み不可とする。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 米国による TPP 離脱方針と NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の表明、カナダ・韓国・ベトナム等が対米貿易制裁を WTO（世界貿易機関）に要請するなど、貿易・国際投資をめぐる話題が事欠くことはない。本科目では、貿易・国際投資のリーガル・スキームやその歴史的背景を学び、貿易・国際投資のルールに関する基礎的理解を習得するとともに、貿易・国際投資をめぐる諸課題や貿易紛争の実態に関する基礎知識を身につける。

◆**授業方法** 教科書の内容を中心に貿易・投資のルールについて解説するとともに、貿易・投資関係の各種資料を参照しながら、貿易・投資のルールが現実の貿易・投資にどのような影響を与えているのかを説明する。また、「現実」をルールに則して考えることが重要であるため、受講者によるディスカッションなどを可能な限り行うことも予定する。

◆**準備学修** 受講上の必須事項ではないが、貿易や国際投資の動向をめぐる政治経済・法律関連の最新情報（新聞や雑誌、経済専門誌等の記事）をチェックしておくことを推奨する。また、参考文献を一読しておけば、授業内容に関する理解が深まる。貿易・国際投資に関する予備知識は必要ないが、それらの「現実」に対する強い関心を持っていることが何よりも大切である。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	1. 総論（データでみる貿易・投資の動向） 2. グローバル貿易体制の成立と展開・全体像（GATT/WTO体制の歴史的展開） 3. 基本原則（最恵国待遇、内国民待遇、数量制限禁止など。ケーススタディを含む） 4. 一般的例外と非貿易的関心事項（「貿易と環境」問題を中心に） 5. 1日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション）
2日目	6. 衛生植物検疫措置／貿易の技術的障害（ケーススタディを含む） 7. 貿易救済措置①（セーフガード。ケーススタディを含む） 8. 貿易救済措置②（アンチダンピング。ケーススタディを含む） 9. 貿易救済措置③（補助金・相殺措置。ケーススタディを含む） 10. 2日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション）
3日目	11. 農産品貿易・サービス貿易の自由化（ケーススタディを含む） 12. 地域経済統合・原産地規則（FTA/EPA、関税同盟。ケーススタディを含む） 13. 貿易・投資紛争処理制度（WTO紛争解決手続を中心に。ケーススタディを含む） 14. 3日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション） 15. 試験（60分間の実施を予定）

◆**教科書** 丸沼 『WTO・FTA法入門』 小林友彦ほか著 法律文化社 2,592円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 丸沼 『国際経済法』 松下満雄ほか著 東京大学出版会 3,888円（税込）（送料350円）

丸沼 『ケースブックWTO法』 松下満雄ほか編 有斐閣 3,024円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業の出席を前提として、試験の評点（+ディスカッション実施の場合はその参加度）で評価を行います。試験のみとなれば100点満点、上記の合算方式となれば試験80%+ディスカッション20%を予定します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際通貨制度を学びましょう

〔国際金融論〕

担当者：谷川 孝美

- ◆**学修到達目標** この講義では、国際的な金融取引が行われる国際金融市場、外国為替取引が行われる外国為替市場、外国為替制度や国際収支などの国際金融に関する基礎的な事柄や、国際金本位制、IMF体制などの国際通貨制度の歴史な変遷、通貨危機問題などを学び、これらの理解をつうじて、現代の国際金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。
- ◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、講義の進捗状況によっては授業計画が前後することもあります。また、為替レート決定などの国際金融理論の詳細については取り扱いません。
- ◆**準備学修** 指定したテキストを事前に熟読しておくこと。また、講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスや専門用語について、参考書などで予習しておくこと。また、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆授業計画（各日450分）

1日目	①外国為替の仕組み、②外国為替市場と為替レート、③国際収支統計と対外取引、④小テスト。 ※国際金融を理解するための基本的な事柄として、外国為替レートや国際的な決済の仕組み、基本的な外国為替レート決定理論、国際収支統計などについて学びます。
2日目	①金本位制から国際金本位制、②IMF体制から為替フロート、③経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ。 ※国際通貨制度の歴史的な変遷について、国際金本位制、IMF体制、為替フロートなどを学びます。
3日目	①国際金融市場、②国際協調とBIS規制、③通貨危機と国際通貨制度改革、④講義のまとめ、試験。 ※国際金融市場とその他諸問題について学びます。

- ◆**教科書** **通材** 『国際金融論 S31200』通信教育教材（教材コード000432）2,300円（送料込）
- ◆**参考書** **丸沼** 『国際金融のしくみ 第4版（有斐閣アルマ）』 秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣 2,160円（税込）（送料300円）
- 丸沼** 『身近に感じる国際金融』飯島寛之、五百旗頭真吾、佐藤秀樹、菅原歩 有斐閣 1,944円（税込）（送料300円）
- 丸沼** 『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄、有斐閣 2,268円（税込）（送料300円）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆こころの発達と学習の理論を学ぶ

〔発達と学習〕

担当者：野村 康治

- ◆**学修到達目標** 教育に関わる発達心理学や学習心理学の知見や理論を学ぶ。発達に関しては、特に幼児期、児童期、青年期の認知発達や人格発達の問題を中心的に取り上げる。また、基本的な学習理論を紹介した上で、様々な学習方法、教授法を概説する。これらを通し、教育に携わる者に必要な心理学的知識の習得を目指す。
- ◆**授業方法** 授業は主に講義形式で行う。短期間に発達と学習に関する多くの問題を取り上げるため、プリントなどを活用し効率良く授業を進めていく。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講して欲しい。
- ◆**準備学修** 発達や学習に関する問題は全てがリンクしている。各単元で得た知識を関連づけながら、授業を受けて欲しい。そのためには、毎回の授業に際し、それまでの授業内容を復習しておくことが大切である。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	心理学において発達がどのようにとらえられているかを理解し、発達の基本原理や基礎的概念、またピアジェやエリクソンなどの代表的な発達理論を理解し、認知発達、人格発達の流れを学ぶ。さらに、各発達段階の特徴や課題を論じ、それに関連づけて、児童・生徒の問題行動も取り上げる。
2日目	基礎的な学習理論を取り上げる。連合説（条件づけ理論）、認知説に基づく代表的な学習理論について学ぶ。
3日目	学習の成果を左右する諸要因（動機づけ、知能、性格など）について学ぶ。また、教科学習における様々な学習の方法、教授法について学ぶ。

- ◆**教科書 教材** 『発達と学習 T10500』通信教育教材（教材コード000420）3,150円（送料込）
〈この教材は市販の『教職をめざす人のための教育心理学』藤田主一 他著（福村出版）と同一です。〉

当日資料配布

- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 成績は主に試験の得点をもとに平常点（授業時の発言など）を加味して総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカでの教員経験を活かして伝えられること〔教育の方法・技術論〕

担当者：池田 有里子

◆**学修到達目標** アメリカ滞在10年半、現地校教員7年の実体験を現在の日本の教育と結び付け比較しながら、様々な教育方法・技術があることを学びより良い授業作りと授業実践力を養っていきましょう。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で進めていきますが皆さんからの積極的な疑問・質問・意見などを織り交ぜながら、そこから展開・発展していくディスカッションも大いに取り入れます。参加される学生には授業に関する資料の講読、日本の教育観の違いなど臆せず前向きに取り組んでもらい、授業の内容にスパイスを効かせていただきたいです。堅苦しい授業ではなく、楽しく活気あるカジュアルな雰囲気の授業を目指します。

◆**準備学修** アメリカの教育との比較をしながら進めたいと思いますので、普段からアメリカに関心を持ち、教育の背景にある文化、社会構造、地域性などを教育に結び付けて自分なりに考えておくことを勧めます。また、事前に配布する資料を1日目までに読み、意見や質問などできるようにしておいて下さい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス、教員・学生の自己紹介 ・教育方法の違い（日本とアメリカを社会生活・文化的背景から比較して）←資料を講読しながら大まかな相違を考える ・アメリカと日本の大学・大学院の教育方法
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカと日本の幼稚園・初等教育・中等教育の比較（教育の方法に注目して） ・アメリカと日本の高等学校教育の比較（教育の方法に注目して） ・教育評価の方法
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・教材と教具、教育機器の利用方法 ・学生による発表、意見交換

◆**教科書** **事前資料送付**

当日資料配布

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 課題の読みこなし、グループ学習や質疑応答、意見交換などの授業参加度、最終日の発表などを合わせて総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地図から地域を読む

〔地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論 (地誌を含む)〕

オープン受講：不可 担当者：羽田 麻美

◆**学修到達目標** 本授業を通じ、中学・高等学校で地誌学分野を取り扱う際に必要な知識と考え方を得ることを目標とします。地誌分野を教える際に必要な基本的概念を学び、地図を用いて地域を読み解く力をつけることを目指します。

◆**授業方法** 授業はパワーポイントと配布資料を用いておこないます。また、3日間の授業の半分は、地図を用いた読図実習をおこない、授業内で課題を提出してもらいます。※3日間とも色鉛筆(5色程度)を必ず持参すること。

◆**準備学修** 毎回の授業の復習をおこなって、翌日の授業に臨むこと。授業内容に不明な点があった際は、授業時間内に必ず質問をして下さい。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	地誌学とは、地理学的な地域の見方、ヨーロッパ地誌 ※地誌学の概念をはじめに学びます。その上で、東欧を題材に地域の見方を学びます。
2日目	地図とは、地図の読み方、地理学における地図の活用 ※地域の特徴を理解するための一つの材料として、地理学における地図の活用法を学びます。地図を読むための基礎的知識として、地図の種類、地図記号などを理解します。
3日目	地図から地域を読み解く ※国土地理院が発行している地形図から浦安市、広島市、桜島、南大東島を取り上げ、地図から地域の自然環境や災害、人々の暮らし、それらの歴史の変遷を読み解きます。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配付。

市販されている地図 国土地理院発行の地形図 計4枚

- 1) 2万5千分の1地形図「浦安」(H27.2.1発行) 339円
- 2) 2万5千分の1地形図「祇園」(H25.7.1発行) 278円
- 3) 2万5千分の1地形図「南大東島」(H19.5.1発行) 278円
- 4) 5万分の1地形図「鹿児島」(H18.8.1発行) 298円

※ネットショッピング又は地図販売店

(国土地理院ウェブサイト <http://www.gsi.go.jp/MAP/kounyu.html> 参照) で購入可能です。

◆**参考書** **丸沼** 『建設技術者のための地形図読図入門 1～4』鈴木隆介 古今書院 1 4,356円(税込)(送料350円)
2 6,048円(税込)(送料560円)
3 6,156円(税込)(送料560円)
4 6,696円(税込)(送料560円)

丸沼 『大学テキスト 地図読解入門 追補版』籠瀬良明(著)・ト部勝彦(追補) 古今書院
2,160円(税込)(送料300円)

丸沼 『読みたくなる「地図」東日本編：日本の都市はどう変わったか』平岡 昭利 海青社
1,728円(税込)(送料300円)

丸沼 『読みたくなる「地図」西日本編：日本の都市はどう変わったか』平岡 昭利 海青社
1,728円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 授業内におこなう課題(40%)、平常点(10%)、試験(50%)。

全ての授業に出席することを前提として、総合的に評価します。課題未提出者は、単位取得が不可能です。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学習指導案をつくる

〔社会科・公民科教育法Ⅱ〕

担当者：壽福 隆人

◆**学修到達目標** 学習指導案を作成する能力を身につける。その過程で、社会科や公民科各科目が目指す教育目標を理解できるようになることを学習到達目標とする。

社会科＝歴史分野「ペリー来航」、公民科＝倫理「ユダヤ教」の学習指導案を作成する。

◆**授業方法** 実際に学習指導案をつくる作業と解説を組み合わせる授業を展開する。さらに、作成した学習指導案をもとに模擬授業を行う。

◆**準備学修** 社会科＝歴史分野「ペリー来航」、公民科＝倫理「ユダヤ教」の学習指導案を作成するための資料を収集し、スクーリングで持参できるよう準備すること。

◆授業計画（各日450分）

1日目	学習指導案の作成方法に関する講習と実際の学習指導案を参考として作成に必要な手順、方法を学ぶ。
2日目	社会科歴史分野学習指導案「ペリー来航」を実際に作成する。 作成された学習指導案をもとに模擬授業を行う。
3日目	公民科「倫理」の「ユダヤ教」に関する学習指導案を実際に作成する。 作成された学習指導案をもとに模擬授業を行う。

◆**教科書** **丸沼** 『歴史教育の課題と教育方法・技術論』 DTP出版 2,592円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 出席と作成された学習指導案を総合判断して評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** Students will become familiar with the educational schools of Behaviorism, Humanism, Constructivism and Social Interactionism. These schools of thought will then be connected to various teaching methods including audiolingualism, affective variables, individual learning strategies and communicative language teaching.
- ◆**授業方法** Students will engage with the content of the course through various readings, vocabulary exercises, reading comprehension questions, discussions, and videos. Furthermore, students will be required to apply some of the theories and methods in hands on teaching activities in small groups.
- ◆**準備学修** Come to class ready to share your ideas about teaching. English will be the medium of instruction and students are expected to use English only.
- ◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	Course introduction Educational psychology - Behaviorism Teaching methodology - Audiolingualism Micro teaching activity - ALM Drills Educational psychology - Constructivism Teaching methodology - Cognitive Academic Language Learning Approach Micro teaching activity -
2日目	Educational Psychology - Humanism Teaching methodology - Affective activity Micro teaching activity Educational Psychology - Social Interactionism Teaching Methodology - Communicative Language Teaching Micro teaching activity -
3日目	Individual Differences In Language learning Describing Different types of teachers Test

- ◆**教科書** Copies of the text will be provided by the teacher.
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** Attendance, participation and a test

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日常生活の「当たり前」を疑ってみよう

〔文化人類学〕

担当者：服部 慶巨

◆**学修到達目標** 人間についての総合的研究—それが文化人類学である。そしてまた、文化人類学は各地の様々な文化や社会などを比較する学問でもある。グローバル化が進む現代において「自分とは異なる現象」を「比較」することは、すなわち自分自身を知ることにもつながる。そのような視点を養いつつ、総合的に日常生活の構造(しくみ)と機能(はたらき)を理解する基礎を3日間で身に付けるのが、本講義の目標である。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書(パワーポイント)などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料(CD, DVD, マンガ, その他)を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。

◆**準備学修** 特別な予習は必要としないが、講義で紹介された事例・理論・概念などを自分自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)した上で、次の講義にのぞんでほしいと思う。文化人類学を単なる「机上の学問」としてではなく、日常の(あるいは自分自身の)あらゆる場面と密接に関連した学問としてとらえてほしい。

◆授業計画(各日450分)

1日目	講義目標・目的の確認、文化人類学の学問的位置づけ、人間の動物学的特徴、「文化」(culture)の概念・機能、履修者自身の人生の振り返り ※文化人類学を学ぶ上で必要な態度を説明し、その上で我々人間がどのような存在であるのかを確認する。さらに、「文化」(culture)が我々にとってどのような意味を持つものであるのかを考える。
2日目	「日常」と「非日常」について考える ※自分自身が「当たり前」と思っていることを文化人類学的に確認し、二元論的に諸現象を比較する。例を挙げると、「ハレ(晴れ)とケ(曇)」「グローバルとローカル」「都市と農村」「子どもと大人」など。
3日目	「伝統文化」について考える ※2日間で語られた内容を継続・応用しながら、日本(人)の日常と非日常について考える。

◆**教科書** **丸沼** 『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社 1,296円(税込)(送料300円)

通材 『文化人類学 Y21300』通信教育教材(教材コード000424)3,250円(送料込)※学修指導書付き。
(この教材は市販の『文化人類学のレッスン(増刷版)』奥野克己・花淵馨也(学陽書房)と同一です。)

◆**参考書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

◆**成績評価基準** 終講試験(70%)、受講態度(20%)、レポート類(10%)で評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第4期

日 程		授 業 内 容	備 考
8月 8日	水	各日 9:00～17:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを 設けます。
8月 9日	木		
8月10日	金		

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COD1	英 語 E	天野 暁子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
COD2	英 語 V	福島 昇	1	C10500	英 語 V		2年	・ 英文学専攻のみ申込可。	
COD3	英 語 基 礎	上島 美佳	1	C10600	英 語 基 礎		1年	・ 英文学専攻は申込不可。	
COD4	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子	1	F10300	中国語Ⅲ		2年	・ Ⅲ、Ⅳのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				F10400	中国語Ⅳ				
COD5	民 法 I	益井 公司	2	K20200	民 法 I		※	・ 法律学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
COD6	知的財産権法	大滝 均	2	K31400	知的財産権法		2年		
COD7	政 治 学 原 論	吉野 篤	2	L20100	政 治 学 原 論		※	・ 政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
COD8	国 文 学 講 義 Ⅱ（中古）	笹生美貴子	2	M306S0	国 文 学 講 義 Ⅱ（中古）	×	2年		
COD9	漢 文 学 I	本間 直人	2	M31500	漢 文 学 I		2年		
CODA	国文学演習 A	長谷川正江	1	M404S0	国文学演習Ⅰ	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅵのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				M405S0	国文学演習Ⅱ				
				M406S0	国文学演習Ⅲ				
				M407S0	国文学演習Ⅳ				
				M408S0	国文学演習Ⅴ				
				M409S0	国文学演習Ⅵ				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
CODB	英米文学概説	新井 英夫	2	N20300	英米文学概説		※	・英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
CODC	イギリス 文学史Ⅱ	猪野 恵也	2	N30100	イギリス 文学史Ⅱ		2年		
CODD	英作文Ⅱ	アレックス ブラウン	2	N30500	英作文Ⅱ	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
CODE	英語学演習 B	佐藤 健児	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				N402S0	英語学演習Ⅱ				
				N403S0	英語学演習Ⅲ				
CODF	英米文学演習 C	閑田 朋子	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
CODG	東洋思想史Ⅱ	梅川 純代	2	P30700	東洋思想史Ⅱ		2年		
CODH	西洋史概論/ 西洋史概説	馬淵 彰	2	K32400	西洋史概論		2年	・法学部のみ申込可。	
				Q30400	西洋史概説			・文理・経済・商学部のみ申込可。	
CODJ	日本史演習 Ⅰ Ⅱ	坂口 太助	1	Q401S0	日本史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				Q402S0	日本史演習Ⅱ				
CODK	国際経済論	田宮 憲	2	R31100	国際経済論		2年		
CODL	地方財政論	野田 裕康	2	R31600	地方財政論		2年		×
CODM	保険総論	岡田 太	2	S30600	保険総論		2年		
CODN	商業政策	新島 裕基	2	S31000	商業政策		2年		
CODP	英語科教育法Ⅰ	隅田 朗彦	2	T20900	英語科教育法Ⅰ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
CODQ	特別活動論/ 特別活動の研究	今泉 朝雄	2	T21500	特別活動論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
				T21600	特別活動の研究				
CODR	博物館実習Ⅰ	折茂 克哉	1	Y301S0	博物館実習Ⅰ	×	3年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。 ・申込みは巻末の『平成30年度 「博物館実習Ⅰ」受講届』を使 用してください。	×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆発音できる音は聴き取れる

〔英語 E〕

担当者：天野 暁子

- ◆**学修到達目標** リスニングを中心としたテキストではありますが、語彙力を増強し、英語音声を集中して聴き、発話に慣れることを学習の中心目標とします。最初は誰でも聴こえないものです。できなくて「普通」だと思って始めているうちに、発音できる語句は聴こえてくるようになります。読解力で補えることもあります。聴いた言語を音読練習することにより一歩でも「使える英語」の運用能力をバランス良く伸ばすことを目標とします。
- ◆**授業方法** 授業の始め約5分間程度はウォーミングアップとして自由に英語での対話をしましょう。プリントによる発音練習をします。テキストのDVD、CDを視聴し、各Unitの語彙の理解、"Quick Responses"リスト、"Shadowing"などによる音読練習と単語句暗唱、スクリプトの空欄補充、"Critical Thinking"に基づくディスカッション(日本語)などをペアやグループ、個人で発表します。積極的な授業参加が求められます。進度に合わせて随時小テスト(音読・語彙確認)も行います。2018年春・東京スクーリングで同テキストを使用しますが、学習箇所が異なるため、両方の登録が可能です。
- ◆**準備学修** テキストの動画はオンラインでのストリーミング再生になっています。テキスト巻末に添付のアクセスコードから再生し、スクーリング前に必ず視聴して下さい。わからない単語句は調べ、基本語句の音読練習はしておきましょう。聴いて声に出す、書いて覚えることは学習上大事なポイントです。中学・高校の基本文法の復習もしておくとう有効です。
- ◆**授業計画(各日450分)**

1日目	ガイダンス(進度は受講生の習熟度により調整する)授業方法を提示。発音の基礎練習 Unit 9 "Is sitting the new smoking?" 座りっぱなしは体に毒? Word Match, Getting the Gist, 英文空欄補充, Quick Response, Shadowingの英文暗唱(発表), 内容に関するグループディスカッション(日本語) Q & A 小テスト① Unit 10 "Matcha madness sparks new tea craze": 抹茶が大人気, 以下Unit 9に準じる。
2日目	Unit 11 "Daddy duty: Stay at home dads putting kids before careers" アメリカのイクメン事情, 以下Unit 9に準じる。小テスト② Unit 13 "Slurping to Success" ラーメン人気, 以下Unit 9に準じる。 Q & A
3日目	Unit 15 "How companies are keeping handwriting alive. ..." 以下Unit 9に準じる。小テスト③ 最終発表活動(ペア、グループまたは個別), Q & A, まとめ 試験

- ◆**教科書** **丸沼** 『CBS NewsBreak3』熊井 信弘・Stephen Timson 著 成美堂 2,592円(税込)(送料300円)
- ◆**参考書** 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の電子機器等(スマホ, iPad, PC等)の辞書機能は使用できません。その他は必要に応じて提示。
- ◆**成績評価基準** 発話活動・発表(30%) 平常点(小テスト等 20%) 試験(50%)
無遅刻・無欠席を前提として総合的に評価。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中級レベルの英語の学習

〔英語Ⅴ〕

担当者：福島 昇

◆学修到達目標 英文学専攻の学生として必要な英文法の知識、読解力。

◆授業方法 事前に予習の分担を決める。オルダス・ハクスリー (Aldous Huxley) の『すばらしい新世界』(Brave New World) を精読し、ハクスリーの英文構造に慣れるようにする。

◆準備学修 事前にテキストを読み授業に臨むこと。わからない箇所を明らかにし、わからない単語は辞書で調べて、ノートを作成すること。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	オルダス・ハクスリー (Aldous Huxley) の『すばらしい新世界』(Brave New World) の英文構造について。Brave New World の精読 (10 頁ぐらい読む)
2日目	Brave New World の精読 (10 頁ぐらい読む)
3日目	Brave New World の精読 (10 頁ぐらい読む) 試験

◆教科書 オルダス・ハクスリー (Aldous Huxley) の『すばらしい新世界』(Brave New World) 出版社 Vintage Classics, 出版年 2016 年。(アマゾンの中古品で 755 円, 新品で 942 円) 出版社はどこでもよい。ネットからテキストをダウンロードすることもできる。

◆参考書 授業中に随時紹介する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として評価する。平常点 (40%), 試験 (60%)。

◆A Christmas Carol を読む

〔英語基礎〕

担当者：上島 美佳

◆学修到達目標 英語の文章を読むために、必要且つ基本的な文法等を習得し、Reading の力をつけることを目標とします。

◆授業方法 ・各日、講義形式で英文法の基礎学習を行います。その後演習形式でテキストの該当箇所を音読し、和訳してもらいます。
・受講者の様子を見ながら進行します。辞書とノートは必ず持参してください。◆準備学修 事前に郵送されたプリントについては、できれば訳しておいてください。当日、作業時間は取りますが、単語だけでも調べておくようにしてください。(1 日目に使いますので、持参してください。)
テキストはこちらで当日配布いたします。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	・ガイダンス ・文法解説 ・テキスト講読・発表
2日目	・文法解説 ・テキスト講読・発表 ・DVD 鑑賞
3日目	・文法解説 ・テキスト講読・発表 ・試験

◆教科書 **事前資料送付** 事前プリント有り。**当日資料配布** 当日テキスト配布。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆漢字に頼らない読解力

〔中国語Ⅲ・Ⅳ〕

担当者：稲葉 明子

- ◆**学修到達目標** 自宅学習が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自動的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく力をつけます。
- ◆**授業方法** 講読とリスニング問題の二本立てです。中国語検定4級リスニング問題を解き、次にシートを用いて単語を音で把握した後、場面と音声から自力で内容をつかんでいく訓練を行います。初日に学習方法を示すので、二日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習を続けてください。
- ◆**準備学修** 長文読解のサンプルを事前資料で示しますので、日本語訳をノートに書いて授業に臨んでください。辞書の他、時事問題についてはインターネット検索も活用しましょう。適宜初級文法をまとめながら進めます。中国語Ⅱは習得中であっても差し支えありません。
- ◆**履修条件** 中国語Ⅰ既習相当の力が必要です。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	・発音の導入と発声訓練（声調・母音・子音・音節） ・リスニング問題1「家族紹介」 ・長文読解1（中国語Ⅰ・Ⅱで学んだ構文を長文の中に正しく見出していく訓練。）
2日目	・数字・日時の言い方と時間量の概念。 ・リスニング問題1のディクテーションテスト ・リスニング問題2「レストランにて」「病院にて」等 ・長文読解2
3日目	・数字・金額・大きな数字の概念 ・リスニング問題2のディクテーションテスト ・リスニング問題3「日常生活」等 ・長文読解3 ・教場試験 ・中国語検定4級相当のリスニング問題

- ◆**教科書** **丸沼** 『論説体中国語読解力養成講座』三瀆正道 東方書店 2,592円（税込）（送料300円）
当日資料配布 家庭学習指示プリント・授業内プリント
- ◆**参考書** WEB上に様々なトレーニング用コンテンツをUPします。講習中にこの音声を用いた復習が必要になります。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します。試験は、リスニングが中心となります。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な発想が必要ですが、指示通りに取り組みれば、難しいものではありません。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民法総則を学ぶ

〔民法Ⅰ〕

担当者：益井 公司

- ◆**学修到達目標** 民法総則に関し、通説・判例の内容を理解し、なぜそうした考えが通説・判例となっているのかを理解するとともに、それをうまく文章に表せるようになることを目標にしている。
- ◆**授業方法** 講義形式で進めていくが、理解度を確かめるために学生に質問をすることもある。必要に応じて資料を配布する。
- ◆**準備学修** 事前に教科書の該当部分を読んできていただきたい。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	民法の意義, 民法の構成, 民法の基本原則, 権利能力, 失踪宣告, 同時死亡, 制限行為能力者制度につき説明する。制限行為能力者制度に関しては, 成年後見制度について特に詳しく検討したい。通信の教材テキストは債権法の改正を受ける形で改定されていないのでその点に留意しながら説明する。
2日目	権利の客体, 法律行為総論, 公序良俗違反, 心裡留保, 通謀虚偽表示, 錯誤, 詐欺・強迫について説明する。債権法の改正に当たり法律行為の部分もかなり大きく改正されているのでその点につき重点を置きながら説明したい。法律行為の部分は, 民法94条2項の類推適用など重要な論点が多い。
3日目	代理制度総論, 無権代理, 表見代理について説明する。三日目の最後の1時間で筆記試験を実施し, この結果によって採点するので, 試験の前に, 時間をとって学生たちの質問に答えるとともに, 法律の答案の書き方等について説明することにしたい(答案の書き方については, 学生の要望があれば2日目にもすることもある)。

- ◆**教科書 通材** 『民法Ⅰ K20200』 通信教育教材(教材コード000407) 2,600円(送料込)
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 最終の筆記試験の結果による。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆知財応用能力の開眼（【単位】も【資格】も）

【知的財産権法】

担当者：大滝 均

◆**学修到達目標** 知的財産に関する一般的基礎知識の習得及びそれに基づく実務的応用能力（例：起業（諸君がビジネスを始める）、取扱商品のネーミング？ 商標取得可？）の習得。講座内で実施するビジネス著作権検定（初級・上級）合格を目指す（【単位】も【資格】も欲張り講座）。

◆**授業方法** パワーポイント投映により、知的財産権制度を概略する。その後、インターネットにより、特許先行技術、先行商標の調査等の実務的応用能力を身につける。知的財産権は、特許庁登録で権利創設される知的財産権、創作により自動的に権利が発生する著作権の知的財産権の外、一定の競争状態の維持を目的とした知的財産権等に分けられる。これらの全てを扱うことは時間的にも無理だが、できるだけ広い知識習得を目的とする。

◆**準備学修** 教科書は事前に読み込んでおくこと／基本的に板書はしない（レジュメ参照）／自宅学習（宿題）有。

◆授業計画（各日450分）

1日目	パワポによる知的財産権法制度概略／PCによる特許調査・商標調査知的財産権法外観（講師作成プリント）／教科書レジュメによる特許法詳解 ※午前にビジネス著作権検定（ http://www.sikaku.info/ ）を説明、午後一に受験申込（要受験料：受験者のみ） ※検定のみ受験者も必来校の上、申込のこと
2日目	教科書レジュメによる実用新案法詳解 同 著作権法詳解 同 意匠法・商標法詳解
3日目	教科書レジュメによる知的財産権侵害（特許権侵害／著作権侵害／不正競争防止法上の侵害等）、救済（民事、刑事）／国際的保護・ヨーロッパ統一知財裁判所 単位修得試験 ビジネス著作権検定試験（初級・上級）（※検定委員会実施団体試験）

◆**教科書** 丸沼 『知的財産法（第4版）』伊藤真著 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 知財法令集（サイト閲覧可、ただし、試験持ち込みは法令集のみ可）

丸沼 瞬解「ビジネス著作権検定テキスト初級・上級」青月社 2,160円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 小テスト等を含む受講態度（50%）／習得試験（50%）

◆政治を観る目を養う

【政治学原論】

担当者：吉野 篤

◆**学修到達目標** 政治概念の歴史の変容を、いわゆる古典古代から20世紀までたどること、および現代の政治過程のアクターの具体的分析を行うことで、政治とはどのような現象なのかを包括的に理解すること。

◆**授業方法** 基本的に講義形式で行う。時宜に応じて、ジャーナルな政治問題を主として新聞報道を素材として取り上げ、何が問題であるかを一緒に考えたい。

◆**準備学修** 予習としてテキストを通読し、基本的な確認事項などを把握しておくことが望ましい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	古典古代（主としてプラトン、アリストテレス）の政治概念、中世ヨーロッパの政治像、近代の政治概念、社会契約説の政治史的、政治理論的意義、市民革命の政治過程、保守主義のイデオロギー、社会主義の政治理論の衝撃
2日目	20世紀の政治概念、国家像の歴史の変遷、丸山真男による政治の概念化、社会科学方法論（マックス・ウェーバーの議論）、大衆社会の政治理論と社会心理学的分析、政治過程論概説、政党の概念と機能、政党システムの類型学
3日目	選挙と選挙制度に関する分析、20世紀の政治学史（シカゴ学派、行動論、脱行動論、行動論以後の研究動向、新制度論の分析枠組みなど）

◆**教科書** 丸沼 『Next 教科書シリーズ政治学』第2版 吉野篤編著 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 基本的には試験で評価する。出席点を加味する場合がある。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『源氏物語』「澁標」巻を読む

〔国文学講義Ⅱ（中古）〕

担当者：笹生 美貴子

- ◆**学修到達目標** 『源氏物語』を吟味することによって、物語の読みの広がりや解釈を学びます。また、周辺作品との関連にも触れながら、『源氏物語』の文学的位置についても考えていきます。文学作品にふれることにより、心の豊かさや、物語作品に込められたメッセージを読み取る力を養うことを目標とします。
- ◆**授業方法** 作品の講読というスタイルをとります。文脈の一つ一つを丹念に追いかけて作品世界を読解し、その魅力を明らかにします。1日目・2日目の最後には、感想・意見等を書いたものを提出してもらいます。また、最終日に小論文（授業内容を踏まえた上での論述）を書いてもらい、試験の代わりとします。
- ◆**準備学修** 事前に「澁標」巻（教科書）全体に目を通し、内容を把握しておきましょう。また、難解な語については古語辞典を用いて予習をしてください。登場人物が多く複雑なため、教科書に載っている人物系図等を参考にしつつ把握しておいてください。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	『源氏物語』に影響を与えた先行文学について。『源氏物語』の概説。 源氏物語とメディア。「澁標」巻までのあらすじについて。 「澁標」巻を読む①（古典セレクション章段区分〔1〕～〔5〕） ※『源氏物語』に関する基礎的な事項について学びます。
2日目	「澁標」巻を読む②（古典セレクション章段区分〔6〕～〔12〕） 物語における和歌の機能。『源氏物語』における漢籍の影響について。 源氏物語の世界に触れる（装束・絵画・調度品）。 ※和歌や源氏物語に影響を与えた漢籍の内容を中心に学びます。
3日目	「澁標」巻を読む③（古典セレクション章段区分〔13〕～〔15〕） 『源氏物語』の現代語訳（谷崎訳・与謝野訳を中心に）について。 『源氏物語』宇治十帖の世界について。平安後期物語について。 試験（小論文）を実施。 ※『源氏物語』続編世界を中心に学びます。

- ◆**教科書** **丸沼** 『古典セレクション 源氏物語④』〔須磨 明石 澁標〕
〈校注・訳者：阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 小学館 1,728円（税込）（送料300円）〉
- ◆**参考書** 多岐にわたるので、授業時に伝えます。
- ◆**成績評価基準** 「授業後提出の感想・意見・授業態度」40%、「試験（小論文）」60%
毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** 漢文を正確に理解できる能力を身につけることを目標とします。又、中国古代の哲学思想について、孔子、孟子、荀子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。
- ◆**授業方法** 上記の「学修到達目標」を達成することに留意しながら、発表形式で授業を行います。具体的には、テキストの文章、又は配布した資料の文章などを1人ずつ読んでいただきます。さらに、レポートのまとめ方についても指導します。なお、授業内で小テスト、作文などを課すこともあります。
- ◆**準備学修** 授業で取り上げる哲学者・思想家についての参考書は、数多く出版されています。図書館、又は書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これからの学習に特に重要なことなのです。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	ガイダンス（研究の意義、必要性について） 漢文学とは何か 漢文訓読法について 『論語』（孔子の生涯、孔子の宗教観、儒教—孔子思想の学統） ※研究の意義、必要性について理解した後、漢文の基礎を学びます。又、孔子の思想を、その宗教観を中心に考えていきます。
2日目	『孟子』（孟子の生涯、孟子の思想、孟子の運命論） 『荀子』（荀子の人物・生涯、荀子の思想—理論的思惟—、荀子の定命論、荀子の〈礼〉について） レポートの書き方について①（司馬遷「任少卿に報ずるの書」を題材として） ※孟子、荀子の思想を、運命論を中心に考えていきます。又、レポートの書き方について、実践的に学びます。
3日目	レポートの書き方について②（前回のレポートの講評などを中心として） まとめ、テスト ※前日に引き続き、レポートの書き方について、実践的に学びます。さらに、3日間の学習のまとめを行います。

- ◆**教科書 教材** 『漢文学Ⅰ M31500』通信教育教材（教材コード000437）2,150円（送料込）
当日資料配布 当日プリントを配布。
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆井原西鶴の好色物を読む

〔国文学演習 A〕

担当者：長谷川 正江

◆**学修到達目標** 井原西鶴の浮世草子作品の中から初期好色物と称される『好色一代男』『諸艶大鑑』『好色五人女』『好色一代女』の数章を読み、浮世草子に描かれた風俗や人間像について学ぶ。学生が各人の調査・発表を通じて、江戸時代前期の語彙や表現、また俳諧師西鶴の文体的特徴を理解できるようになる。テキストには影印本を用いて変体仮名や崩し字に触れ、古典籍の原文を読む意義を考えることを目標とする。

◆**授業方法** 受講者決定後に、人数を考慮しつつテキストに収録されている短編作品を適宜割り振り、全員に通知する。最初に近世の出版文化の概略について長谷川が講義するが、各作品については、個々の学生の発表と質疑による演習形式で行う。欠席者が出ることが予想されるが、その時間を適宜影印の翻刻作業に宛てるものとする。

◆**準備学修** 扱う作品の翻刻・注釈は複数ある。それらを比較対照した上で、各自発表の準備をしていただきたい。A4サイズの発表資料を最低一枚は用意し、教員と受講者全員に配布すること。作品を解釈する上で、各自が関心を持った点を強調してよい。必ずしも主題に拘る必要はない。各自市販の変体仮名手引き書を用意し、持参のこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・近世前期の出版文化について講義する—印刷技術はいつからあるのか。西鶴の本の発行部数はどれくらいで、値段はいくらだったのか。 ・談林俳諧の特徴と俳諧師西鶴について考えよう—俳諧は西鶴の出発点。その俳諧の“ギネスブック化”ともいべき矢数俳諧とは何か。 ・近世文学史上画期的な作品『好色一代男』の世界を知ろう—“転合書”—というものは何故か。
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・『諸艶大鑑』にみる遊廓における男女関係を覗いてみよう—“遊廓”という虚構の恋愛の世界とはどのようなものだったのか。西鶴時代の“恋愛”と“遊び”とは何か。 ・『好色五人女』巻一「姿姫路清十郎物語」を読もう—素人男女の恋愛は命がけだったのか。お夏清十郎・お七吉三郎など当時皆が憧れた、江戸のヒーロー&ヒロイン像は実は西鶴が作った面が少なくない。
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・『好色一代女』の世界と当時の好色風俗を知ろう—女性が自分らしく生きるために、人生を楽しみたいのは何時の時代も幾つになっても同じはず。 ・各自の担当箇所を中心としたレポート形式の試験（自身の配布資料・自筆ノート類を参照することは可とする）。 ・変体仮名、崩し字読解の達成度試験（手引き書を参照することは可とする）。

◆**教科書** 丸沼『影印版頭注付 西鶴の世界Ⅰ』雲英末雄・谷脇理史他編 新典社 1,404円（税込）（送料215円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 配布資料と発表内容の充実度（45%）、質疑など授業への参加度・影印読解への取り組み姿勢（20%）、レポート形式の試験の達成度（35%）で評価。変体仮名の読解が出来なくても、それを理由に不合格となることはない。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 英米小説の特徴をよりよく理解し、多様かつ有効な文学形式における読みの可能性を感じ取るために、次に掲げる目標を達成しましょう。

- ①英米小説の読解に必要な英語力がどの程度ものであるかを知ることができるようになる。
- ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
- ③小説の形式を理解することで、作品のテーマについて説得力ある論を展開できるようになる。

◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学科で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。

◆**準備学修** 事前配布資料の英文を予め読んでおきましょう。英文を読む際に、単語、熟語、文法、構文等、わからない箇所は、辞書や参考書等を調べ、英文の内容を把握できるように努力しましょう。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	①ガイダンス ②ジェイン・オースティンの『エマ』の一節を読む（その1） ③ E. M. フォースターの『ハワーズ・エンド』の一節を読む ④ヴァージニア・ウルフの『ダロウェイ夫人』の一節を読む ⑤シャーロット・ブロンテの『ヴィレット』の一節を読む ※作品ごとに、内容確認、内容に関するグループ討論及び発表、講師による解説を行う。 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
2日目	①クリストファー・イシャウッドの『ベルリンよさらば』の一節を読む ②ミュリエル・スパークの『ミス・プロウディの青春』の一節を読む ③ジェイン・オースティンの『エマ』の一節を読む（その2） ④ジョージ・オーウェルの『一九八四』の一節を読む ⑤ D. H. ロレンスの『恋する女たち』の一節を読む ※作品ごとに、内容確認、内容に関するグループ討論及び発表、講師による解説を行う。 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
3日目	①カズオ・イシグロの『日の名残り』の一節を読む ②グレアム・グリーン『事件の核心』の一節を読む ③ジェイン・オースティンの『ノーサンガー・アペイ』の一節を読む ④最終試験 ※作品ごとに、内容確認、内容に関するグループ討論及び発表、講師による解説を行う。 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。

◆**教科書** **事前資料送付**□**当日資料配布**◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき10点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から15分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が0点を下回る場合には、0点として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ ヴィクトリア朝時代から James Joyce まで 〔イギリス文学史Ⅱ〕

担当者：猪野 恵也

◆ **学修到達目標** ヴィクトリア朝時代から James Joyce までのイギリス文学における様々な作家と作品を知り、それらをきっかけに各学生が各作品を翻訳でもよいので読み、鑑賞できるようにする。

◆ **授業方法** プリント(枚数多し)を用い、それらを基にすすめていく

◆ **準備学修** 授業計画を見て、イギリス文学史を読んでおくとい。

◆ **授業計画 (各日450分)**

1日目	Charlotte Bronte Jane Eyre / Emily Bronte Wuthering Heights / Charles Dickens Oliver Twist / Thackeray Vanity Fair / George Eliot Middlemarch
2日目	Thomas Hardy Tess / Henry James The Portrait of a Lady / Joseph Conrad Heart of Darkness / Oscar Wilde The Picture of Dorian Gray / E.M.Forster Howards End
3日目	D.H.Lawrence Lady Chatterley's Lover / George Orwell 1984 / Virginia Woolf Mrs Dalloway / James Joyce Ulysses / T.S.Eliot The Waste Land / 試験

◆ **教科書** 当日資料配布

◆ **参考書** 通材 『イギリス文学史Ⅱ N30100』通信教育教材(教材コード000112) 3,200円(送料込)

◆ **成績評価基準** 試験(70%) 平常点(30%) 三日間の短期スクーリングなので皆出席を求めます。

◆ English Composition 2 〔英作文Ⅱ〕

担当者：アレックス ブラウン

◆ **学修到達目標** This course begins with a look at the writing process and it's structure. The course also explores other forms of writing; creative writing, narratives, comparative essays and persuasive approaches.

◆ **授業方法** We will work on developing essays through the writing process, generating ideas in group activities, organizing ideas and constructing essays all within a workshop-like environment.

◆ **準備学修** なし。

◆ **授業計画 (各日450分)**

1日目	Orientation; self-introduction writing activity, free-writing. What is the writing process?, overview of various writing forms. Brainstorming essay ideas in groups, paragraph construction and formation. Draft paragraphs for essay 1.
2日目	Free-writing activity. Review of the various essay structures. Introduce essay analysis and critique. Check and revise paragraphs in groups. Organize paragraphs into essay form. Begin first draft of essay 1. Free-writing, brainstorming and organizing ideas for essay 2.
3日目	Free-writing. Creative writing activity. Check and revise paragraphs for essay 2. Begin first draft of essay 2. Essay analysis and critique for essay 2. Make revisions and prepare for final completion.

◆ **教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook, dictionary and folder for handouts.

◆ **参考書** None.

◆ **成績評価基準** Students will be graded on two essays with strong consideration on class participation and group contribution.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** G. N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語の未来表現の世界を探求します。(1) 専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、(2) 個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し、説明できるようになること、それを本演習の目標とします。

◆**授業方法** 輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。

◆**準備学修** Chapter 4 “The Expression of Future Time” の §86 (p.55) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書の「研究課題」、参考書に挙げた文献等を参照しながら、丁寧に（語彙や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、必ず「和訳」をしてから授業に臨むこと。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	テンスとアスペクトについて学びます（プリント） §86 から §89 まで読み進めます。
2日目	§92 から §97 まで読み進めます（§90 から §91 は扱いません）。
3日目	§112 を読み進めます。 試験。

◆**教科書** **丸沼** 『*Meaning and the English Verb [Third Edition]*』 Geoffrey Leech 著 澤田治美注釈 ひつじ書房 2,592 円（税込）（送料 300 円）

丸沼 『*英文法解説—改訂三版—*』 江川泰一郎著 金子書房 1,836 円（税込）（送料 450 円）

◆**参考書** **丸沼** 『*ことばの意味と使用—日英語のダイナミズム*』 澤田治美・高見健一著 鳳書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）

※授業では、（一部）コピーを配布します。

◆**成績評価基準** 予習状況・授業への取り組み（発表等）・試験等により総合的に評価します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英詩から、英語の音の面白さを学び、文学作品と作者や社会的背景の関係について考える

〔英米文学演習 C〕

担当者：閑田 朋子

◆**学修到達目標** 英詩に親しむことで、①英語の音の面白さに気付き、②詩を音読したときのどのような効果を狙って、どのような工夫がされているのか知ることが目標です。それと同時に③詩の作者や社会的背景について学び、④文学作品と作者、社会的背景との関係について、各自が自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

◆**授業方法** 小グループを作り、①そのグループ内で各ユニットの詩について、いくつかの音読方法を試して、アクセンの位置などについて、話し合います。次に②“The Reading of the Poem”部分および詩人や時代背景について、各グループで予習時に理解が難しかった部分を確認し合い、情報交換を行います。その後で③教員が、“The Reading of the Poem”や作家・時代について質問をして理解度を確かめ、さらに補足説明を行います。

◆**準備学修** 教科書のなかの以下で指定したユニットについて①辞書を引いて発音を調べ、精読して意味をとり、②特に詩の部分は発音の強弱を意識して音読してきて下さい。次にグループ学習時に質問できるように③“The Reading of the Poem”のなかで理解が難しかった場所を明確にして来て下さい。そして各ユニットの最後についている④“The Poet and His Work”についてよく読み、そのなかの歴史的事項や専門用語の意味など、分からないことがあれば調べてきて下さい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1時間目：Preface 2～4時間目：I. Poems of Nature の1～3（4・5は扱わない） 5時間目：II. Poems of the Seasons の1
2日目	1～4時間目：II. Poems of the Seasons の2～5 5時間目：III. Poems of Flowers の1
3日目	1・2時間目 III. Poems of Flowers の3・5（2・4は扱わない） 4時間目 IV. Poems of Birds and Animals の3・5（1・2・4は扱わない） 5時間目 総括と試験

◆**教科書** **丸沼** 『English Poems and Their Meanings』Peter Milward 著 木村俊幸編 音羽書房鶴見書店
1,620円（税込）（送料215円）

◆**参考書** 授業内に随時紹介する。

◆**成績評価基準** グループ学習における参加・貢献および教員からの質問に対する解答（30%）試験（70%）
*全日程出席を試験受験資格とします。
*試験は、授業で扱った詩の一つを選び、その詩を詩人や社会的背景と関連付けて解釈することを求める記述問題を含んでいます。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
*授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 敷居が高い哲学・宗教思想。しかし、どのような思想も、人間の頭の中で展開してきたものです。崇高なだけが哲学・宗教ではありません。こうした思想の背景に、どのような物欲・性欲、そして妄想がひそんでいたのかを考察することによって、思想史を我々と同じ人間の精神活動史として捉えなおしていきます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。最終授業はレポート制作といたします。

◆**準備学修** 必須ではありませんが、『金瓶梅』『列仙伝』『神仙伝』がどんな内容であるのか簡単に目を通して頂けると、解りやすい講義があります。小説・漫画を問いません。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	儒家と儒教 1. イントロダクション 2. シャーマニズムと儒家 3. 儒教から宋代理学へ 4. 宋理学の苦悩（春画と艶本から） 5. 『金瓶梅』と纏足に見る明清期中国人女性の社会的立ち位置
2日目	神仙思想と道教 6. 中国人の神仙イメージ1－『列仙伝』 7. 中国人の神仙イメージ2－『神仙伝』 8. 「道教＝餃子」論 9. 内丹概説 10. 理想の性器に見る日中ジェンダー論
3日目	仏教の発生から東アジアにおける展開 11. 仏教発生から大乘仏教運動 12. 密教の発生と発展 13. 日中における仏教の展開 14. 「イッコー」をめぐる混乱 15. レポート

◆**教科書** 当日資料配布

◆**参考書** 丸沼 『「気」の思想からみる道教の房中術』 五曜書房 2,570円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 出席とレポートで評価をします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 19世紀「革命の世紀」と新たな歴史観の誕生〔西洋史概論／西洋史概説〕

担当者：馬淵 彰

◆**学修到達目標** フランス革命からドイツ帝国成立までの歴史に関わる人物や事件、思想、文化などを、西洋史における歴史思想（歴史観）の問題と関連づけながら説明できる。西洋史を理解しようとする際にどのような問題が生じるか意識し、政治、社会、宗教、文化などにわたる幅広いヨーロッパの歴史像を自ら探究することができる。

◆**授業方法** 講義が中心だが、授業中に受講者に発言や小レポートの提出を求めることもある。具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である。

◆**準備学修** 教科書『西洋史概論 K32400 / 西洋史概説 Q30400』の第5章から第8章までを読んでおくこと。フランス革命、ナポレオン、ウィーン体制、産業革命、1848年の革命、イタリア統一、ドイツ統一について百科事典や専門書、概説書を読み、代表的な人物、出来事、思想などを前もって学んでおくと、講義の内容が理解しやすくなる。

◆ 授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・「近代歴史学」の特徴と課題 ・歴史学でしか説明できない過去の世界はあるのか ・自分の理想や価値観で、過去を物語っていいのか ・「フランス革命」（進歩史観）
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナポレオン」（ナショナルな歴史観） ・「産業革命」（自由主義、急進主義、社会主義、階級闘争的な歴史観） ・「ウィーン体制」（超民族共同体的、漸進的保守主義の歴史観） ・「1848年の革命」（種々の歴史観の衝突）
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・「イタリア統一・ドイツ統一」（民族中心の歴史観） ・歴史の発展法則や理論を発見したいという誘惑 ・歴史の学びは今日の社会に役に立つのか ・試験

◆**教科書** **当日資料配布** 使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

◆**参考書** **通材** 『西洋史概論 K32400 / 西洋史概説 Q30400』通信教育教材（教材コード000147）
2,550円（送料込）

丸沼 次の本は、講義を受ける前の良いウォーミングアップとなる。
『世界史とヨーロッパ：ヘロドトスからウォーラーズテインまで』岡崎勝世著 講談社現代新書
864円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業中の課題、試験などを総合評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 歴史を学ぶためには、その時代に作られた様々な文献・史料を読み込むことが重要である。本講義は、近代日本を代表するジャーナリストの1人である石橋湛山（1884～1973。なお石橋は政治家としても著名）の評論を題材として日本近代史の文献・史料の読み方、そしてより深く読む（内容を把握する）ための調べ方を学ぶことを目標とし、同時に史料から浮かび上がる近代日本の特徴や問題点を考えていく。

◆**授業方法** 受講者による報告と、それを受けての質疑応答・議論が中心の授業となる。受講者確定後、担当教員より受講者に教科書の担当部分（評論名）を連絡・指示するので、授業開始日までに担当部分について調べ、報告用プリント（レジュメ）を作成して授業に出席してもらうこととなる。もちろん担当教員も授業内で補足・コメントを行うが、あくまで中心は受講者となる。また理解を深めるために映像資料を視聴することもある。

◆**準備学修** 教科書の「解説」、および授業で取り上げる評論については必ず読んでおくこと。また受講者確定後、担当教員より報告用プリント作成の方法、参考文献等について指示するので、それを参考に受講者はプリントの作成を進めること。受講者数にもよるが、「報告用プリントはA3用紙2～3枚、報告時間は20～30分」が1つの目安となる（あくまで目安、受講者数によって増減がある）。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	1日目は、まず担当教員によるガイダンス・解説を行い、その後受講者の報告、質疑応答・議論へと移っていく。受講者数によっては調整する（前後する）こともあるが、おおむね大正時代前半期に書かれた評論を扱い、文献・史料の読み方、さらに深く読むための調べ方を学ぶ。同時に石橋の評論から浮かび上がるその時代の日本の特徴・問題点などを考えていく。
2日目	2日目も受講者の報告とそれを受けての質疑応答・議論を中心に授業を進めていく。受講者数によっては調整する（前後する）こともあるが、おおむね大正時代後半期～昭和初期に書かれた評論を扱い、文献・史料の読み方、さらに深く読むための調べ方を学ぶ。同時に石橋の評論から浮かび上がるその時代の日本の特徴・問題点などを考えていく。
3日目	3日目も受講者の報告とそれを受けての質疑応答・議論を中心に授業を進めていく。受講者数によっては調整する（前後する）こともあるが、おおむね昭和初期以降に書かれた評論を扱い、文献・史料の読み方、さらに深く読むための調べ方を学ぶ。同時に石橋の評論から浮かび上がるその時代の日本の特徴・問題点などを考えていく。

◆**教科書** **丸沼** 『石橋湛山評論集』松尾尊兌編 岩波文庫 1984年 972円（税込）（送料300円）
受講者は必ず購入すること。

◆**参考書** **丸沼** 『石橋湛山 リベラリストの真髄』増田弘 中公新書 1995年 993円（税込）（送料215円）
教科書の「解説」に加え本書にも目を通しておくと石橋湛山について理解が深まる。

◆**成績評価基準** 報告50%、平常点（授業参画度）50%。試験は実施しない。報告と、他の受講者の報告を受けての質疑応答・議論への参画度から評価する。なお、毎回出席することが前提となる。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代国際貿易の潮流を学ぶ

〔国際経済論〕

担当者：田宮 憲

◆**学修到達目標** 国際貿易に関する理論・政策の基本を学び、現代国際貿易の潮流を把握することを学修目標とします。具体的には、本講義の受講によって、受講生は、(1) 日本経済における国際貿易の役割、(2) 国際貿易理論の概要、(3) TPP等の政策を理解し、説明できるようになります。

◆**授業方法** 授業計画に記されたトピックスについて、講義中心に授業を構成します。各時限の最後に受講生自ら、リフレクション・ノートをまとめ、各回の学修の定着を図ります。そのまとめが記述式テストの準備になるように配慮します。ただし、受講人数により、授業構成、授業方法を変更することがあります。

◆**準備学修** 授業計画に記されたトピックスについて、準備学修を行ってください。特に、現代の自由貿易の潮流を把握し、日本経済が直面するTPP等のホット・ 이슈を熟考し、自らの意見をまとめることを意識してください。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	日本経済において国際貿易が果たす役割を概説し、貿易理論の基礎を整理します。具体的には、高度成長以降の貿易動向を整理し、国際貿易の観点から見た日本経済の盛衰を学修します。貿易理論に関しては、比較優位論、ヘクシャー＝オリーの理論等、基礎的な伝統的貿易理論を学修します。
2日目	伝統的な貿易理論を復習し、現代の複雑な貿易パターンを理解するための様々な新貿易理論を紹介します。また、貿易政策の意義を考えるために、関税政策等の基本政策についても学修します。
3日目	前日までの「日本経済における国際貿易の役割」と「貿易理論・政策の基本」で得られた知見に基づいて、現実のホット・ 이슈であるTPP論争(自由貿易論争)について学修します。経済学的な論点以外にも配慮して、説明します。

◆**教科書** **当日資料配布** 特に指定しません。授業当日に資料・プリントを配布します。

◆**参考書** 特に指定しません。

◆**成績評価基準** (1) 授業への主体的参加 (各授業におけるリフレクション・ノート等の提出) 30%
(2) 論述式テスト(日本経済が直面する国際貿易の諸問題に関するテスト) 70%
成績評価規準・基準を記したルーブリックを配布します。また毎回出席することを単位取得の前提とします。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆我が国の地方分権の現状を学ぶ

〔地方財政論〕

オープン受講：不可 担当者：野田 裕康

◆**学修到達目標** 我が国の地方財政は、三位一体の改革やアベノミクス改革により複雑化した。本講義は現状の地方財政制度の基本を、マクロ的・ミクロ的に理解することを主目標とする。具体的には、中央と地方との経済関係を、総務省の地方財政計画から知り、同時に特定の地方公共団体の財政的特徴も考察しながら、国・都道府県・市町村に見る財政上の意義と政策の諸問題を学び、我が国の地方財政の論点を広く認識できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 基本的に板書による講義形式により、時限毎にテーマを定めた授業を進めていく。但し、教員の拙い板書だけでは理解不十分となる部分が残るため、できる限りノート・メモを多用されたい。また、受講者に身近な県や市など特定地方団体の財政問題も、可能であれば適宜取り上げ、受講者の関心に合わせた多角的な学習も心がけたい。

◆**準備学修** 地方財政は約 1,700 の地方公共団体を相対的に論考する部分と、個別の都道府県や市町村の経済活動を具体的に考察する部分に分けられるが、後者に対しては自分の関心のある団体の勉強を自主的に行うことが効果的である。よって受講者は、ネット等のメディアを通じて、事前に特定市町村の地方財政状況を概ね把握しておくことが望ましい。

◆**履修条件** 平成 28・29 年度東京スクーリング (2 月期)「地方財政論」(野田裕康担当)との積み重ね不可。

◆授業計画 (各日 450 分)

1 日目	財政学の範囲、地方財政の理論 (ティーパー、オーツ、ブキャナン)、中央集権と地方分権の考え方、日本の地方財政計画、地方税原則 ※地方財政の基礎概念を理解し、財政学における地方分権の範囲と地方財政の考え方を理論的に考察する。同時に、我が国の地方財政の現状を理解し、諸外国に比べた日本の特異性を学ぶ。
2 日目	地方税、住民税、事業税、固定資産税、法定外税、外形標準課税、地方交付税交付金、基準財政収入、基準財政需要、財政力指数 ※国税に対する地方税の役割とその性格について学び、具体的に様々な税を取り上げながら、地方財源としての地方税の実態と、近年の改革の成果や赤字自治体の財政構造などを考察する。
3 日目	依存財源と特定財源、地方譲与税、国庫支出金、地方債、地方の歳入・歳出構造の特殊性 ※地方税以外の地方歳入構造の近年の傾向を把握し、市町村財政の現状や補助金行政など地方分権に求められてきているこれまでの地方財政改革や現下の種々の政策を考えていく。

◆**教科書** **当日資料配布** 初回授業時にプリント配付。

◆**参考書** 平成 29 年版地方財政白書ビジュアル版総務省HP
(http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/hakusyo/chihou/29data/index.html) より閲覧可能

◆**成績評価基準** 最終試験 50%、授業中のモニテスト 30%、平常点 20%。全授業出席を前提として評価する。
(頻繁な遅刻・授業中のスマホ弄りは、平常点だけでなく、テストにも悪い影響を与えると考えています)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆社会保険制度をリ・デザインする

〔保険総論〕

担当者：岡田 太

- ◆**学修到達目標** 少子高齢化が進む日本において、政府の財政負担の制約なども重なり、社会保障の中核を担う社会保険制度改革が課題となっています。講義を通じて、年金、医療、介護、労働の各社会保険について、持続可能な制度をデザインする考え方や基礎知識を習得することが目標です。また、それをふまえて民間保険の役割を理解し、ライフプランを作成する力を養うことも目標です。
- ◆**授業方法** 講義とグループワークの2本立てで実施します。講義はスライドによる説明が中心ですが、練習問題を織り交ぜ知識の定着を目指します。グループワークは3～4人でグループを結成してから、テーマを決定し計画書を作成します。その後は、レポート作成、発表、ディスカッション、レポート提出の順序で進みます。最後に、授業のまとめと復習を行い、テストを実施します。
- ◆**準備学修** 教科書の社会保険に該当する章を精読してください。グループワークは、各社会保険のうち関心のあるテーマを選ぶため、事前準備が欠かせません。また、ウェブで閲覧することができるので、最近の『厚生労働白書』などを読むとさらに理解が深まります。レポートは1人2000字が目安です。なお、文献・資料調査を行うため、インターネットに接続できるノートPCがあると便利です。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：年金保険と医療保険について 背景、歴史、制度の概要、課題について学びます。 ・グループワーク テーマの決定、計画書の作成、課題の確認
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：介護保険と労働保険 背景、歴史、制度の概要、課題について学びます。 ・グループワーク テーマの決定、計画書の作成、発表の準備、レポート作成
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：社会保険制度をリ・デザインする ライフサイクルと社会保険、民間保険の役割、ライフプランの考え方 ・グループワーク ・レポート発表、グループディスカッション ・復習、テスト

- ◆**教科書** **丸沼** 『はじめて学ぶリスクと保険』（第4版）下和田功他著 有斐閣 3,024円（税込）（送料300円）

当日資料配布 当日、レジュメを配布します。

- ◆**参考書** 厚生労働省『厚生労働白書』（厚生労働省のウェブサイト）
内閣府『高齢社会白書』（内閣府のウェブサイト）

- ◆**成績評価基準** レポート（30-35%）、発表（5-10%）、平常点（5-10%）およびテスト（50%）により、総合的に判断します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆まちづくりの公的支援について考える

〔商業政策〕

担当者：新島 裕基

◆**学修到達目標** この講義では、昼間（前期）「商業政策」を受けて、小売業者間の水平的競争（ヨコの関係）に関わる内容を学びます。到達目標は、各論として振興政策と調整政策の目的に理解すること、経済活動としての商業と生活基盤としての都市の「健全性」を保持する商業まちづくり政策の理論や展開について、体系的に理解することです。

◆**授業方法** できるだけ教室全体で議論を作り上げることで、双方向型・参加型の形式をとります。

◆**準備学修** 短期集中型の講義であり、毎日最後にテストを実施するため、復習より予習が重要です。わからない点は、講義前後の時間を利用して質問するなど、復習として確認するようにしてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス：なぜ今まちづくりなのか まちづくりとは何か 商業と「まち」の関係を理論的に捉える：商業の外部性 なぜ商業政策（公共政策）が必要なのか 1日目のまとめ：授業内テスト（マークシート方式）
2日目	振興政策（1）：歴史的変遷 振興政策（2）：限界と拡充・強化 調整政策（1）：歴史的変遷 調整政策（2）：大規模小売店舗法の規制強化・緩和 2日目のまとめ：授業内テスト（マークシート方式）
3日目	商業まちづくり政策（1）：政策転換（「都市の論理」と「市場の論理」の相克） 商業まちづくり政策（2）：中心市街地活性化法 商業まちづくり政策（3）：大規模小売店舗立地法と改正都市計画法 商業まちづくり政策（4）：まちづくり3法の見直しと政策効果 3日目のまとめ：授業内テスト（記述方式）

◆**教科書** **丸沼** 『流通政策入門 [第4版]』渡辺達朗 中央経済社 2016年 3,024円（税込）（送料300円）

当日資料配布 教科書とほぼ同じ内容のスライドを投影して講義を進めますので、教科書の購入は必須ではありません。初日の講義冒頭、資料を配布します。

◆**参考書** **丸沼** 『まちづくりを学ぶ』石原武政・西村幸夫編 有斐閣 2010年 2,484円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 平常点評価：100% <内訳> ①授業内テスト：70%（1～2日目：各20% / 3日目：30%）、
②授業内レポート：30%（1日1回：各10%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語科指導法:カリキュラム/シラバス

〔英語科教育法Ⅰ〕

担当者: 隅田 朗彦

◆**学修到達目標** 中学校及び高等学校の英語科教育の基礎となる学習指導要領、検定教科書について理解すると同時に、学習到達目標やそれに基づく指導計画について理解することで、教科教育に必須の基礎知識を得ます。また、小学校の外国語活動・外国語科についても基礎的な知識を得るとともに、小・中・高のつながりの重要性を理解します。

◆**授業方法** 教科書の内容について担当教員が講義形式で補足解説を加え、ディスカッション課題を提示します。提示された課題に応じ、教科書や配布資料の内容を踏まえ、グループでディスカッションしまとめてください。第1日、第2日の授業の最後には授業内容についての小テストを課します。また、最終日には3日間の授業内容を網羅する授業内課題（授業内で提出）を課します。

◆**準備学修** 授業でも教科書の内容については必要な補足解説を加えますが、教科書全てを端から解説することはできませんので、事前に「第1部 理論編」を読み授業に臨んでください。また、小学校、中学校および高等学校の学習指導要領（文部科学省のウェブサイトで見覧可）の「外国語」（小学校は「外国語活動」も含む）の節について、大まかに内容を確認しておいてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1. ガイダンス 2. 日本の英語科教育の現状と課題 3. 言語習得と教授法
2日目	1. 学習指導要領 2. 教育課程と指導計画
3日目	1. 検定教科書 2. 小・中・高の連携

◆**教科書** **丸沼** 『行動志向の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会 三修社 2017年
ISBN: 978-4384058765 2,808円（税込）（送料350円）

当日資料配布 その他の必要な資料は授業中に配布します。

◆**参考書** 小学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）
中学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）
高等学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）

◆**成績評価基準** 授業内小テスト（30%）、平常点（20%）、授業内課題（50%）によって評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特別活動の基礎理論と指導方法を学ぶ

〔特別活動論／特別活動の研究〕

担当者：今泉 朝雄

- ◆**学修到達目標** 学校教育における重要な教育活動である特別活動について、教育課程上の位置づけや教育的な意義、構成等についての基礎を理解する。その理論的知識をもとにしながら、生徒の主体的な集団活動の計画力、指導力を身につけ、現場の教育をよりよいものに構成出来る力を培う。
- ◆**授業方法** 講義だけではなく、特別活動に関する様々な活動、指導方法や実践に関する学生同士の討議・分析などを採り入れ、実践的な学習を行う。それらの知識をもとにしながら課題内容を自身なりに最終レポートとしてまとめる。レポートは最終日に作成する。
- ◆**準備学修** まずはこれまで学校教育の中で「授業以外」でどんな集団活動をしてきたのか、それらが果たして自分にとってどういう意義があったのか（なかったのか）を具体的にレベルで考えてみる。

◆授業計画（各日450分）

1日目	・特別活動の基礎的理解：基礎的概念。学習指導要領上の位置づけ。教育的意義。学校集団の考え方。良い集団、悪い集団とは何か。具体的な集団経営の考え方について。家庭・地域等との連携。
2日目	・学級活動：その教育課程上の基礎的理解。話し合い活動を中心とした指導理論とその方法について。 ・学校行事・生徒会活動：その教育課程上の基礎的理解。特に生徒の主体性に着眼しながら指導方法を考察する。
3日目	・部活動：教育課程外の活動としての特質や問題性。その具体的な運営方法や具体的指導方法について。 ・課題レポート作成 / これまでのまとめ

- ◆**教科書** **当日資料配布** 当日資料を配付する。
- ◆**参考書** **通材** 『特別活動論 T 21500/ 特別活動の研究 T21600』通信教育教材（教材コード 000443）2,950円（送料込）<この教材は市販の『最新特別活動の研究』関川悦雄著（啓明出版）と同一です> 文部科学省『学習指導要領解説 特別活動編』平成29年。未刊行のため講義中に URL を提示する。
- ◆**成績評価基準** 平常点（授業時の取り組み、課題など）30%、最終日提出レポート 70%

◆博物館実習Ⅰ

〔博物館実習Ⅰ〕

オープン受講：不可 担当者：折茂 克哉

- ◆**学修到達目標** 博物館の専門職員である学芸員として知っておかなければならない理論や知識の他に、業務を行う際に直面するであろう問題について考える。そのなかでも特に重要な資料に関する問題への理解、資料に接する際に必要な実技の体験、修得を目標とする。
- ◆**授業方法** 博物館や学芸員業務の実際についての講義。日常業務のなかで学芸員が資料に接する機会を想定し、資料の収集・調査、保管・運搬、そして展示という3つの状況下における作業を体験する。また、事後のレポートだけでなく、毎回の授業終了時にも小レポートを提出する。
- ◆**準備学修** 各自、所持している博物館学関係の書籍・資料を再読しておいてください。授業時には実際に作業を行うので、動きやすい服装を心がけ、身につけたアクセサリ類は外せるようにしておいてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス、博物館実習概説、資料の基本的な取り扱い方法。
2日目	学芸員の仕事、資料収集・調査に関わる作業、保管・運搬に関わる作業。
3日目	博物館業務の種類、展示に関わる作業、まとめ。

- ◆**教科書** **当日資料配布** 特になし。毎回プリントを配布。
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 毎回の小レポート（60%）と事後レポート（40%）による。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第5期	日 程		授 業 内 容	備 考
	8月11日	土	各日 9:00～17:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを 設けます。
	8月12日	日		
	8月13日	月		

※以下の第5期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COE1	歴 史 学	下川 雅弘	2	B11100	歴 史 学		1年		
COE2	法 学	高須 則行	2	B11500	法学（日本国憲 法2単位を含む）		1年		
COE3	英 語 F	桶田 由衣	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
COE4	英 語 G	山下 登子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
COE5	フランス語 I・II	大庭 克夫	1	E10100	フランス語 I		1年	・ I, IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				E10200	フランス語 II				
COE6	商 法 II	小菅 成一	2	K30600	商 法 II		2年		×
COE7	刑 事 訴 訟 法	澤田 康広	2	K31700	刑 事 訴 訟 法		2年		
COE8	国際政治学/ 国際政治論/ 国際政治学概論	大八木時広	2	L30200	国際政治学		2年	・ 法・文理学部のみ申込可。 ・ 経済学部のみ申込可。 ・ 商学部のみ申込可。	
				R32700	国際政治論				
				S33200	国際政治学概論				
COE9	国 文 学 概 論	武藤 純子	2	M20200	国 文 学 概 論	※		・ 国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
COEA	国 文 法	阿久澤 忠	2	M30300	国 文 法		2年		
COEB	国文学講義 IV (近世)	高野 奈未	2	M30800	国文学講義 (近世)		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COEC	英 文 法	山岡 洋	2	N20200	英 文 法		※	・英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
COED	英米文学特殊講義	新井 英夫	2	N31200	英米文学特殊講義		2年		
COEE	西 洋 古 典	大住有里子	2	N30850	西 洋 古 典	×	2年		
COEF	英語学演習 C	田中 竹史	1	N40150	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				N40250	英語学演習 II				
				N40350	英語学演習 III				
COEG	英米文学演習 D	堤 裕美子	1	N40450	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。	
				N40550	英米文学演習 II				
				N40650	英米文学演習 III				
COEH	日本思想史 I	島田健太郎	2	P30800	日本思想史 I		2年		
COEJ	倫理学特殊講義	嘉吉 純夫	2	P31250	倫理学特殊講義	×	2年		
COEK	日本史概論/ 日本史概説	中村 順昭	2	K32200	日本史概論		2年	・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ申込可。	
				Q30200	日本史概説				
COEL	西洋史演習 Ⅰ ・ Ⅱ	坂口 明	1	Q40550	西洋史演習 I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q40650	西洋史演習 II				
COEM	考古学演習 Ⅰ ・ Ⅱ	西野 吉論	1	Q40750	考古学演習 I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q40850	考古学演習 II				
COEN	経 済 史 総 論	飯島 正義	2	R20200	経 済 史 総 論		※	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
COEP	情 報 概 論 B	戸塚 英臣	2	R32300	情 報 概 論		2年		
COEQ	交 通 論	針谷 莊司	2	S30700	交 通 論		2年		
COER	教育原論/ 教育の思想	北野 秋男	2	T10200	教育原論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
				T10300	教育の思想				
COES	生徒指導・ 進路指導論	渡辺 典子	2	T30500	生徒指導・ 進路指導論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COET	国語科教育法Ⅲ	野澤 拓夫	2	T30100	国語科教育法Ⅲ	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COEU	博物館経営論	中野 照男	2	Y20400	博物館経営論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆戦争と平和から見直す日本の歴史

〔歴史学〕

担当者：下川 雅弘

◆**学修到達目標** 日本の中世において、内乱が繰り返されたのはなぜか。戦争の中世を、人々はどのように生き抜いたのか。日本の近世において、泰平の世はいかにして創出されたのか。近世の平和を、人々はどのように享受したのか。日本が、再び戦争の近代へと向かったのはどうしてか。中世から近代初頭に至る日本史を、戦争と平和をキーワードに読み直すことを通じて、歴史を学ぶことの現代的な意義や面白さを発見してもらいたい。

◆**授業方法** 事前に配布するプリントや、パワーポイントにより適宜紹介する写真・地図・図表などを用いて、講義形式により授業を展開する。テーマごとに講義内容に関する質問を行い、プリントの所定欄に記入してもらった回答を紹介することを通じて、受講者の基礎知識や理解度を確認しながら講義を進めていく。

◆**準備学修** 講義は必ずしも時代順に展開するわけではなく、また、特定の参考書も指定しないので、少なくとも中学で学習したレベルの日本史の基礎知識（時代の大まかな流れなど）については、年表などを用いて復習した上で授業に臨んでほしい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	【はじめに】戦争の中世と平和な近世（i 授業の全体テーマ・目標、ii 中世・近世の改元理由、iii なぜ中世に戦争が繰り返されたのか） 【中世の飢饉と戦争】I 二毛作は農業生産力の発展か（i 中世をめぐる二つの歴史像、ii 気候の寒冷化と飢饉、iii 二毛作と気候の寒冷化）、II 足軽とはどういう人々か（i 応仁の乱と土一揆の不思議な関係、ii 飢饉と土一揆、iii 応仁の乱と足軽）
2日目	【戦国の世を生きた民衆の実情】III 村や町を守るために戦う民衆（i 武装する村、ii 武装する町、iii 中世の領主と民衆）、 【平和をもたらした天下人たち】IV 刀狩りの意義と武器所有の実態（i 秀吉による民衆の武装解除、ii 秀吉による刀狩りの意義、iii 秀吉による刀狩りの実態、iv 江戸時代の民衆と刀、v 江戸時代の民衆と鉄砲、vi 近代以降の民衆と武器所有）、V 秀吉の惣無事から徳川の平和へ（i 秀吉の関白任官、ii 秀吉の天下統一と惣無事、iii 家康の国家戦略、iv パクス・トクガワーナ）
3日目	【平和を享受する近世の庶民と文化】VI 庶民も学ばなければならない時代（i 身分制社会における農工商の役割、ii 江戸時代における庶民の識字力、iii 村社会でも読み・書き・そろばん、iv 寺子屋で何を学んだのか、v 私塾の役割と文明国日本）、VII 平和な社会と庶民の衣食住（i 衣、ii 住、iii 食） 【おわりに】近代化の波と日本（i 再び戦争の道へ、ii 百姓を戦争に動員する論理、iii 歴史を学ぶ意義とは）

◆**教科書** 当日資料配布 当日プリント配布。

◆**参考書** 指定しない。（授業時に適宜紹介）

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。

平常点は書き込みプリントへの回答状況などにより評価する。毎回出席することを前提とする。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆法はどのような在り方をしているのか？

〔法学〕

担当者：高須 則行

- ◆学修到達目標
1. 様々な社会規範を理解し、説明することができる。
 2. 制定法の種類を説明することができる。
 3. 近代法と現代法の違いを説明することができる。
 4. 日本国憲法の基本原理を説明することができる。
 5. 民法の基本原理を説明することができる。
 6. 刑法の基本原理を説明することができる。

◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っております。そのような双方向の授業を心がけていきたいと思っております。

◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	1. 日本における西洋法の継受 2. 社会規範の種類（法・道徳・慣習・マナー・戒律） 3. 自然法と実定法，成文法と不文法
2日目	1. 公法と私法と社会法 2. 近代法と現代法
3日目	1. 日本国憲法の基本原理 2. 民法の基本原理 3. 刑法の基本原理

◆教科書 〔当日資料配布〕 特になし。レジユメを配布する。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 講義参加度（30%）・レポート（20%）・試験結果（50%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英文を読み、理解し、アウトプットする

〔英語 F〕

担当者：桶田 由衣

- ◆**学修到達目標** 様々な英文を読み、教科書に記載された語彙やフレーズを使ってアウトプットを行うことで、基礎的な英語の力（主に語彙や文法）を習得し、運用することができるようになる。
- ◆**授業方法** 本講義は主に Reading や Listening をメインとした教科書を使用します。ですが、クラスメイトに簡単な英語でインタビューをしたり、簡単なディスカッション（日本語可）を行ったり、簡単な Writing も行います。スクーリングの関係上、添削する時間等はないですが、自由に英語を書く良い機会になるかと思えます。
- ◆**準備学修** 授業内で全部を扱うわけではありません。授業内で問題を解くこともありますが、できるだけ各 Unit の本文に目を通してきてください。わからない単語はあらかじめ調べておいてください。
※下記の授業計画にも記しましたが、授業の進度等によって扱う Unit を大幅に変更する可能性があります。
- ◆**履修条件** 特にないですが、教科書のレベルが TOEIC400～500 点です。紙辞書あるいは電子辞書を持参してください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	・ 授業の概要説明 ・ Unit 1, 2, 3, 4 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。
2日目	・ Unit 5, 6, 7, 10, 11 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。
3日目	・ Unit 12, 14, 15 ・ 学習内容のまとめ ・ 試験 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。

- ◆**教科書** **丸沼** 『English Stream: Pre-intermediate』 金星堂 1,944 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 小テストないしはコメントシート（50%）、試験（50%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基礎的な英文法の見直しと向上

〔英語 G〕

担当者：山下 登子

◆**学修到達目標** 英語学習において基礎となる文法力と語彙力を見直すことで、英語四技能の総合的な習得向上につなげることを目標とする。

◆**授業方法** 初日にグループ分けを行い、グループ活動を中心にした演習形式である。文法事項を確認した上で、グループで練習問題の答え合わせ・板書・発表を行う。授業時に問題点を確認できるように、また円滑にグループ活動ができるように、必ず予習を行うこと。学習範囲はUnit 1, 2, 3, 4, 5, 7, 8。その他のUnitはグループ課題を課す予定。

◆**準備学修** 辞書などを参考にしながら分からない単語の意味や発音の下調べを行い、事前に学習範囲の理解を行ってください。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（授業について、グループ分け） ・Unit 1（文の成り立ち） ・Unit 2（時制）・Unit 3（文型1） ・グループ課題作成
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 4（文型2）・Unit 5（現在完了形） ・Unit 7（受動態）・Unit 8（不定詞） ・グループ課題作成
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ課題発表 ・まとめ及び質疑 ・試験

◆**教科書** **丸沼** 『English Quest-Basic【New Edition】』 清田洋一他著 桐原書店 2,052円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 中型以上の英和辞書（電子辞書可）。

◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況・グループワーク（50%）、試験（50%）。毎回出席することを前提として評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆夏期スク受講以前の、事前学習が全てです。

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：大庭 克夫

- ◆**学修到達目標** 英語にすれば中1レベルの内容が、フランス語で言えて・書いて・聴き取れるようにするのが目標です。また報告課題や科目習得試験の〈フランス語Ⅰ〉合格は無論のこと、〈フランス語Ⅱ〉以降の学習をする上でもその大切なベースとなるフランス語の持つルール＝規則性をしっかりと身に付けます。
- ◆**授業方法** 下記の「準備学習」でも触れましたが、全くの初学者がわずか3日間で仏語Ⅰの内容(＝昼間スクーリングの前期15回分)を習得することなど到底不可能です。そこで事前にまず「報告課題・仏語Ⅰ」に取り組んでください。仮に「不合格」になっても構いませんから、とにかく懸命に精一杯取り組んでください。
- ◆**準備学修** 上述のように、「報告課題・仏語Ⅰ」に真剣に取り組めば、その過程で様々な疑問が生じるはずですが、ぜひそれをスクーリングの場でぶつけてください。また、「報告課題」を提出し受講登録をした人には、事前に授業内容を分かりやすく解説した補助プリントを送付しますので、その内容を可能な限り覚えて初日授業に臨んでください。
- ◆**履修条件** 「報告課題・仏語Ⅰ」に真剣に取り組むこと、事前送付のプリントの内容を可能な限り身に付けてから出席すること。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	フランス語のアルファベ、発音のルール/綴り字と発音との関係(重要)、基本的な可算名詞と不可算名詞、名詞の性別、不定冠詞・部分冠詞・定冠詞の使い分け、数詞(1～10)、指示形容詞、基本的な形容詞、を学習します。 ※初日はほぼ事前の〈補助プリント〉の内容の確認と補足です。
2日目	3種類の提示の仕方、主語人称代名詞、動詞〈être〉(＝be動詞)と〈avoir〉(＝have)の活用と用例、疑問文と否定文の作り方、〈第1群規則動詞〉の活用と用例[前半]、副詞の語順、を学習します。 ※なお授業最後の40分位を使って、「中間試験」(単語の聴き取り/書き取り試験)を実施します。
3日目	〈第1群規則動詞〉の活用と用例[後半]、基本的な前置詞の整理、これまでの総復習と音声演習。 ※3日目は最後に試験を行うので、午前中新しく覚えてもらう事柄はそう多くはありません。午後は総復習と音声演習にあてて、最後に(問題数が多いので通常の100点満点ではなく)150点満点の試験を行います。

- ◆**教科書** **事前資料送付** スクーリングで使うプリント、そのプリントの内容を分かりやすく解説した補助プリント(事前に可能な限り自習してもらうためのもの)、およびCD。
- ◆**参考書** **丸沼** 『フランス語基本 500 語』 仏語教育振興協会編 朝日出版社 2,052円(税込)(送料300円)
仏和辞典を必ず1冊用意してください。新しく購入するのであれば白水社の『Le Dico 仏和辞典』がおすすめです。
- ◆**成績評価基準** 中間試験(2日目)と最終試験の2回の試験の結果で判定します。なお試験はすべて「和文仏訳」と「ヒヤリング形式」(原文を書きとったのち和訳)で出題します[安直な和訳・穴埋めなどは一切出題しません]。試験結果は事前学習(＝報告課題への取り組みと補助プリントの内容をどれだけ身に付けてきたか)で決まるとおと考えてください。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会社法とコーポレート・ガバナンス

〔商法Ⅱ〕

オープン受講：不可 担当者：小菅 成一

◆**学修到達目標** この授業では、わが国における企業の主要な形態である株式会社を中心に会社法について取り上げます。ただし、会社法は規制範囲が広いので、今期は株式会社の機関構造とコーポレート・ガバナンス（企業統治）を中心に、法制度の基本構造、趣旨・目的、具体的な規制等を勉強します（会社の資金調達や組織再編〔M&A〕、設立等については、来期に取り上げる予定です）。

◆**授業方法** 授業の方法は、講義形式（講義担当者の作成したプリントを使用して）で行います。最終日には筆記試験を実施します。会社法を勉強することで、受講生が会社組織をめぐる法律的な問題に関心が持てるようになっていきます。

◆**準備学修** 会社法をはじめ勉強する学生を念頭に話しを進めていきます。したがって、事前に準備学習等をされる必要はありません。ただし、授業開始後は、授業時に使用したプリントをもとに、授業終了後、復習されることをおすすめします。

◆授業計画（各日450分）

1日目	授業の概要、会社法と他の法律との関係、会社の種類、株式会社の概念等 ※初日ですので、まず授業の概要について説明した後、会社法の特徴や他の法律（民法や商法等）との関係、会社の種類（持分会社と株式会社の違い等）、株式会社の概念等について勉強します。株式会社に関し株主有限責任の原則や法人格否認の法理等も取り上げる予定です。
2日目	コーポレート・ガバナンス、会社の機関の機能等について ※会社の機関の説明に入るにあたり、まずコーポレート・ガバナンスに関する問題について勉強します。次に、株主の権利や株主総会の役割、取締役会や代表取締役、監査役、会計監査人、会計参与等の機能といった会社の機関について具体的に説明していきます。
3日目	会社の機関の機能（続き）、役員等の義務・責任について ※3日目（早ければ2日目の夕刻から）は、監査等委員会設置会社や指名委員会等設置会社の特徴・機能等を説明します。このほか、役員等の義務や責任（役員等の第三者に対する責任、株主の役員等に対する責任追及訴訟制度、取締役報酬の規制等）も取り上げます。この日に筆記試験を行います。

◆**教科書** **当日資料配布** 授業当日にプリント・資料を配布します。

丸沼 平成30年版の六法（判例が掲載されているものを除く）

◆**参考書** 特にありません。

◆**成績評価基準** スクーリングの性質上、受講態度（30%）、定期試験の結果（70%）で評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆捜査手続を理解する

〔刑事訴訟法〕

担当者：澤田 康広

◆**学修到達目標** 人権保障と実体的真実発見という刑事訴訟の目的やその担い手について理解するとともに、刑事訴訟手続のうち、捜査手続を中心に公訴提起に至るまでの流れを理解することを目的とする。

◆**授業方法** 刑事手続の流れにしたがって説明するが、特に捜査手続とそこでの問題点に重点を置いて説明する。その際、具体的事例を紹介するなどして受講生の理解を促すことに務める。また、質問の時間を設けるので、遠慮なく質問し、疑問を解消してほしい。

◆**準備学修** 教科書ならびに参考書を予習して臨んでほしい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス（刑事訴訟法を学習する際の注意点などの説明） 刑事訴訟法の意義（刑事訴訟法制度の意義、刑事訴訟法の目的と構造、刑法や憲法との関係） 刑事訴訟の担い手（訴訟主体・・・裁判所、検察官、弁護士、被疑者・被告人等）と裁判員制度（裁判員制度の概要） 捜査の意義と端緒（告訴、告発、請求、自首、職務質問等）
2日目	任意捜査と強制捜査（強制処分法定主義・令状主義） 逮捕・勾留とその具体的な問題点、搜索・差押・検証とその具体的問題点特殊な捜査の方法（科学的捜査—写真撮影、通信傍受、DNA型鑑定、各種鑑定等） 捜査における被疑者の地位（捜査の理論的構造） 被疑者の権利（黙秘権、弁護士との接見交通権）
3日目	違法・不当な捜査からの救済方法 捜査の終結（検察官の終局処分） 公訴提起の基本原則（検察官起訴独占主義・起訴便宜主義） 検察官の訴追裁量に対する抑制方法（訴追裁量の問題点、被害者等通知制度、検察審査会、付審判制度等） 公訴提起の手続（起訴状一本主義）

◆**教科書** **丸沼** 『刑事訴訟法（Next教科書シリーズ）』 関正晴編 弘文堂 2,592円（税込）（送料300円）

◆**参考書** **通材** 『刑事訴訟法 K31700』通信教育教材（教材コード000409）2,400円（送料込）

◆**成績評価基準** 最終授業時に行う筆記試験（80%）及び平常点（授業への参加度等）（20%）によって評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代史で国際政治を学びましょう〔国際政治学/国際政治論/国際政治学概論〕

担当者：大八木 時広

◆**学修到達目標** 国際政治の歴史，とりわけ20世紀中盤以降の歴史に関して，主な出来事・事件についての知識を身につけ，それぞれの出来事の内容について説明できるようになる。またそれぞれの出来事がどのように関連するか，そして過去の出来事が現代の国際政治にどのように結びつくのかを理解し，説明できるようになる。

◆**授業方法** 授業用のプリントを配布し，パワーポイントを併用しつつ，講義形式で授業を進めていく。なお講義内容が理解できているのかをチェックすることを兼ねて，対話形式の授業も行う予定。

◆**準備学修** 参考書をできるだけ熟読し，その際に，とくに20世紀中盤以降の国際政治史の大きな流れをつかんでおくこと。また自分なりの疑問点をピックアップしてまとめておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	新たな国際秩序，ヤルタ体制，ソ連の脅威，封じ込め政策，対日占領政策 第二次世界大戦終結後，新たな国際秩序がどのように形成されたのか，二つの超大国がどのようにして対立するようになったのかを取り上げる。また日本に対してどのような占領政策が立てられたのか，それによって日本はどのような影響を受けたのか，どのような過程で独立を回復したのかを取り上げる。
2日目	ベルリン危機，台湾海峡危機，キューバ危機，中ソ対立，非同盟主義 まず冷戦期における国際危機に関して，どのようにして生じ，どのような経緯を経て解決に至ったのかを取り上げる。また米ソ主導の二極世界から多極化された世界への変化について，中国の自力更生路線，第三世界諸国による非同盟主義運動，フランスの自主独立外交などの事例を中心にして取り上げる。
3日目	デタント（緊張緩和），CSCE，東方外交，新冷戦，ゴルバチョフ，ペレストロイカ 多極化の進行を背景とした冷戦の変化を取り上げる。まず欧州，米ソによるデタントの試み，とくにCSCEや旧西独の東方外交に焦点を当てる。またソ連における改革派指導者ゴルバチョフの登場，それを受けた米ソ関係の変化，核軍縮の試み，そして冷戦自体の変容と終焉を取り上げる。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

◆**参考書** **丸沼** 『20世紀の国際政治』 松岡完 同文館出版 3,780円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 小テスト（40%），授業内テスト（60%）の合計で評価します。
なお毎回出席することが，成績評価の前提となります。授業内テストは最終日に実施します。

注意

E-mailを送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** 近世文学・文化に描かれた悪所―遊里・芝居―に焦点を当てて学ぶことによって、浮世草子、浄瑠璃、歌舞伎、黄表紙など、各ジャンルの表現様式の特徴と文学的意義を説明できるようになる事を目標とする。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式であるが、受講者の発する声とともに進める。テキストの音読をはじめ、読み解きに関しても意見を求める。なお、理解を深めるために文楽・歌舞伎のDVDおよび浮世絵画像も利用する。
- ◆**準備学修** 「好色一代男」、「冥途の飛脚」、「金々先生栄花夢」について、①年代（西暦・和暦）、②作者、③文学的概要、④作品の内容粗筋を書籍・ネット等で調べ、授業初日に提出。作品ごとにA4判自筆横書き1枚、計3枚を提出。3枚それぞれの一行目に学年・学籍番号・氏名を、最終行に参考文献を記載すること。ホチキス留め不要。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	・近世文学の流れとジャンルについて ・悪所（遊里・芝居）と遊女・役者について・「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」「助六所縁江戸桜」などの概要・文学史的意義・特色・文体について。初日の授業によって、本講座の全体像を理解していく。
2日目	江戸時代前期上方での成立の浮世草子「好色一代男」、浄瑠璃「冥途の飛脚」、江戸時代中期江戸での成立の黄表紙「金々先生栄花夢」について、遊里・遊女に注目しながら、一部分を詳しく読み解く。この作業によって、時代、地域、ジャンルの違いによる文体・表現の特色を深く理解していく。
3日目	・古典芸能（文楽・歌舞伎）が表現する遊里・芝居 ・浮世絵（鳥居清長・喜多川歌麿・歌川豊国ら）が表現する遊里・芝居 ・まとめ ・試験

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリントを配布。
- ◆**参考書** 配布資料の中で指示。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組みと最終試験により総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆文法から見える日本語と古典の姿

〔国文法〕

担当者：阿久澤 忠

- ◆**学修到達目標** 日本の古典作品（古今和歌集や徒然草など）の言葉を対象として、そこに内在する文法的な法則を体系的に学び、その上で動詞を中心とした用言のしくみと働きを認識し、古典を読解する力を養います。さらには現代語との違いについても学びます。
- ◆**授業方法** 講義によって授業を進めてゆきますが、各項目ごとに設けてある課題（問題）を解いてゆきます。質問もその都度受け、こちらからも問いかけを多く行いたいと思います。
- ◆**準備学修** 1日目の授業が終了したら、この日に学んだことを確認して下さい。その時に新たな疑問が生じましたら2日目の授業などで質問してください。2日目の授業についても同様です。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・「文法」は言葉のどういう面を考察しようとするのか ・「文法」に対する様々な考え方（学説）について ・文法論の単位 - 文章・文・文節・単語 - ・文節の相互関係（前半） ・課題
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・文節の相互関係（後半） ・単語の分類（品詞分類）に至るまでの過程 ・動詞の活用の種類と活用形 ・課題
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の問題点 ・動詞の研究の歴史 - 近世の国学者による説など ・形容詞、形容動詞の活用の種類と活用形 ・課題 ・試験

- ◆**教科書** 当日資料配布 当日プリント（資料）を配布。
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** 試験（90%）、授業への取り組み（10%）
毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆さまざまなジャンルの近世文学作品を読む

〔国文学講義Ⅳ（近世）〕

担当者：高野 奈未

◆**学修到達目標** 近世文学におけるさまざまなジャンルの成立と内容を学び、実際に各ジャンルの作品を読んでいくことで、近世文学作品を読解する方法を習得する。

近世における古典文学の読解・受容の実態を知り、前近代における文学のあり方について理解を深める。

調査・検討した内容をレポートにまとめ、論理的文章表現ができるようになる。

◆**授業方法** 基本的に講義形式を取り、適宜、質疑応答を行います。受講人数によっては、質疑応答をグループ討議にできる可能性があります。当日配布するプリントに沿って、文学史的事項の解説、作品の精読・解説を行います。各作品の解説の最後に、設けてある課題に取り組みます。諸ジャンルの、特に『伊勢物語』を典拠とした作品を取り上げ、時代の古典理解・社会通念・恋愛観などを踏まえ、各作品を多角的に読解し、分析します。

◆**準備学修** 授業範囲の文学史に関する基礎知識（代表的作品、作者、歴史的背景等）について、事前に参考書をよく読み、理解しておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス、近世の出版文化、近世における文学観・恋愛小説観、『伊勢物語』読解史 ※出版文化の発達により近世文学のあり方が大きく変わったこと、近世において文学の持つ虚構・好色といった性質が問題とされていたこと、近世文学でもっとも多く典拠とされる古典のひとつである『伊勢物語』が時代によって異なる読解をされていることを学びます。
2日目	『仁勢物語』、『好色一代男』、『雨月物語』、俳諧、川柳、浄瑠璃 ※『伊勢物語』「芥川」の段を典拠にした、仮名草子・浮世草子・読本・俳諧・川柳・浄瑠璃の諸作品を精読します。
3日目	『野郎伊勢物語』、『癩癖談』、『競腰業平形』、『復讐奇談信夫摺在原草紙』、『十人三文』、『小倉山時雨珍説』、まとめ ※『伊勢物語』「筒井筒」の段を典拠にした、仮名草子、談義本、黄表紙、読本と、業平が登場する黄表紙2編の諸作品を精読します。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

◆**参考書** **丸沼** 『原色新日本文学史』秋山虔・三好行雄 文英堂

◆**成績評価基準** レポート（60%）授業内課題（20%）平常点（20%）。毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の基本構造を理解する(単文レベル)

【英文法】

担当者：山岡 洋

◆**学修到達目標** 単文レベルの構造を十分に理解できるようになることを目標とする。特に、文型を十分に理解することにより、文の中心要素である述語動詞と、その述語動詞との結合度が強い要素によって形成される「述部 (Predicate)」を発見することによって、文の構造を見極められるようになる。

◆**授業方法** 初日に、品詞、文の要素 (S, V, O, C, A)、語の結合度の説明をし、2日は実際の英文を用いて、様々な英文を主部 (S)、述部 (P)、付加部 (A)、に分ける実際的な練習をし、3日目の午前中は最終試験のための模擬試験を行う。

◆**準備学修** 品詞と文型について、中学レベルの文法書で構わないので、復習をしておいてほしい。

◆授業計画 (各日450分)

1日目	名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・接続詞を中心とした品詞の説明 5文型から7文型へ文型の説明 主部 (Subject)・述部 (Predicate)・副詞相当語句 (Modifier)・付加部 (Adjunct) の説明 主要部 (Head)・補部 (Complement) の関係と修飾 (Modification) の説明
2日目	1日目の説明を定着させるために実際の英文を用いて英文を分析する練習。 用いる英文は1日目に配布する。
3日目	午前：午後の試験に向けて模擬試験 午後：自習時間と最終試験

◆**教科書** **丸沼** 『新英文法概説』 山岡洋 開拓社 3,780円 (税込) (送料450円)

当日資料配布 当日配布資料あり。

◆**参考書** 『総合英語 Forest (フォレスト)』第7版 石黒昭博 桐原書店
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。)

丸沼 『ジーニアス総合英語』 中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館 1,620円 (税込) (送料350円)

丸沼 『ロイヤル英文法』改訂新版 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン 旺文社 1,944円 (税込) (送料450円)

◆**成績評価基準** 授業参加度 (20%)、最終試験 (80%)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代英国小説演習：カズオ・イシグロの『遠い山なみの光』を読む

〔英米文学特殊講義〕

担当者：新井 英夫

◆**学修到達目標** ノーベル文学賞受賞作家である日系英国人作家カズオ・イシグロの『遠い山なみの光』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。

- ①現代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度ものであるかを知ることができるようになる。
- ②作品の構造、人物関係を明確に説明できるようになる。
- ③臨床社会学における「自己物語論」を作品解釈に応用できるようになる。
- ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。

◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳及び感想の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。

◆**準備学修** 参考書に挙げてある翻訳、カズオ・イシグロの『遠い山なみの光』を読み、小説のあらすじを理解しておいて下さい。事前学習段階では必ずしも原書で読む必要はなく、翻訳を活用しても構いません。

◆授業計画（各日450分）

1日目	第1章から第4章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがあります。
2日目	第5章から第8章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがあります。
3日目	第9章から第11章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 最終試験 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがあります。

◆**教科書** 当日資料配布

◆**参考書** 丸沼 『遠い山なみの光』カズオ・イシグロ 早川書房 756円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき10点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から15分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が0点を下回る場合には、0点として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆シェイクスピア原作に触れる：悲劇版

〔西洋古典〕

担当者：大住 有里子

- ◆**学修到達目標** ついにシェイクスピアを古典の中に入れ、この授業で扱います。シェイクスピアの悲劇作品の抜粋です。シェイクスピアの英語は Modern English。慣れれば推移しながら読めます。台詞を読み、想像し、名場面を味わい、あの台詞はこういう場面のものだったのか！と合点がゆくことを目的とします。
- ◆**授業方法** テキストを良く読んで授業において下さい。各作品の梗概を読み、翻訳を参考に原文理解を試みて下さい。授業では台詞を(感情をこめて)読んで頂き、その内容や質問を挙げて頂きます。質問を解決しながら内容理解を試みます。各作品の映像も紹介します。(授業計画より進度が遅くなることもあり得ます。)
- ◆**準備学修** 『ジュリアス・シーザー』、『ロミオとジュリエット』、『オセロー』、『マクベス』の翻訳(小田島雄志訳;白水社、松岡和子訳;ちくま文庫など)を読む、映画を観るなどで話の全容を把握して下さい。(映画は原作と異なる部分もあります。)

◆授業計画(各日450分)

1日目	Julius Caesar Act III, Scene ii Romeo and Juliet Act II, Scene ii
2日目	Romeo and Juliet Act II, Scene ii 続き Othello Act V, Scene ii
3日目	Macbeth Act II, Scene i, ii & Act V, Scene i 試験

- ◆**教科書** **丸沼** 英文『シェイクスピア名場面集』(1)－悲劇1 金城盛紀・石田久 編注 英宝
1,512円(税込)(送料215円)
- ◆**参考書** 授業で随時紹介します。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表等)とテストにより総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったこととは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということとも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせずとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。

本講座では、全ての生物種の中でヒトのみが持つ特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

◆**授業方法** はじめにヒトのことばに関する基礎的知識（母語話者の持つ言語知識、言語獲得の過程、言語障害、類人猿などヒト以外の生物のコミュニケーション体系など）を講義形式により確認します。その後、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答、教員による補足説明、という演習形式で授業を進めます。

◆**準備学修** 単位を修めるためには十分な準備（英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握）が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	全体の導入と基礎知識の確認
2日目	Chapter 4 Why Language Does Not Have to be Taught Chapter 5 Dispelling a Common-Sense Account
3日目	Chapter 6 Universal Grammar and the Logical Problem of Language Acquisition

◆**教科書** **事前資料送付** An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition. Crain & Lillo-Martin (1999) Blackwell (資料を事前配布します)

◆**参考書** **丸沼** 『探検！ことばの世界』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）

丸沼 『ことばに魅せられて 対話編』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）

丸沼 『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島 平三著 ひつじ書房 1,512円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表・質疑応答等）とスクーリング終了後提出のレポートにより総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆演じて楽しむ！英文学の奥深さ

〔英米文学演習 D〕

担当者：堤 裕美子

- ◆**学修到達目標** Shakespeare 劇の有名な作品の有名な場面を読み、その映画や舞台を鑑賞した上で、受講者でいくつかの研究グループを作り、Shakespeare 劇の上演に関するルールに則りながら、衣装や舞台設定など、受講者の自由な発想で劇を上演することで、Shakespeare 作品の理解を深めることができます。
- ◆**授業方法** 初日午前は講義形式の授業を行い、初日の午後最後の授業から最終日午前中まで演習形式の授業、最終日午後は単位認定試験として筆記試験を行います。グループに分かれての共同研究になるので、授業での積極的な参加を求めます。共同研究ですので、受講期間中の欠席や遅刻は厳禁とします。
- ◆**準備学修** 円滑な授業展開のため、事前資料を郵送し、開講前に配役希望アンケートを実施して、研究チームと配役を決定します。事前資料に目を通さず配役アンケートに参加しなかった場合、3日間の受講は不可能となってしまいます。受講申し込みから7月中の、通信教育部からの郵送物の確認には十分にご注意下さい。『夏の夜の夢』と『ヴェニスの商人』両作品のあらすじを把握しておいて下さい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	午前	概要説明、当時の演劇事情、Shakespeare 作品基礎知識、台本購読
	午後	3時限目（講読）：研究グループ組み合わせ発表／4時限目（講義）：台本講読 5時限目（演習）：発表練習
2日目	午前	1時限目（演習）：発表練習
	午後	2時限目（演習）：演出の工夫について各研究グループによる口頭発表 3時限目（演習）：発表演習／4時限目（演習）：予行演習と調整／ 5時限目（演習）：予行演習と調整
3日目	午前	1時限目（演習）：発表会準備／2時限目（演習）：発表会
	午後	（演習）：発表鑑賞会／（演習）：After the Stage Talk

- ◆**教科書** 当日資料配布 『夏の夜の夢』と『ヴェニスの商人』の台本となるプリントを配布します。
当日資料配布 参考資料としてプリントを教室にて配布します。
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 平常点 30%、配役の表演に対する評価 40%、レポート 30%の総合評価。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 「幽玄」と「わび」を中心に、日本中世の美意識について考えていきます。中世には、「幽玄」・「わび」・「さび」などの独自の美的価値を持つ語が現れ、それは現代の私たちの美意識にも影響を及ぼしています。これらの美的価値の検討を通して、中世の人々のものの考え方を理解するとともに、日本文化をより深く考えるための視野を広げることがを目標とします。

◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を参考にしながら、講義形式で行います。中世の芸道論ということもあり、聞き慣れない言葉や難解な専門用語などがたくさんありますが、それらには適宜説明を加えます。またプリントには読みがな・現代語訳をつけるので、古文の読解に自信がなくても構いません。

◆**準備学修** 中世史の大まかな流れを確認しておくといよいでしょう。特に文化史に関しては、どの時代にどのような人物がいて、どの作品がどの時代のものか、などある程度理解していた方がよいと思います。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	・概説 ・幽玄（1） 幽玄の語義－余情と優艶－俊成・定家の幽玄－幽玄の変容
2日目	・幽玄（2） 世阿弥の幽玄－「冷えさび」の美意識 ・東山文化の美意識（建築・庭園・絵画など） ・わび（1） わびの語義－わびの変容－茶の湯－村田珠光
3日目	・わび（2） 武野紹鷗－千利休 その他適宜庭園論・花道論なども検討する

◆**教科書** **当日資料配布** 教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆**参考書** **通材** 『日本思想史Ⅰ P30800』 通信教育教材（教材コード000137）3,150円（送料込）第二章第二節（P.98～P.118）

〈この教材は市販の『日本思想論争史』今井淳・小澤富夫（ぺりかん社）と同一です。〉

丸沼 『室町幕府と地方の社会 シリーズ日本中世史③』榎原雅治著 岩波新書 907円（税込）（送料215円）その他、授業中に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆愛について考える

〔倫理学特殊講義〕

担当者：嘉吉 純夫

◆**学修到達目標** 「愛」の働きがなければ、「倫理」は単なる交通法規のごときものになってしまうのですから、愛について考察することは倫理について考察することと深い関連性があります。そのことを理解し、各自が自分なりの愛に対する見方を確立することが目標です。

◆**授業方法** 講義形式で行うが、単なる知識の習得に終わることのないよう、問題提起を念頭に、現代における愛の倫理的意義とその危機的状況について考えます。

◆**準備学修** 教科書を指定しないので、各自、下記の授業計画に記された事項について、書店や図書館を利用して、関連書・概説書を入手して下調べをしておくこと。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	序（愛の不可欠性について）、自己愛以外の愛はありうるか、古代ギリシアの哲学者たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレス）の恋愛観。 ※恋愛を中心として、現代日本における愛の危機的状況について考えます。いわゆる LGBT についても考慮に入れながら。
2日目	宗教的な愛について（キリスト教のアガペー）、聖アウグスティヌスの愛の遍歴、孤独と愛（キルケゴール・フロム）。 ※愛のきびしさについて考えます。親子間の愛のあり方が今問題となっていますので、そのことについても触れます。
3日目	現代文明について考えながら、「人生と愛」について考究していきます。 ※特に、現在の若い世代の人たちの考え方について考察しますので、各自自分の体験について省察しておいてください。試験を行います。

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** **通材** 『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード000403）3,650円（送料込）※学修指導書付き。
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆編著（北樹出版）と同一です。〉

◆**成績評価基準** 試験（90%）平常点（10%）。毎回出席することを前提として評価します。
授業への取り組み（主体性）を加味し、テストによって総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** 日本史を自分で主体的に調べ、考える力を養う。これまでの日本史研究の到達点を学び、種々の研究上の論争を振り返ることによって、さまざまな研究の視角、研究方法を習得する。
- ◆**授業方法** 日本史の古代から近現代までの研究上の論争を紹介しながら、日本の政治、社会などに関するいくつかの重要なポイントについて、講義する。随時、質問を受け付けながら、できるだけ対話形式で進めていく。
- ◆**準備学修** 下記の参考書を事前に読んでおくこと。また、授業のキーワードである「在地首長制」「武士職能論」「日本資本主義論争」について調べて予備知識を持っておくこと。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	東アジアのなかの日本。日本のなかの諸地域。 古代国家の成立 律令制と在地首長制論、畿内貴族政権論 古代の歴史書と文書・木簡
2日目	武士の誕生と武士職能論 鎌倉幕府と京都の朝廷 守護大名と戦国大名 中世の文書と日記史料
3日目	兵農分離と近世の村・町 日本の産業革命 戦後改革と高度経済成長 試験

- ◆**教科書** 使用しない。
- ◆**参考書** **丸沼** 『20世紀日本の歴史学』永原慶二著 吉川弘文館 3,456円（税込）（送料350円）
丸沼 『近現代日本史と歴史学』成田龍一著 中公新書 928円（税込）（送料300円）
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ローマ人の住まいと都市生活

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：坂口 明

◆**学修到達目標** ローマ人はどのような暮らしをしていたのかを、家屋と都市生活の面から探っていく。歴史的事実を知るだけでなく、史料を読み、それに基づいて歴史を考える能力を養う。また、西洋史を学ぶ際には必須の外国語（この場合は英語）文献を読む力を身に付けることも、目標の一つである。

◆**授業方法** ローマ史の史料はラテン語やギリシア語で書かれているが、ここではJ.N.Shelton, *As the Romans Did. A Sourcebook in Roman Social History*におさめられた英訳を用いる。輪読方式で行うので、前もって読んでおくことが必要である。必要に応じて、適宜解説を加える。また、プリントやDVDを使用して、具体的な理解を得られるようにする。質問に関連して、ディスカッションもおこないたい。

◆**準備学修** 上に述べたように、授業では英語のテキストを輪読方式で読んでいくので、事前に予習しておくことは、参加の基本的な条件である。さらに、概説的なものでよいので、ローマ人の生活に関する本（たとえば、下の参考書に挙げたもの）を読んでおけば、より理解が深まるであろう。

◆授業計画（各日450分）

1日目	都市の一戸建て住居、アパート、賃貸、保険、都市生活の便宜（1）（テキスト59－67ページ） これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。
2日目	都市生活の便宜（2）、都市生活の問題、田舎の家屋（1）（テキスト57－76ページ） これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。
3日目	田舎の家屋（2）（テキスト76－80ページ）、総括 これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。

◆**教科書** **事前資料送付** 講読のテキストは、前もってプリントして送付する。

◆**参考書** 『古代ポンペイの日常生活』本村凌二 講談社学術文庫
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

丸沼 『古代ローマ人の24時間』アルベルト・アンジェラ 河出書房新社 文庫 1,026円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 平常点。テキストの理解度、授業への取り組み（質問、ディスカッション）の積極性から総合的に評価する。

◆発掘調査報告書を読もう

〔考古学演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：西野 吉論

◆**学修到達目標** 発掘調査報告書を実際に用いて発表・報告することで、資料操作、集成方法といった研究の基礎と応用を学んでいきます。考古学の一次資料を探し出し、使いこなすことができるようになるのが目標です。

◆**授業方法** 学生による発表を中心とした授業です。

◆**準備学修** 自分の興味ある時代・地域の発掘調査報告書の一つを選び、目次・抄録を見て、遺跡名、調査期間、調査面積、掲載されているすべての時代・時期と各遺構・主な出土遺物について書きあげておきましょう。また、関連する専門書・論文を入手しておくようにしましょう。対象とする時代の遺構・遺物の典型例を知っておいてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	発掘調査報告書の内容について 資料の探し方と遺構・遺物の図面の見方について 発表方法について－報告書から、主な時代を抜き出す－
2日目	学生による発表と検討
3日目	学生による発表と検討

◆**教科書** なし。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 発表内容および発表資料。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

- ◆**学修到達目標** 19世紀末から20世紀前半に資本主義経済は大きく変容していくが、その背景にはどのような状況があり、またどのように変容したのかについて説明できるようになることを目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に授業をすすめていきます。最終日には筆記試験を実施します。
- ◆**準備学修** 通信教材や参考書で授業に関係するところを事前に読んでおいて下さい。さらに、高校の世界史の参考書、地図等も必要に応じて利用して下さい。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	第2次産業革命と欧米の台頭 ・第2次産業革命—新産業の登場 ・大企業体制の成立—アメリカ・ドイツ・イギリス
2日目	帝国主義と植民地（1） ・資本主義の変容 ・帝国主義とは何か
3日目	帝国主義と植民地（2） ・欧米列強によるアジア・アフリカの植民地支配 ・総まとめと筆記試験

- ◆**教科書** **当日資料配布** 授業時にプリント資料を配布します。
- ◆**参考書** **丸沼** 『エレメンタル欧米経済史』 馬場哲他著 晃洋書房 2012年 3,024円（税込）（送料300円）
- ◆**成績評価基準** 平常点（取組み、確認プリント等）：40%、筆記試験60% * 毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
* 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆データ分析とシミュレーション

〔情報概論 B〕

担当者：戸塚 英臣

- ◆**学修到達目標** 統計学やコンピュータ・シミュレーションをテーマに表計算ソフトの使い方の基礎から応用までを体系的に学びます。さらに、表計算ソフトを用いたデータ分析の方法について習得します。
- ◆**授業方法** 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、基本的知識については必要に応じて講義形式で学習します。
- ◆**準備学修** コンピュータの初歩から始めるので、普段コンピュータを使っていなくて興味があればぜひ受講してください。
- ◆**履修条件** 特にありません。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	表計算ソフト Excel の基本的な使い方の習得を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力，編集，削除 ・セルの操作（範囲の選択の方法） ・オートフィル ・数式の入力（四則演算など） ・セルの参照 ・セルの書式設定 ・セルの移動とコピー ・表の作り方 ・グラフの作り方（棒グラフ，折れ線グラフ，円グラフなど） ・簡単な Excel 関数の使い方
2日目	統計学は，自然科学，人文科学，社会科学，生命科学のあらゆる学問領域において，データに基づく実証研究を科学的に行うための学問体系です。そこで，統計学をテーマに Excel を用いた基礎的なデータ分析の手法を習得します。 <ul style="list-style-type: none"> ・散布図と相関係数 ・度数分布とヒストグラム ・平均，標準偏差，分散 ・母集団と標本 ・大数の法則と中心極限定理
3日目	コンピュータ・シミュレーションとは数理モデルを用いてコンピュータによる計算で実現象を模試することであり，自然科学だけでなく社会科学や人文科学にも広く応用されています。そこで Excel を用いて基礎的なコンピュータ・シミュレーションを行うことで，コンピュータ・シミュレーションの概念を理解するとともに Excel の高度な使い方の理解を目指します。 コンピュータ・シミュレーションのテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・モンテカルロ法 ・在庫管理 ・待ち行列 ・ローン計算 最後の 90 分で講義全般の試験とその解説を行います。

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** インターネットにある情報がコンピュータに関しては最新の場合が多いです。従って，そちらを参考にしてください。ただし，インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。ご自身で真偽を判断し活用するようにして下さい。
- ◆**成績評価基準** 実習課題（40%），提出課題（40%），授業内試験（20%）により総合的に評価します。なお，授業に毎回出席することを前提に評価します。

注意

E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

◆交通の役割と経済構造の変化について考えよう

〔交通論〕

担当者：針谷 荘司

- ◆**学修到達目標** 交通の役割を考え、経済構造の変化に対応した考え方ができる能力をつけることを目標とする。日常生活の中での諸現象を交通の立場から考察できる知識を養成する。
- ◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。日常の起こっている現象を常に経済的思考をもとに分析し、授業では積極的に遺憾を発表する講義をめざす。
- ◆**準備学修** 交通に関する出来事に注目し、開講時までに受講者の考えをまとめておいてください。新聞・雑誌・ネットなどの資料は講義時、持参してください。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	交通論の勉強の進め方 参考資料・図書を紹介経済現象と交通の関わり
2日目	立地論の考え方と交通のもつ位置づけ地域における交通との関わり産業構造の変化と交通
3日目	現商業の変化と交通 交通と観光 経済構造の変化と交通

- ◆**教科書 通材** 『交通論 S30700』通信教育教材（教材コード000184）2,250円（送料込）
- ◆**参考書** 講義時、指示致します。
- ◆**成績評価基準** 毎回、授業時課題を課します。意見発表、体験発表、試験を総合的に評価します。

◆教育思想のルーツを理解しよう

〔教育原論／教育の思想〕

担当者：北野 秋男

- ◆**学修到達目標** 現代の教育問題を考える上で、教育思想の歴史的展開を学ぶことは重要である。教育の様々な問題を思想的に学びながら「教育とは何か」を自覚的に問いたいと考える。特に、教育の目的論（人間の内面形成）と教授学思想（一斉教授と個別教授）の展開を中心としながら、国民教育論、新教育理論、脱学校論なども取り上げる予定である。
- ◆**授業方法** テキストの主要課題について理解を深めながら、教育思想を理解したい。討論も行う。その他には、「ビデオ」も鑑賞し、学力問題、フリースクールなどの現代的な問題にも理解を深めることとする。授業内で簡単なレポートの作成も行う。最後には、学習内容に関する最終試験を行う。
- ◆**準備学修** テキストを丁寧に読むこと。その際に、各章のポイントが何であるかを理解しておくこと。前半の教育目的論の歴史的展開に関しては、人間の内面形成に留意すること。後半の、教授理論の歴史的展開に関しては、一斉教授と個別教授に留意する事。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	ガイダンス、全体の授業構成、 教育目的論の原理と歴史的展開（ロック、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバルト） *ビデオ&討論「フリースクールについて」（予定）
2日目	教育目的論の歴史的展開（デューイ、ニール） 教授理論の原理と歴史的展開（コメニウス、ペスタロッチ） *資料&討論「教育の市場化・民営化について」（予定）
3日目	教授理論の歴史的展開（ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ） 現代思想の展開（アリエス、イリイチ） 最終試験

- ◆**教科書 丸沼** 『教育思想のルーツを求めて』関川悦雄・北野秋男 啓明出版 1,882円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 平常点（20%）、授業内の課題（30%）、最終試験（50%）で総合的に判断します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
*授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ジェンダー視点を持った指導のありかたを学ぼう〔生徒指導・進路指導論〕

担当者：渡辺 典子

- ◆**学修到達目標** 生徒指導・進路指導論に関する基本的な事項について学び、指導上の課題を考えるための視点を獲得する。
- ・生徒指導・進路指導論に関する基礎的な知識を身につける。
 - ・子どもの姿を、置かれている環境との関わりで理解する。
 - ・指導上の課題をどのように解決していけばよいか、その対策のありかたを理解する。

- ◆**授業方法** 講義形式を基本とするが、自分たちが受けた生徒指導・進路指導をもとにしたグループワークなども取り入れられる。

- ◆**準備学修** 自分が受けた生徒指導・進路指導について具体的に思い出しておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	生徒指導と生活指導、生活指導とは何か、進路指導とは何か、生活指導と進路指導の法律と政策 ※生徒指導、進路指導に関して、意義や原理、歴史の変遷などの基礎について学ぶ。
2日目	ジェンダーと学校、多文化教育と学校、子どもの権利条約、児童虐待防止法 ※指導の前提となる子どもをどのように理解するか、また子どもの置かれている環境がどのようなものかについて学ぶ。
3日目	不登校、いじめ、学級崩壊 ※問題行動の理解と、専門家や校内外との連携を含めた対応のあり方について学ぶ。

- ◆**教科書** **丸沼** 『新しい生活指導と進路指導』高橋陽一・伊東毅編、武蔵野美術出版局 2,052円（税込）（送料317円）
当日資料配布

- ◆**参考書** 授業中に適宜紹介する。

- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業中の小レポート、最終試験により総合的に評価。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆思考力, 判断力, 表現力を伸ばすための授業研究

〔国語科教育法Ⅲ〕

担当者：野澤 拓夫

◆**学修到達目標** 『国語科教育法Ⅲ』により、あらたな時代が要請する国語学力（思考力、判断力、表現力）の養成・伸長を目指した教育とはどのようなものなのかについて考え、理解する。また、具体的な教材に即し、学習者を主体にした授業の実現に向け、意識的・計画的に学習指導案を作成する。その上で、さまざまな実践を通して、その展開例から議論・検討を加え、変化し続ける時代に対応できる授業力を身に付ける準備ができるようになる。

◆**授業方法** 初日の理論を基に2日目からグループごとに話し合い意欲的な模擬授業を実施する。その具体的な展開例から全体で議論を重ね、新たな取り組みの適否について考察する。具体的には、高校1年生『国語総合』の現代文・古文・漢文の各分野で、どのようにしたら学習者を主体として、その思考力、判断力、表現力を伸ばすことができるかを模索する。その過程を演習形式の模擬授業で確認、評価して、成果物をクラス全体で共有していく。

◆**準備学修** 事前課題として『新編 国語総合』279頁～「平泉」を2時間で配当する前提で、本時を第1限とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出すること。また、『新編 国語総合』から本シラバスに提示する現代文・古文・漢文の3分野7教材について、模擬授業を想定した時案を立ててみるなど、どの分野、教材にも対応できるよう、展開例を考えておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	(1) ガイダンス・グループ編成・模擬授業の分担決め (2) 模擬授業展開上の留意点・指導案の作成・質疑・模擬授業展開例 (DVD) の紹介 (3) 現代文授業の展開例と古文・漢文授業の展開例 (4) 国語科教育法Ⅲの講義 (5) 時代が要請する能力と2020年度以降の大学入試改革についての解説
2日目	(1) 現代文 評論「彼らがそれを学ばなければならない理由」(65頁～) (2) 古文 物語「さらぬ別れ」(290頁～) (3) 漢文 唐詩「登鶴鸞・春望」(320頁～) (4) 現代文 随筆「『赤毛のアン』との出会い」(16頁～) の検討 (5) 事前課題「平泉」(279頁～) の返却と検討
3日目	(1) 古文 随筆「仁和寺にある法師」(246頁～) (2) 漢文 史伝「管鮑の交わり」(3) 現代文 小説「デューク」(29頁～) の検討 (4) アクティブ・ラーニングによる授業例 (DVD) の紹介・教材開発の実践 (5) 試験

◆**教科書** **教材** 『国語科教育法Ⅲ T30100』 通信教育教材 (教材コード000545) 3,550円 (送料込)

※学修指導書付き。

〈この教材は市販の『中学校 高等学校 国語科指導法』益地憲一編著 (建帛社) と同一です。〉

丸沼 『新編 国語総合』 高校1年教科書 教育出版 17 教出 国総 343 910円 (税込) (送料300円)

◆**参考書** **丸沼** 『国語科 重要用語事典』高木まさき他 明治図書 3,196円 (送料300円)

国語・古語・漢和の各辞書

◆**成績評価基準** 受講状況 (30%)、事前課題を含む提出物 (30%)、試験 (40%)

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学芸員として博物館の運営に関わる手法を学ぶ

〔博物館経営論〕

担当者：中野 照男

◆**学修到達目標** 履修する学生が、博物館と学芸員を取り巻く過去と現在の状況をつぶさに理解することによって、学芸員になった際に役に立つミュージアム・マネジメントの手法を獲得し、博物館運営の対する明確な展望を持つことができる。

◆**授業方法** 講義形式で進める。画像等を活用し、博物館の現場をできる限り具体的に、かつ詳細に説明することによって、博物館運営の現況を身近に感じられるように工夫する。受講生に発言や議論を求めることがある。

◆**準備学修** 講義資料をデータの形で渡すので、それをもとに予習、復習を行うこと。興味ある展覧会等を積極的に見学し、その展示手法や広報普及活動に常に注目すること。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	博物館経営論で何を学ぶのか、現在の博物館制度が抱える問題点、欧米の博物館の歴史、日本の博物館の歴史、国立西洋美術館の設立と運営に関わった学芸員の証言
2日目	国立歴史民俗博物館が開館までに準備したこと、独立行政法人等に見る博物館の新しい運営形態、博物館における機構改革、博物館の財政制度と予算システム、博物館の施設設備
3日目	博物館のマーケティング、博物館における危機管理、博物館における倫理規定、博物館の教育活動と普及広報活動、運営計画の策定と点検評価、試験

◆**教科書** **当日資料配布** 教科書は使用しない。

講義資料を初回の講義の折にデータの形で渡すので、USBを持参すること。

◆**参考書** **丸沼** 『新博物館学 これからの博物館経営』小林克 同成社 2009年10月 3,024(税込)(送料300円)

丸沼 『美術館の舞台裏 一魅せる展覧会を作るには』高橋明也、筑摩書房 2015年12月 842円(税込)(送料215円)

◆**成績評価基準** 講義の最終時に試験を行う。試験を70%、講義への参加・貢献度を30%として、総合的に評価する。試験は、回答が明快な論理を持っているかどうか、参加・貢献度は、積極的に質疑応答したかどうかを主に評価する。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第6期

日 程		授 業 内 容	備 考
8月15日	水	各日 9:00～17:30 〈最終日は試験も含む〉	※時間内に昼休みを設けます。
8月16日	木		
8月17日	金		

※以下の第6期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科目名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COF1	政 治 学	関根二三夫	2	B11700	政 治 学		1年		
COF2	英 語 H	佐藤 恵一	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
COF3	英 語 J	八木茂那子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
COF4	ドイツ語 I・II	志田 慎	1	D10100	ド イ ツ 語 I		1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				D10200	ド イ ツ 語 II				
COF5	中国語 I・II	泉 朝子	1	F10100	中 国 語 I		1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				F10200	中 国 語 II				
COF6	民 法 III	長谷川貞之	2	K30200	民 法 III		2年		×
COF7	商 法 III	金澤 大祐	2	K30700	商 法 III		2年		
COF8	法 哲 学	高須 則行	2	K318S0	法 哲 学	×	2年		
COF9	行 政 学	山田 光矢	2	L30100	行 政 学		2年		
COFA	国文学講義 I (上代)	梶川 信行	2	M30500	国文学講義 I (上代)		2年		
COFB	文章表現法	木村 一	2	M31900	文章表現法		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
COFC	国文学演習 B	藤平 泉	1	M404S0	国文学演習 I	×	3年	・国文学専攻のみ申込可。 ・I～Ⅵのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してくだ さい。	
				M405S0	国文学演習 II				
				M406S0	国文学演習 III				
				M407S0	国文学演習 IV				
				M408S0	国文学演習 V				
				M409S0	国文学演習 VI				
COFD	イギリス文学史 I	鈴木ふさ子	2	N20100	イギリス文学史 I		※	・英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
COFE	アメリカ文学史	北原 安治	2	N30200	アメリカ文学史		2年		
COFF	英語学特殊講義	佐藤 健児	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年		
COFG	英語学演習 D	山岡 洋	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
COFH	科学哲学	江川 晃	2	P31300	科学哲学		2年		
COFJ	哲学演習 B	吉岡 司郎	1	P401S0	哲学演習 I	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				P402S0	哲学演習 II				
COFK	日本史特講 I	関 幸彦	2	Q30800	日本史特講 I		2年		
COFL	西洋史入門	後藤 秀和	2	Q20300	西洋史入門		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
COFM	会計学	林 徳順	2	S32800	会計学		2年		
COFN	租税論	鶴藤 俊英	2	R31700	租税論		2年		
COFP	商品学	松本 竜一	2	S30300	商品学		2年		
COFQ	教育相談／教育 カウンセリング論	望月 由起	2	T30600	教育相談	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
				T30700	教育カウンセリング論				
COFR	社会科・地理歴 史科教育法 I	ト部 勝彦	2	T20500	社会科・地理歴 史科教育法 I	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・ 経済学部・商学部のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COFS	かな書法	山本 まり子	2	T22500	かな書法	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	
COFT	博物館情報・ メディア論	品川 欣也	2	Y21000	博物館情報・ メディア論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆政治を基礎から学びましょう。

〔政治学〕

担当者：関根 二三夫

- ◆**学修到達目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣若しくは大統領の動きを見ますと政治が難しい事のようには思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、政治が我々にとって身近な現象である事を学びます。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。
- ◆**準備学修** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備としてメディアの情報に関心を持ち、テキストを参考に各単元、2時間程度の予習と2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画（各日450分）

1日目	政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理） ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やあるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。
2日目	議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴） ※一院制や二院制立法部と行政部との典型的な関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的な考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴を学びます。
3日目	政党（発展過程・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向）とリーダーシップ ※政党がどのように発展してきたか、また、その働きや問題点を考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点などを学びます。更に、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて学びます。

- ◆**教科書** **教材** 『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード000279）2,100円（送料込）
※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。
- ◆**参考書** **丸沼** 丸沼『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫 南窓社 3,132円（税込）（送料350円）
※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。
- ◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30% ※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意してください。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆異文化理解に見る発想の違い

〔英語 H〕

担当者：佐藤 恵一

- ◆学修到達目標 比較文化的情報を扱い国際化・情報時代の英語教育をテーマにします。扱う英文は比較的易しめなのですが、内容は濃いので比較文化の視点からいろいろなことを考えて頂く機会を与えられるのも大きな目標です。
- ◆授業方法 授業ではリーディングを中心としているいろいろな種類の問題を討議し（リスニングやパッセージ内容把握等含め）、必要な基本的能力のチェックをしながら進めていきます。
- ◆準備学修 情報を得て一歩進んで考えることも授業におけるテーマでもあります。比較文化の情報から物事を考える機会を得るためにも事前・事後学習が必要です。
- ◆授業計画（各日450分）

1日目	オリエンテーション 1 Differences in Greetings between Japan and the West 2 Japanese Outlook on Religions
2日目	3 Life after Death:Differences between Christianity and Buddhism 4 Foot Culture and Hand Culture
3日目	5 Different Americans and the Same Japanese まとめ試験

- ◆教科書 丸沼 『Step up to Better English』 朝日出版社 1,836円（税込）（送料300円）
- ◆参考書 なし。
- ◆成績評価基準 最終日のテスト60%・平常点（小テストや学習への意欲や参加度）40%で評価します。

◆耳を鍛えれば英語は伸びる

〔英語 J〕

担当者：八木 茂那子

- ◆学修到達目標 言語活動の前提条件であるリスニングにおける'trouble spot' 解消を図り、'communication skill' の着実な向上を目標とする。具体的には1分間に約120語で話される英語を聴解できるようになること。
- ◆授業方法 演習形式によりListening, speakingの両面での基礎的能力の涵養を図るためにself-training, pair Work, group activities等色々なactivitiesを行います。
- ◆準備学修 3日間という限られた時間での講義なので指示された箇所の入念な予習、復習を願います。
- ◆授業計画（各日450分）

1日目	午前：1. 音節と分節法 2&3単語とストレス（1）&（2）/20&21数量（1）&（2） 午後：4&5 センテンス ストレス 内容語と機能語/22. 天気予報 23. 放送ニュースの聴き方 group activity 他 小テスト
2日目	午前：review、8 強形・弱形発音 9. 縮約形/24 ヒューマン・インタレスト・ニュース 25 新聞 英語と放送英語 午後：10&11 音の連鎖（1）&（2）/27&28キャンパス・ミニ会話（1）&（2）/12の同 化13 リズム group activity 他 小テスト
3日目	午前：review、14-16イントネーション group activity 他 午後：Oral test/試験 ※各日ともクラスのlevelや進度に応じて予定を変更することがあります。

- ◆教科書 丸沼 『Better Communication』 5分間英語コミュニケーション 関根応之著（株）南雲堂
756円（税込）（送料215円）
- ◆参考書 なし。
- ◆成績評価基準 筆記試験50%+小テスト20%+Oral test 30%による総合評価
※クラスの成績評価は一定の基準になるよう調整を加えることがあります。
また、全期間の出席を前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆たのしいドイツ語

〔ドイツ語Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：志田 慎

- ◆**学修到達目標** 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく磨いて、ドイツ語技能検定5級から4級レベルの総合的なドイツ語力を身につけます。
- ◆**授業方法** 1. 各課のダイアログをCDで聴き、みなで真似て発音練習します。これを数回繰り返します。
2. 教科書の例文を用いて文法事項を解説します。
3. 練習問題をみなさんに解いてもらいます。
- ◆**準備学修** 付属のDVDを視聴して、なるべくドイツ語の音に耳を慣らしておいてください。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	アルファベット／発音のポイント Lektion 1-2（動詞の現在人称変化／sein と haben の現在人称変化） 小テスト
2日目	Lektion 3-5 （wissen の現在人称変化／fahren の現在人称変化／動詞の語幹の中の母音が e から i に変わる動詞） 小テスト
3日目	Lektion 6-7（助動詞 können の現在人称変化／分離動詞の仕組み） 復習 最終試験

- ◆**教科書** 丸沼 『ドイツ・サラダ [DVD 付]』 保阪良子著 朝日出版社 2,700円（税込）（送料 300円）
- ◆**参考書** 独和辞典を必ず用意してください。推奨は『アポロン独和辞典』（同学社）、『クラウン独和辞典』（三省堂）
- ◆**成績評価基準** 最終試験 50%、平常点（練習問題、小テストなど）50%により総合的に評価します。

◆楽しくやさしい中国語

〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：泉 朝子

- ◆**学修到達目標** 中国語の基礎を楽しく、かつ丁寧に学んでいきましょう。「中国語を学びたい」という同じ目的を持った仲間とグループワークを通して楽しく、「優しい&易しい」をテーマに、たくさんのことを急いで学ぶよりも、ひとつのことをじっくりと。文法の基礎、発音の基礎をしっかりと学びつつ、最終到達目標として中国語で流暢に自己紹介ができるようになります。
- ◆**授業方法** まずは座学で文法の基礎と発音の基礎を学び、そのあと理解を深めるためにグループで文法問題を解いたり、発音練習を行います。発音練習は参加人数にもよりますが、マンツーマン指導も行いたいと思います。また、3日間の集大成として、中国語で自己紹介ができるようになります。時間をかけて発音練習に取り組み、中間発表と最終発表を行います。
- ◆**準備学修** 特にありません。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	【はじめに】ガイダンス【座学】文法基礎【グループワーク】文法問題を解く【座学】発音基礎 【グループワーク】発音練習（基礎）（マンツーマン指導を含む）・自己紹介文の作成
2日目	【座学】文法基礎【グループワーク】文法問題を解く【座学】発音基礎 【グループワーク】発音練習（基礎・自己紹介）（マンツーマン指導を含む）【発表】自己紹介の中間発表
3日目	【座学】文法基礎【グループワーク】文法問題を解く【座学】発音基礎 【グループワーク】発音練習（基礎・自己紹介）（マンツーマン指導を含む）【発表】自己紹介の最終発表

- ◆**教科書** 当日資料配布 当日配布資料。
- ◆**参考書** 使用しない。
- ◆**成績評価基準** 平常点 40%（主にグループワークへの参加度で評価します）
発表 60%（発音の発表をしてもらいますが、発音には個人差がありますので、各人がスクーリングの3日間でどれだけ上達したかをもとに評価します）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基礎から学ぶ債権法総論—債権法の体系と民法改正 [民法Ⅲ]

オープン受講：不可 担当者：長谷川 貞之

◆学修到達目標 本講義では、債権が売買や賃貸借などの各種契約や不法行為を主たる原因として発生するメカニズムを知るとともに、債権の発生から存続・効力、そして消滅に至るまでのプロセスを民法典が規定する条文に修得する。これを通じて、受講者は民法典における債権法の基本構造を体系的に理解する能力を養うことができる。

◆授業方法 授業計画の内容に沿って、教科書に即しながら講義形式で行う。適宜、ソクラテス・メソッド（問答方式）を用いる。できる限り具体例を挙げながら、考える授業としたい。

- ◆準備学修
- 1) 教科書を事前に購入し、開講前に2・3回程度通読しておくこと。
 - 2) 教科書の余白に記載のある★（重要度に応じて1～3段階）に留意し、問題の把握に努めるように購読すること。
 - 3) 民法典第3編「債権」の規定（399条～724条）を音読し、債権総論（399条～520条）規定上の配置・構造を確認しておくこと。

◆履修条件 平成29年度東京スクーリング（2月期）第2期との積み重ね不可。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 民法典の体系と債権法：債権法を学ぶ意義、債権法総則と各論、近時の債権法改正 2. 債権の発生：債権の発生原因、物権と区別される債権の意義と法的性質、債権の目的・種類（特定物債権・種類債権・金銭債権、選択債権など） 3. 債権の効力（1）：①履行請求、債権・債務と責任、②第三者による債権侵害、③債務不履行、④受領遅滞
2日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 債権の効力（2）：⑤責任財産の保全—債権者担代位権、債権者取消権 2. 債権の効力（3）：⑥多数当事者の債権・債務関係—債権の共有と原則ルール：可分債権・債務、不可分債権・債務、連帯債権・債務、保証債務 3. 債権の効力（4）：⑦債権譲渡、⑧債務引受、⑨契約上の地位の譲渡
3日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 債権の消滅（1）：①総論—債権の7つの消滅原因、②弁済とその周辺：弁済の方法・場所・費用など、③代物弁済、供託 2. 債権の消滅（2）：④相殺—相殺の意義と担保的機能など、⑤その他の債権消滅原因—更改、免除、混同 3. まとめ／試験

◆教科書 丸沼 『民法Ⅲ—債権総論 [第4版]』〈有斐閣Sシリーズ〉野村豊ほか／有斐閣 2018年 1,836円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼 『民法（債権関係）改正法新旧対照条文』商事法務編／商事法務 2017年 1,188円（税込）（送料300円）

その他、民法（債権関係）改正に関して、授業中に適宜、紹介する

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、平常点（20%）と試験（80%）で評価する。

注意 E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆企業取引の多様な決済手段

〔商法Ⅲ〕

担当者：金澤 大祐

◆**学修到達目標** 本講義では多様な決済手段に関する法知識，具体的には，手形・小切手のみならず，電子マネー，電子記録債権等新しい決済手段についての知識の習得を目的とする。また，多様な決済手段について，具体的なケースに即して，説明することができることを目的とする。

◆**授業方法** 本講義は，講義形式で行う。本講義においては，現金，約束手形等従来から利用されている決済手段のみならず，電子マネー，電子記録債権等に関する最新の法制度まで幅広く取り扱うこととする。その理解のためには，出席が必要不可欠である。また，漫然と講義に出席しているだけでは知識が身につかないため，講義時に適宜質疑応答を行い，毎回，論述式の小テストを行い，受講生の理解度を高める。

◆**準備学修** 指定したテキストの該当部分につき，一読し，関連する条文を確認しておくこと。

◆**履修条件** 民法を履修していることが望ましい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	決済システムの全体像と決済システムの必要性について学ぶ。 電子マネー，クレジットカードの意義と仕組みについて学ぶ。 約束手形，為替手形，小切手の意義と基本的な仕組みについて学ぶ。 小テストを行う。
2日目	約束手形の振出，裏書，請求及び受け取った手形の割引等，約束手形の振出から支払いまでの一連の過程について学ぶ。 約束手形の流通を支えるシステムのうち，約束手形における担保責任と遡求，手形行為独立の原則を学ぶ。 約束手形の流通を支えるシステムのうち，善意取得，人的抗弁の切断及び公示催告と除権決定等を学ぶ。 小テストを行う。
3日目	手形貸付，融通手形や白地手形等約束手形によるファイナンスについて学ぶ。 電子記録債権の基本的な仕組みについて学ぶ。 銀行振込の意義と問題点について学ぶ。 試験を行う。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

丸沼 『支払決済法（第3版）』小塚荘一郎＝森田果 商事法務六法（最新版（平成30年度版）が望ましい）
2,700円（税込）（送料300円）

◆**参考書** **丸沼** 『手形小切手判例百選（第7版）』神田秀樹＝神作裕之編 有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 小テスト（30%），試験（70%）

注意

E-mailを送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

◆法と正義の関係を考える

〔法哲学〕

担当者：高須 則行

- ◆学修到達目標 1. 各立場の正義論について説明することができる。
2. 現代の問題状況を各立場の正義論と関連づけて説明することができる。
- ◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思っています。受講者の人数にもよりますが、ゼミ形式で授業を進めることも考えています。
- ◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。
- ◆授業計画（各日450分）

1日目	1. 法哲学へのいざない 2. 正義論の基本的思考 3. 正義論（1）：ラードブルフの価値相対主義
2日目	4. 正義論（2）：ベンサム・ミルの功利主義 5. 正義論（3）：ロールズの正義論 6. 正義論（4）：ドゥオーキンの正義論
3日目	7. リバタリアニズムの正義論 8. 共同体の正義論

- ◆教科書 **当日資料配布** 特になし。レジュメを配布する。
- ◆参考書 なし。
- ◆成績評価基準 ①試験結果（50%）②授業参加度（30%）③レポート（20%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国家の役割変化と行政の特質を知る

〔行政学〕

担当者：山田 光矢

◆**学修到達目標** 人類社会の発展と変質をもたらした、国家や地方公共団体の役割の変化と、それに対して私たちがどのように対応すべきなのかを、ロストーの「take off の原理」を手がかりに、国家のその時代ごとの役割の変質と、国家の実態を考え、現在の国家や地方公共団体の役割や現状を分析し、行（財）政改革のあるべき方向性に対する受講生自身の考え方を説明できるようにする。

◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で講義を進め、受講生の理解を深めていきたいので、積極的な講義への参加を求めながら進めていきます。

◆**準備学修** 日本の政権交代と、政府が実施してきた行政改革の目標や方向性を考え、今後の日本の行（財）政改革の望ましい方向性や、実施すべき方向性などについて考えてもらいますので、可能な限り新聞等を読んで、日本の行政の現状や問題点、さらに受講生各自の考える望ましい改革の方向性などを考えてきてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	①行政の定義：三権分立論と五権分立論、憲政と行政、政治と行政他 ②国家の役割の変化：「take off の原理」、小さな政府と大きな政府他 ③国家と行政：官房学・警察学・シュタイン行政学、アメリカ建国と行政 ④公務員制度改革とアメリカ：ジャクソニアンデモクラシー、アメリカ行政学他
2日目	①行政改革の理論と実際：合理モデル、満足モデル、インクリメンタリズム他 ②統治機構と行政：大統領制、議院内閣制、フランス型大統領制他 ③官僚制Ⅰ：官僚制の特徴、官僚制の機能と逆機能、欲求五段階、現代組織論他 ④官僚制Ⅱ：スタッフとライン、独任制と合議制、行政（独立規制）委員会、NPO 他
3日目	①日本の行政Ⅰ：明治維新と行政制度、内閣制度、大日本国帝国憲法と行政制度 ②日本の行政Ⅱ：日本国憲法と行政組織、橋本改革、小泉政権とその後 ③行政学と行政改革：講義のまとめと質疑応答 ④試験

◆**教科書** **当日資料配布** 必要に応じて配布します。

◆**参考書** 必要に応じて紹介します。

◆**成績評価基準** 試験を60%程度、小テストやリアクションペーパー等を20%程度、出席や受講態度等を20%程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 『古事記』 上巻を読む

〔国文学講義 I (上代)〕

担当者：梶川 信行

◆**学修到達目標** 『古事記』の上巻を読み進める。一般に上巻は神話であると言われるが、それは決して荒唐無稽な話ではない。その序文によれば、各氏族が自家の歴史を語る際、多くの虚偽があったので、天武天皇によって「削偽定実」がなされたとされる。それはまさに真実を伝えたものと見做されたのだが、そこから古代の王権のどのような世界観が見えて来るのか。この講義では、古代的な世界観を見据えることを通して、日本文化の深層を考えることを目的とする。

◆**授業方法** プロジェクターを使って、スクリーンにさまざまな画像（写真・地図・各事項のまとめ など）を映し出しつつ講義を進める。時折、受講生全員に意見を求めるが、それを平常点とし、試験の点数に加算する。受身で受講するのではなく、どんどん質問すること。

『古事記』には矛盾点も多く、現在もなお、議論の分かれている問題が多い。また、わからない事柄も山積みである。講義の中で、繰り返し問題を投げかけるので、ぜひ自分なりに考えてほしいと思う。受講生が積極的な姿勢で取り組みれば取り組むほど、より深く読めることになる。

◆**準備学修** 指定したテキスト以外の注釈書でも構わないので、現代語訳や脚注を参考にしながら、『古事記』の上巻を読んで来ること。例年、何から何まで教えてもらえるものと勘違いしている学生がいるが、それは学問する姿勢ではない。講義を聞きつつ、自分で考えることができるよう、上巻の粗筋を頭に入れるとともに、疑問点を見つけておくことが大切である。

◆**授業計画 (各日450分)**

1日目	『古事記』とは ガイダンス及び概説 序文について 古事記はどのように生まれたか 国生み 東アジアの中の豊葦中国 神生みと伊弉那美神の神遊り 世界の形成を考える 黄泉の国 他界をどのようにイメージしていたか
2日目	三貴子の分治 大和の王権の世界像 天の石屋 天照大御神の誕生 八岐の大蛇 出雲神話の始まり 兔とワニ 民話とどう違うか 根の堅州国 他界はどう意識されたのか
3日目	八千矛神の歌物語 歌謡物語を読む 少名毘古那神と国作り 大和国一宮の始原 建御雷神と国譲り 出雲大社の起源 質疑 試験に備えて 試験

◆**教科書** **丸沼** 『新版 古事記 現代語訳付き』 中村啓信 角川ソフィア文庫 1,252円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験。それに平常点を加える。
試験は自筆ノートのみ持ち込み可とするので、できるだけ丁寧にノートを取っておくこと。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ものごとを伝えるということとは

〔文章表現法〕

担当者：木村 一

- ◆**学修到達目標** 自分の言いたいことが伝わらない。あるいは、誤解されてしまう。そのような懸案事項にわたちたちはどのように対処していくべきなのであろうか。デジタル全盛の時代において、利便性のみが優先され、その裏側でうしなわれつつある正確性ということに危機感を持つ。本講座では、伝えるための必要最低限のルールを学びます。それにより、今までどうして伝わらないのかということに気づききっかけが見つけれられるようになります。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式ですが、受講者全員に実際に文章を書いて、なんらかの表現をしてもらいます。受講者数によっては、口頭発表も視野に入れています。また、他人の表現にも積極的にかかわってもらいます。そのために、伝えるための知識を身につけてもらいます。各自、積極的にノートをとること。
- ◆**準備学修** 新聞・テレビ・インターネットなどの、いわゆるメディアで積極的に「世の中」と関わりを持っておくこと。その際、自分自身とメディアとはどのような関係にあるのかということ意識しておくこと。また、指定したテキストの内容を大まかに把握しておくこと。そして、毎回の授業内容を復習し、次回の授業につなげる努力をすること。

◆授業計画（各日450分）

1日目	導入、何をどのように進めるか。必要事項の確認と準備。諸注意。 ①準備段階としての文章表現 「伝える」ためにあなたはなにをしていますか？ 「分かってほしい」のに「分かってこない」現実とその要因
2日目	②表現力と発想のために 抽象的なものごとを表現するということ 抽象的なものごとは何を指すべきなのか 「伝えようとする」努力とは
3日目	③具体的実践と実際 「相手」を知ること 「伝わらない」のは相手が悪い？ 「世の中」と関わるということとは 試験

- ◆**教科書** **丸沼** 『文章表現ガイダンス』 おうふう 1,944円（税込）（送料300円）

当日資料配布 当日プリント配布。

- ◆**参考書** 電子辞書があると便利（電子端末不可＝スマホ・タブレット）
各自必ず用意するもの
①原稿用紙（400字詰・縦書・用紙の大きさは自由）
②ホチキス（新たに購入する場合は百円ショップの物でよい）

- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、提出物・試験（70%）・添削対応（20%）・受講状況（10%）で総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆小倉百人一首をよむ

〔国文学演習 B〕

担当者：藤平 泉

- ◆**学修到達目標** 古典和歌の良く知られた作品としてまたカルタ遊びとしても親しまれている『小倉百人一首』を教材に、各自一首ずつ好きな和歌を選び、各自その和歌について調査した結果を口頭発表の形で報告し、質疑を経て古典作品を理解するために基本的な調査方法や基礎知識を知ることが目的とする。
- ◆**授業方法** 各自で事前に送付する演習準備のための手引きを元に自分で選んだ和歌とその歌人について参考書や資料を調査し事前に発表資料を作成し、各自口頭発表を行う。
- ◆**準備学修** 指定したテキストとできれば参考書も熟読すること（特にテキスト末部の解説）登録した人には、別に資料作成のための藤平作製の発表資料の手引きを送付する。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	最初に、藤原定家について説明し、定家が『小倉百人一首』を選定するにいたる背景を過程を説明知る。その後各自の口頭発表の担当和歌を確認する。（同じ和歌は二名まで担当可）第二志望の和歌も考えておくこと。
2日目	発表順に従い、一人30～40分で口頭発表を行い、参加者全員で質疑を行う。発表者以外の人も質疑に参加し、どのような点に注目したら良いかを知り、自分でも発言してみよう。的外れであっても減点にはならない。
3日目	二日目と同様に口頭発表を行う。採点は、先と後では準備の時間に差があり、また同じ和歌を担当する場合後の人が有利になるので、その点を考慮して再燃する。積極的に質問、発言する人には、加点する。試験等を行わない。

- ◆**教科書** **丸沼** 『百人一首』有吉保 講談社学術文庫 1,490円（税込）送料300円

事前資料送付

- ◆**参考書** **丸沼** 『百人一首』島津忠夫 角川ソフィア文庫 691円（税込）送料215円
- ◆**成績評価基準** 口頭発表70% 授業参画度（質疑）30% 毎回出席が前提。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリス文学を辿る—黎明期～シェイクスピア

〔イギリス文学史Ⅰ〕

担当者：鈴木 ふさ子

- ◆**学修到達目標** 黎明期からシェイクスピアの時代までの時代背景と思潮を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。
- ◆**授業方法** 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に各時代の背景と思潮を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像なども利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品についてコメントを求める場合もあります。
- ◆**準備学修** 第一日目の初めはイギリス文学史を学ぶ前の準備運動となるので、イギリス文学の特徴や代表的な作品には何かがあるのかを考えてきて下さい。下記シラバスに沿って授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。
- ◆**履修条件** 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）及び東京スクーリング（7月期）の「イギリス文学史Ⅰ」（鈴木ふさ子担当）との積み重ね不可。

◆授業計画（各日450分）

1日目	●ガイダンス（イギリス文学への誘い）、プロローグ イギリス文学の黎明期（詩概説、ベオウルフなど） ●第1章チョーサーの時代（時代背景と思潮、詩概説、チョーサーについて）
2日目	●第1章チョーサーの時代（劇概説、道徳劇・散文概説、トマス・マロリー、アーサー王伝説） ●第2章（シェイクスピアの時代 時代背景と思潮、詩概説、スペンサー『妖精女王』・ソネットについて、シドニー、シェイクスピアの『ソネット集』の作品をいくつか読む、モア、ベイコンについて）
3日目	●第2章（シェイクスピアの時代 劇概説、シェイクスピアの初期悲劇） ●これまでの総まとめ ●試験

- ◆**教科書** **丸沼** 『はじめて学ぶイギリス文学史』 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料350円）
- ◆**参考書** **丸沼** 『英語文学事典』 ミネルヴァ書房 4,860円（税込）（送料450円）
丸沼 『映画で英詩入門』 平凡社 1,404円（税込）（送料300円）
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。
無遅刻・無欠席を前提に、授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（10%）・試験（70%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学の歴史と変遷を理解する

〔アメリカ文学史〕

担当者：北原 安治

- ◆学修到達目標 アメリカの建国から20世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。
- ◆授業方法 テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めることが前提となります。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握します。村上春樹の新訳のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』のDVDなど事前に見ておけば良い。28章のヘミングウェイまでは行きたい。
- ◆準備学修 予習テストと予習ノート検査（教科書の書き込みだけでは不可）をする場合がある。テキストの英文を手書きでノートに写す。手書き以外は不可。最低限28章まで予習。和訳を付ける。テキストの最後に参考文献があるので予習の参考にする。抜き打ちの実力テストをやる場合があるので辞書必携。試験は持ち込み無し。毎回テキストを間違える学生がいるので注意。薄手のテキスト。

◆授業計画（各日450分）

1日目	映像資料視聴。テキストはじめから12人前後の作家の予定。
2日目	映像資料視聴。12人前後の作家の予定。
3日目	映像資料視聴。6人前後の作家の予定。試験（持ち込みなし）。

- ◆教科書 **丸沼** セメスターシリーズ『An Outline of American Literature（アメリカ文学概観）』
井上謙治編著 南雲堂 全48ページの薄いテキスト 1,296円（税込）送料215円
- ◆参考書 テキスト47ページ参照。中型辞書を持ってくること。
- ◆成績評価基準 小テスト、試験などによる総合評価。手書きノート検査あり。必ず手書き。三日間なので無遅刻皆出席以外は不可。テキスト間違いや不携帯は不可。試験はテキストの和訳と小論文（和訳がある程度できないと、小論文がいくらできてても不可とする。試験用紙裏面すべてに小論文を当てる。1000字以上書くこと。試験時間は100分ほどの予定。小論文タイトルは「ホーソンとメルヴィルのふたりの特徴と作品を論じる」。3日間の短期なので事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし）

◆英語のテンスとアスペクト

〔英語学特殊講義〕

担当者：佐藤 健児

- ◆学修到達目標 英語のテンスとアスペクトについて、その基本的な用法と本質の意味を理解し、説明できるようになること、それを本講義の目標とします。
- ◆授業方法 英語のテンスとアスペクトについて、ハンドアウトと『英文法解説』をもとに講じます。一方的な授業にならないよう、受講者のみなさんにも文献の一部を読んでもらいます。
- ◆準備学修 『英文法解説—改訂三版—』の第9章「動詞の時制」を熟読しておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	英語のテンスとアスペクト（その1）。
2日目	英語のテンスとアスペクト（その2）。
3日目	英語のテンスとアスペクト（その3）。 試験

- ◆教科書 **丸沼** 『英文法解説—改訂三版—』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料450円）
- ◆参考書 **丸沼** 『ことばの意味と使用—日英語のダイナミズム』 澤田治美・高見健一著 鳳書房
3,024円（税込）（送料300円）
※授業では、（一部）コピーを配布します。
- ◆成績評価基準 試験（100%）。ただし、すべての授業に出席することを前提に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 英語学の一分野としての英語音声学と英語音韻論がどのような学問分野であるかを学んだ上で、英語と日本語の音声がどのような点で異なり、どのような点で共通しているかを学ぶ。具体的には、最初に音声学と音韻論の違いを学び、その後で、単位の細かい順に、音素・音節・アクセント・リズム・イントネーションについて学び、英語の発音や聴き取りの際に英語的な感覚を理解できるようになる。

◆**授業方法** 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻繁に学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。

◆**準備学修** 下記に挙げる教科書・参考書に目を通しておくこと。3日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	ことばの仕組み 音声学・音韻論 発声の仕組み 母音と子音 音素・ミニマルペア
2日目	音節とモーラ 閉音節言語と開音節言語 聞こえ度・成節子音 アクセント 強弱アクセントと高低アクセント 語のアクセントと句のアクセント（CSR, NSR, CAR, ダウンステップ） 内容語と機能語 焦点
3日目	リズム 強勢拍リズムと音節拍リズム イントネーション 自習 試験・解説

◆**教科書** **丸沼** 『音声学・音韻論』日英語対照による英語学演習シリーズ1 窪園晴夫 くろしお出版
2,160円（税込）（送料300円）

当日資料配布 初日に資料を配付します。

◆**参考書** 『英語の発音と英詩の韻律』英語学入門講座7 窪園晴夫・溝越彰 英潮社
〈上記の本は、図書館等を利用してください。〉

丸沼 『現代の英語音声学』佐藤寧・佐藤努 金星堂 2,592円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆科学とはどのような営みなのか？

〔科学哲学〕

担当者：江川 晃

◆**学修到達目標** 科学理論の経験的基盤や論理的構造，あるいは理論転換のメカニズムなどを解明する方法論的分析をとり上げる。とりわけ，後期では，20世紀に出現した科学哲学の潮流の間の論争を振り返りつつ，科学という知的な営みの本質を理解することがこの講座の学修到達目標である。

◆**授業方法** 講義，小レポート，発表，討論しながら，ダイナミックに行こう。

◆**準備学修** 教科書の第2部を熟読玩味すること。

◆**履修条件** 教科書の第1部を読んでおいた方が好ましい。

◆授業計画（各日450分）

1日目	7章 科学の方法 演繹法と帰納法 仮説演繹法と発見の論理 8章 科学の危機 決定論的自然観
2日目	数学と物理学の危機 9章 論理実証主義 論理学革命 意味の検証理論と統一科学 10章 批判的合理主義と反証可能性
3日目	進化論的認識論 11章 経験主義の2つのドグマ デュエム＝クワイン・テーゼ 12章 パラダイム論と通訳不可能性 レポート作成

◆**教科書** 丸沼 『科学哲学への招待』野家啓一著 ちくま学芸文庫 筑摩書房 2015年 1,188円(税込)(送料300円)

◆**参考書** パワポの教材。

◆**成績評価基準** 平常点・課題（50%） レポート（50%），毎回出席を前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

◆古代インド思想の世界生成論

〔哲学演習 B〕

担当者：吉岡 司郎

◆**学修到達目標** 「世界はどのように成立したか」は、古代哲学思想の主要なテーマの一つである。この問題に関して、今回はインドの哲学思想を題材として、世界の起源、その成立過程についての主要な考え方を学ぶ。これを通じて、インドの宗教および哲学思想についての正しい理解を得るとともに、西洋思想を含めた古代・中世思想全般について考えるための基礎知識を得る。

◆**授業方法** 授業は、下記の「授業計画」にそって、講義形式で進める。授業にあたっては、あらかじめ提示した問題点について、各派の根本とする典籍にもとづいて、それぞれの考え方を整理して示し、各派の独自性およびインド思想としての共通点の理解をはかる。各日の授業内容の理解度を確認するため、小レポートの作成を課す。

◆**準備学修** インドの哲学思想についてある程度の予備知識があると授業の理解が容易になるので、授業開始に先立って、下記の参考書（あるいはこれとほぼ同じテーマの文献）を参照して、インドの哲学・宗教の流れを大まかに把握しておくことよ。

◆授業計画（各日450分）

1日目	(1) 世界生成論についての一般的考察。 (2) インド思想の諸系統 (a) ヴェーダとウパニシャッドの思想, (b) 六派哲学（正統バラモン思想）, (c) 非正統思想 (3) ヴェーダ文献に見られる世界生成論。：リグ・ヴェーダからウパニシャッドまで。
2日目	六派哲学の思想から、主要な三つの思想について学習する。 (1) サーンキヤ学派の二元論：純粹精神と根本原質による世界の開展。 (2) ヴァイシェーシカ学派の多元論：6つの句義（パダールタ）による世界分析。 (3) ヴェーダーンタ学派の一元論：唯一の実在であるブラフマンからの世界の開展。
3日目	非正統思想の世界論。 (1) 仏教の世界論。 (2) ジャイナ教の世界論。 筆記試験

◆**教科書** 使用しない。

当日資料配布 授業要旨は担当者が作成してプリント配布する。

◆**参考書** **丸沼** 『ヒンドゥー教』山下博司 講談社（講談社選書メチエ9） 1,728円（税込）（送料300円）

丸沼 『ヒンドゥー教の事典』橋本泰元他 東京堂出版
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

丸沼 『インド思想史』早島鏡正他 東京大学出版会 3,888円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 筆記試験（50%）、小レポート（50%）。

小レポートは1日目と2日目に、当日の授業内容から出題、3日目に提出。各800字程度。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆～戦争の日本史～

〔日本史特講Ⅰ〕

担当者：関 幸彦

◆**学修到達目標** 古代から中世、及び中世から近世への転換の時代を史実と観念の世界で解きあかす。争乱、内乱が与えた時代像を考える。

◆**授業方法** 講義を中心に。

◆**準備学修** テキストを事前に通読すること。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	1. 中世とは何かを考える 2. 源平の争乱と『平家物語』について 武将、武士の虚像と実像について考える 3. 鎌倉時代の人物を『吾妻鏡』から武士をテーマに扱う
2日目	1. 源平の争乱と『平家物語』について 貴族、公家に焦点を絞り考える 2. 南北朝の動乱と『太平記』を素材に貴族たちの姿を考える
3日目	1. 再び中世とは何か、反乱、内乱をテーマに考える 2. 敗者、敗れし者たちをテーマにその裏面史について考える

◆**教科書** 丸沼 『恋する武士、闘う貴族』山川出版社 1,944円（税込）（送料350円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 出席と試験。

◆卒業論文への道、その第一歩

〔西洋史入門〕

担当者：後藤 秀和

◆**学修到達目標** いわゆる西洋史とよばれる分野において卒業論文を作成することを目的とする学生が、自ら選んだテーマおよび時代について、問題を設定し、先行研究を収集し、史料を調査し、論じることを、すなわち大学生として自研究を進めることができるように、基礎的方法やキー概念を身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 「興味を持っていること」を具体的に論じるための準備作業として何が必要なのか、教員の専門領域における実例などを交えながら、順を追って講義する。また、参加者には図書館内の参考図書を用いた調査、「文献カード作成」実習、個人テーマ報告と参加者間の質疑応答も行っていただく。

◆**準備学修** 卒業論文への第一歩として、自分が何を論じたいのかをはっきりさせなければならない。そこで、各自が現在興味を持っているテーマ、地域、時代（現時点では必ずしも具体的である必要はない）について、またそのテーマに興味を持つきっかけとなった書籍や論文その他についてA4の用紙一枚程度にまとめて事前に提出していただく。

◆**履修条件** 積み重ね履修を禁じるものではないが、入門講座という性質上、同一教員による当授業を複数回履修することによる教育効果は高くない。よって既修者に対しては、報告・討論やグループワークにおいて主導的な役割を果たしているか否かが成績評価における重要な基準のひとつとなっていることを予め理解しておいていただきたい。

◆**授業計画（各日450分）**

1日目	導入：「西洋史学」とは何をする学問か／1. 問題意識と暫定テーマの選定／2. 研究対象の背景となるミリュー（環境）を意識する／3. 関心の所在を説明し問いを立てる（受講者による報告・質疑）／4. 「やりたいこと」と「できること」：史料上の制約と方法論による克服、いくつかの事例から
2日目	5. 「趣味」と「研究」との違い：研究史と方法論、近年流行の文化史・社会史を例に／6. 作業道具としての辞書、歴史地図、統計、概説書／7. 先行研究を集める：芋づる式／8. 先行研究を集める：網羅的調査（図書館内での実習）／9. オンライン調査とその限界、注意すべき点／補：文書調査の実際
3日目	10. 図書館の利用方法（実習形式）／11. 書籍カードを作る（受講者による実習）／12. 叙述の作法その2（脚注と史料および参照文献リスト）：「科学」であるための検証可能性の確保／13. 章節立て：作業の意味と実際／まとめ：調査計画の作成（既修者は現時点での章立てと研究計画の作成）

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 事前提出レジュメ作成を案内する際、および講義時にお知らせする。

◆**成績評価基準** 事前提出のレジュメ（内容だけでなく形式も）、授業内の質疑応答、実習、授業内レポートによって総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆会計学の基礎知識が学修できる

〔会計学〕

担当者：林 徳順

- ◆**学修到達目標** この授業の到達目標は、「初心者が会計学の基礎知識を学修できる」こととあります。すなわち、「株式会社の仕組み」及び「営利企業に係る財務会計、管理会計、税務会計及び監査の概要等」を学ぶことを通し、①「企業利益はどのように計算され、どのように利用され、その正確性はどんな方法で保証されているのか」が学修でき、②「製品などの原価はどのように決まるのか」が学修できます。前記の内容について大多数の受講生が修得できた場合、会計の国際化、連結財務諸表、キャッシュ・フロー計算書について学修できます。
- ◆**授業方法** 授業計画に沿って、パワーポイント形式で授業を進めます。授業中、①授業内容に関する練習問題を解いたり、②授業内容と関連のある新聞記事などを取り上げ、授業内容についての理解を深めたりします。受講生の理解度を考慮しながら授業を進行しますので、授業計画よりも授業進行が遅れる場合があります。
- ◆**準備学修** 授業計画に沿って、テキストの内容を予習してくることを勧めます。特に、複式簿記の計算構造に関する部分（第2章～第4章）は、初心者にとって難解な部分であるため、十分に予習することが必要です。会計に関する辞書などを利用しながら、専門用語などを理解したうえで授業に臨むと、さらに学修効果が上がります。

◆授業計画（各日450分）

1日目	① 第1章 現代社会と会計の役割 ② 第2章 簿記・会計の基礎知識 ③ 第3章 複式簿記の基本的な手続 ④ 第4章 財務諸表の作成―決算の手続―
2日目	① 第5章 株式会社のしくみ ② 第6章 日本の企業会計制度 ③ 第7章 損益計算書のしくみ ④ 第8章 貸借対照表のしくみ ⑤ 第9章 財務会計の分析
3日目	①第11章 会計の監査 ②第12章 管理会計と原価計算 ③第13章 税務会計 ④第10章 会計の国際化（受講生の理解度を考慮しながら進行） ⑤第14章 企業会計の展開（受講生の理解度を考慮しながら進行）

- ◆**教科書** **丸沼** 『はじめての会計学 [第5版]』日本大学会計学研究室編 森山書店 2,592円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** **丸沼** 『基礎 財務会計 [第17版]』五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料300円）
丸沼 『財務会計講義 [第19版]』桜井久勝著 中央経済社 4,104円（税込）（送料450円）
- ◆**成績評価基準** 期末テスト100%。毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆身近な税金から学ぼう

【租税論】

担当者：鶴藤 俊英

- ◆**学修到達目標** 身近にある実際の税金を学び、あるべき租税の制度について考えてみましょう。税金は、国民の会費とも言われています。将来の日本の姿を見極めながら、本当に必要な税金についての理解を深めます。
- ◆**授業方法** 原則として、教科書を中心に進めます。身近な話題として報道された時事の問題にも言及します。必要に応じて他の資料も使用することがあります。
- ◆**準備学修** 納税は国民の義務ですが、日本という国（国民生活）の維持管理の財源です。自身の生涯設計にも深く関わる要素です。講義時間内に考えてもらうことを主眼にしていますが、事前に教科書には目を通しておいてください。
- ◆**授業計画（各日450分）**

1日目	財政の現状と税金、税と社会保障の一体改革、租税基礎理論、財政民主主義
2日目	公平・中立・簡素の原則、所得課税理論
3日目	消費課税理論、資産課税理論

- ◆**教科書 教材** 『租税論 R31700』 通信教育教材（教材コード000467）4,050円（送料込）
（この教材は市販の『新版 租税論』高木勝一（八千代出版）と同一です。）
- ◆**参考書** なし。
- ◆**成績評価基準** 最終日の試験、毎日行うリアクションペーパー（レポート）。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商品と消費者，現代社会の関係を学ぶ

〔商品学〕

担当者：松本 竜一

◆**学修到達目標** 本講義では，日常生活の中で絶えず関わり続ける商品の役割について理解し，その基礎的な内容や特徴を学んでいく。また，関連分野であるマーケティングなどの知見を手掛かりに，商品を検討していくことで，幅広い知識習得を目指す。以上の内容を通じ，商品の意義や，商品と接する消費者，現代社会のあり方を洞察する力を身につけていく。そして，商品に関わるさまざまな現象を論理的に説明できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 原則として，配布資料とパワーポイントによる講義形式で行う。講義前半では各テーマに沿った内容や，キーワードについてパワーポイントを視覚資料として提示し，それをまとめた配布資料を活用して学んでいく。講義後半では当日の講義テーマに関係した内容や，それを軸に検討すべき課題を設定し，小論文の作成を行う。

◆**準備学修** シラバスに記載してある各テーマについて検討しておく。講義内で課題の提出を求めることがあるので，さまざまな事柄に関心を持ち，情報収集を心がけ，その準備をしておく。また，配布資料を活用し，復習もしておく。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス，商品とは何か，商品の品質，商品とデザイン，商品と流行。 ※授業進行の方法や成績評価について説明する。商品とは何か，商品の品質などを学び，消費者が商品を選択する際に検討することなどについて理解する。また，現在の社会で受け入れられている商品について理解を深めるために，デザインや流行といった視点からも学んでいく。
2日目	製品のライフサイクル，自己概念と商品，消費者の知覚，購買意思決定。 ※消費者は商品を自己のアイデンティを形成するための要素として取り入れようとする。また，商品を何かのシグナルとして機能させたりもする。このような人々の活動を消費者行動論の観点から捉え，心理学，社会学の知見を取り入れながら，人々がどのように商品と向き合っているのかについて学ぶ。
3日目	商品とマーケティング，商品とサービス，商品とブランド，筆記試験。 ※商品と人々，あるいは社会とをつなげるための仕組みを理解するために，マーケティングについて学んでいく。また，商品やマーケティングについて知識をさらに拡張させるために，サービスやブランドの概念についても理解を深めていく。商品とサービス，そしてブランドの関係性について学ぶ。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布。

◆**参考書** **通材** 『商品学 S30300』通信教育教材（教材コード000401）2,850円（送料込）
<この教材は市販の『現代商品論（第2版）』見目洋子 他著（白桃書房）と同一です。>

◆**成績評価基準** テスト（60%），講義内の課題（20%），平常点（20%）で評価する。テスト，講義内の課題（小論文）では，学修の成果を確認する。平常点は，講義への取り組みを評価する。これらを総合的に考慮し成績評価を行う。

注意

E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

◆「教育相談」を通して、現代の日本社会の学校教育課題も複眼的に考えてみましょう。

〔教育相談／教育カウンセリング論〕

担当者：望月 由起

◆**学修到達目標** 児童・生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や現代の日本社会における学校の教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を学校現場の実態に照らし合わせながら身につける。

◆**授業方法** 教科書（「絶対役立つ教育相談」）や映像教材等を使用しながら講義を行うだけでなく、受講者の人数や講義の進捗状況に応じて、受講者によるグループプレゼンテーション（人数によっては個人プレゼンテーションとする）や受講生間での意見交換（質疑応答）も積極的に取り入れる。「受講生の理解」を第一とするため、理解の状況をみながら授業計画を一部変更する可能性もある。

◆**準備学修** 各日の授業のテーマに関して、事前に、教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行っておくこと。事後の復習をその日のうちに行い、疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担者に質問をするなどして、理解を深めること。タイトなスケジュールですが、3日目のプレゼンテーションの準備学修もすすめてください。

◆授業計画（各日450分）

1日目	ガイダンス 学校教育相談を学ぶ意義、生徒理解のための心理学、学校カウンセリング、コンサルテーション（連携の意義や必要性） 3日目のプレゼンテーション企画準備（グループワーク）
2日目	ソーシャルスキル教育、ストレスマネジメント教育、キャリア教育、不登校の理解と対応、いじめ・非行の理解と対応 3日目のプレゼンテーション準備（グループワーク）
3日目	発達障害の理解と対応（特別支援教育）、「学生による支援活動（ピアサポート）」に関するグループプレゼンテーション 試験実施

◆**教科書** **丸沼** 『絶対役立つ教育相談－学校現場の今に向き合う－』 藤田哲也監修 ミネルヴァ書房
2,376円（税込）（送料300円）

◆**参考書** **通材** 『教育相談 T 30600／教育カウンセリング論 T 30700』 通信教育教材（教材コード000498）
1,900円（送料込）

丸沼 『DVDで見る教育相談の実際』 中野明德編集 東洋館出版社 3,024円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 試験（50%）、発表（30%）、平常点（20%）により、総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆次期学習指導要領の地理教育を考える

〔社会科・地理歴史科教育法Ⅰ〕

担当者：卜部 勝彦

◆学修到達目標 本授業では次の1)～3)を到達目標としている。

- 1) 中学校社会科及び高等学校地理歴史科の学習指導要領の目標・内容を理解し説明できる。
- 2) 地理教育と関係する地理学をはじめとする学問分野を踏まえた教材研究ができる。
- 3) 地図などの地理的スキルを駆使した授業の設計とその指導、学習評価などができる。

◆授業方法 本授業は、次期学習指導要領における地理教育の即戦力的な指導者養成を目的とした教科教育法の特性を踏まえ、講義形式に加えて、模擬授業などの演習形式、地図実習も予定している。

◆準備学修 中学校社会科地理的分野および高等学校地理歴史科地理総合・地理探究の次期学習指導要領を熟読し、現行教科書（地図帳も含む）を用いた中学校社会科地理的分野（単元は任意）の模擬授業の準備をしておくこと。

◆授業計画（各日450分）

1日目	主として中学校社会科地理的分野の内容を取り上げる。次期学習指導要領の特色と指導上の留意点を述べた上で、各自が授業設計を検討する。また地図帳や国土院発行1:25,000地形図や地理院地図の実習をICT活用を踏まえながら実施する。
2日目	主として高等学校地理歴史科地理総合・地理探究の内容を取り上げる。次期学習指導要領の特色と指導上の留意点を述べた上で、1日目と同様に各自が授業設計を検討する。また1日目の実習を踏まえ地図帳や国土院発行1:25,000地形図や地理院地図の実践的指導を研究する。
3日目	1日目と2日目の授業で修得した知識・技能をもとに中学校社会科地理的分野の模擬授業をグループワークをもとにしたアクティブ・ラーニングを取り入れながら実施する。またその際、授業評価も検討する。

◆教科書 **丸沼** 『中学校学習指導要領解説社会編 平成29年7月』 文部科学省（2018） （文部科学省WEBサイトにてダウンロード可能）

丸沼 『中学校学習指導要領解説社会編 平成29年7月』 文部科学省（2018）

◆参考書 **丸沼** 文部科学省（2018）：『高等学校学習指導要領 平成30年3月告示』 （文部科学省WEBサイトにてダウンロード可能）

丸沼 現行版の「中学校社会科地理的分野」の文部科学省検定教科書（出版社は任意）

丸沼 現行版の高等学校「地理歴史科地理Aおよび地理B」の文部科学省検定教科書（出版社は任意）

◆成績評価基準 成績は授業内容の理解などを確認する小テスト、模擬授業に向けた学習指導案や地図実習の提出物、授業の参画度等をもとにして、総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆書法の基礎

〔かな書法〕

担当者：山本 まり子

◆**学修到達目標** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかに関する基本的事項について学習し、それらを踏まえ、創作も行う。後半は漢字の書についても少しふれる。毛筆による実践を通して書法の基礎について学び、理解を深めたい。

◆**授業方法** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかを中心に講義・実践を行う。それらをもとに、各自、「提出作品」を制作する。「提出作品」の内容は担当者作成のプリントによる。当日は、事前に送付されるプリント等（その他、必要なものはプリントに記載）、忘れ物のないように万全を期するように。

◆**準備学修** 「事前送付資料」「提出作品」と記載されているプリントの内容について、授業当日前、必ずお目通しの程。

◆授業計画（各日450分）

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・書道用品店・古書店めぐり ・文房四宝（筆・墨・硯・料紙）・印泥等に関する基礎的事項 ・単体の基本 ・連綿の基本
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし書きの基本 ・創作 ・小テスト（持ち込み〈参照〉不可） ・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書 ・書簡文
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・午前：「提出作品」、提出。 ・午後：講義形式の後、筆記試験（持ち込み〈参照〉全て可）

◆**教科書** **事前資料送付** 事前に資料を送付する。

◆**参考書** 当日、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取り組み方、積極性等）50%、成果物 30%、授業内テスト 20%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館のもつ情報とその発信方法を学ぶ

〔博物館情報・メディア論〕

担当者：品川 欣也

◆**学修到達目標** 授業では「博物館のもつ情報やその活用方法を探る」をテーマとして、来館者と運営者の双方の視点から現況の博物館や美術館のもつさまざまな情報の内容とその活用方法を確認し、今後の博物館や美術館における情報の管理とその発信のあり方を探ります。

◆**授業方法** 実際に博物館・美術館で配布されている案内やホームページなどで公開・発信されている情報をもとにして、①博物館における情報・メディアの意義とその理論、②博物館における情報公開と発信、③博物館と知的財産の3項目について考えて、学習目標の理解を深めます。また公開・発信されている情報を体験するために都内の博物館・美術館の見学(2日目午後)とその検討会(3日目午前)を予定しています。

◆**準備学修** 指定の教科書を熟読し、身近にある博物館や美術館を訪ね、博物館のもつ情報とその発信方法について意識を高めること。

国内外の国公・私立博物館や美術館などのうち2館のホームページを比較して、実際にどのような情報が公開されているのか1200字程度に整理しまとめてレポート(自由書式)を提出すること。ホームページを比較する1館には必ず東京国立博物館・国立西洋美術館・国立科学博物館・上野動物園のいずれかを含めること。

◆授業計画(各日450分)

1日目	終日、教科書に沿って①博物館における情報・メディアの意義(情報・メディアの意義、メディアとしての博物館、ICT社会のなかの博物館、情報教育の意義とその重要性)とその理論(博物館資料のドキュメンテーション、博物館資料のデータベース化、デジタルアーカイブの現状と課題、博物館メディアの役割と学習活用)について授業を進めます。
2日目	午前は教科書に沿って②博物館における情報公開と発信(情報発信の意義、情報管理と情報公開、情報機器・情報技術の進歩とインターネットの活用)について授業を進めます。午後は博物館・美術館の見学を通して公開・発信されている情報を実際に確認して質疑応答を行います。
3日目	午前は前日の見学を踏まえて検討会を行います。午後は教科書に沿って③博物館と知的財産(博物館と知的財産の保護、個人情報の保護、著作物や個人情報の利用手続き)について授業を進めます。

◆**教科書** **丸沼** 『博物館学Ⅲ—博物館情報・メディア論 博物館経営論』大堀哲・水嶋英治編著 学文社
2,484円(税込)(送料300円)

当日資料配布

◆**参考書** **丸沼** 『博物館情報・メディア論』西岡貞一・篠田謙一 一般財団法人放送大学教育振興会
3,348円(税込)(送料300円)

丸沼 『博物館情報・メディア論』日本メディア学会編 株式会社ぎょうせい 2,571円(税込)(送料350円)

◆**成績評価基準** 事前課題レポート(20%)、小レポート(10%)、発表(20%)、平常点(50%)。毎回の出席を前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

IV 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項 目		手 続 内 容
『手引』入手 受講科目選択		・『手引』を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目の単位修得方式決定		・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。
↓		
履修登録		・単位修得を希望する科目の履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
↓		
スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
↓		
受講希望の講座を申し込む		・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
↓		
スクーリング受講許可講座の確認		・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認する。 ※「受講届」提出者は、郵送する「スクーリング受講資格審査結果通知」にて確認してください。
振込用紙の受け取り		・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】		・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入		・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手		・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓		
授業開始		・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
↓		
スクーリング結果確認		・「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する。 （「受講届」提出者のみ結果を郵送。発送日程は表紙記載）

2 履修登録をする

履修登録上の注意事項	
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。	

① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に

1	履修登録には、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL:http://www.dld.nihon-u.ac.jp) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	

4	履修登録する科目を確認し、 登録実行 ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分ををクリックし、「取消」に変わったら、 登録確認 ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 履修登録年度 平成 30 年度

(2) 提出年月日 平成 30 年 4 月 1 日

履 修 届

学生番号 121710000 フリガナ ニチダイ ハナコ 氏名 日 大 花 子 電話番号 090-0000-0000
(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
1 B10700	哲学	4	14		
2 C10100	英語 I	2	15		
3 C10200	英語 II	2	16		
4 H10100	保健体育講義 I	1	17		
5 L30100	行政学	4	18		
6 K20100	憲法	4	19		
7 K20200	民法 I	4	20		
8 K20300	刑法 I	4	21		
9 J10150	体育実技 I	1	22		
10 B11700	政治学	4	23		
11 T10100	現代教職論	2	24		
12			25		
13					

記入例 0123456789

合計 28 単位 ← 年間48単位まで登録できます。
教職生および2学年以上の教職コース登録者は
年間の0単位まで登録できます。

(3) (4) (5)

日本大学通信教育部

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

- 登録年度
本履修届にて履修登録する場合は、「平成 30 年度」と記入してください。
- 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号
電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。
- 科目コード・科目名
科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。
- 単位
各科目の所定単位を記入してください。
- 合計単位
必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- 科目コード及び科目名の記入漏れ
- 科目コードと科目名の不一致
- 不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- 「卒業論文」、「教育実習」、「教育実習前・事後指導」及び「教育実践演習②」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」は履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- 履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
- スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- 単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- 年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
- ・履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとなりません。143ページ以降の『3 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料納入していない場合、受講は認めません。

3 講座を申し込む

申し込み上の注意事項


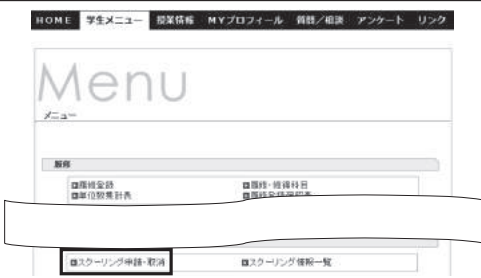
「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアドレス）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。 履修登録を行っていない科目は表示されません。123 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL： http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。					
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。					
<p>【ポータルサイト申込期間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>スクーリング名</th> <th>ポータルサイトによる申込期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期スクーリング</td> <td>2018年6月7日（木） 10：00～ 2018年6月20日（水） 24：00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申込開始日にならないと、夏期スクーリングの講座は表示されません。</p>			スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間	夏期スクーリング	2018年6月7日（木） 10：00～ 2018年6月20日（水） 24：00
スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間					
夏期スクーリング	2018年6月7日（木） 10：00～ 2018年6月20日（水） 24：00					

3 「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、**申請** ボタンをクリックしてください。

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1 申込方法の1の手順で、ログインしてください。

2 「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。
※申込期間終了後は、「スクーリング申請・取消」の「申請済みスクーリング一覧」に表示されなくなるので注意してください。

3 申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1 申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。

2 「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、**取消** ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

ア 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

イ 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

ウ 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

エ 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

※平成29年9月よりスクーリング併用試験方式の希望の有無が不要となりました。

受講科目のレポートを必要通数提出している場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

尚をすべて記入してください。

夏期S
平成 年 月 日作成

平成30年度夏期スクーリング受講届

受講期	講座コード	講座名	充当科目コード
1期			
2期			
3期			
4期	ア	イ	ウ
5期			
6期			

■ 提出締切日 **【平成30年6月20日(水)】** 窓口提出：事務取扱期限内
郵送提出：必着

■ 郵送又は窓口にて、提出してください。

■ これは、**夏期スクーリングの受講届**です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込む場合、無効となります。

■ 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

■ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。

■ スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動的にスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号					
フリガナ					
氏 名	工				
自宅電話番号					
郵便局印番					

教務課受付印

4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を提出してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「併用方式希望」を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様、提出締切日までに必着です。

《記入例》

平成 年 月 日			
日本大学通信教育部 御中			
平成 30 年度スクーリング受講講座変更届			
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。			
記			
(当初の受講講座)			
スクーリング 開講期	講 座 コード	講 座 名	充 当 科 目
夏期 2 期	COB1	英語 A	C10100
(変更後の受講講座)			
スクーリング 開講期	講 座 コード	講 座 名	充 当 科 目
夏期 2 期	COB2	英語 B	小田井 勝彦
夏期 3 期	COC1	哲学	嘉吉 純夫
上記のとおり相違ありません。			
学 生 番 号	2	2	1 7 3 9 9 9
フリガナ	ニチ タイ タ ロウ		
氏 名	日 大 太 郎		
自宅電話番号	0 3 - 5 2 7 5 - 8 9 1 1		
緊急時電話番号	0 9 0 - ●●●● - ●●●●		
			教務課受付印

1 受講資格審査結果を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を通知します。ポータルサイトでの申請者には送付されません。ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて同様の通知をPDFファイルで閲覧できますので、確認してください。

《受講資格審査結果通知書例》

スクーリング受講資格審査結果
2018年7月7日

スクーリング種別：夏期
開催地：東京

受講が許可された場合は、「○」が表示されます。

講座コード	講座名	担当講師	受講許可	併用	充当科目	充当科目名	単位
COB2	英語 B	小田井 勝彦	○	×	C10400	英語Ⅳ レポート未提出	1
						不備理由	

① 受講科目のレポートを必要通数提出している場合、スクーリング併用試験方式となり、「○」が表示されます。そうでない場合は、「-」が表示されます。

② 申込みの不備があった場合に表示されます。2-④の主な不備理由一覧を参照ください。

日本大学通信教育部
東京都千代田区九段南1-8-28
電話：03-5275-8911

〒102-8005
東京都千代田区九段南
4-8-28
日大 大館 様
22173999
(スクーリング受講資格審査結果通知)

なお、異議のある場合は、教務課（試験係）まで問い合わせください。
ポータルサイトと受講届（はがき）の両方から申込みがあった場合、「希望日程重複」のメッセージが表示されますが、一方で受講許可が「○」になっていれば問題ありません。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験方式の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	スクーリングを併用方式で受講できます。
—	不許可もしくは併用必要なし	スクーリング積み重ね方式で受講もしくはスクーリング1回のみで修得できる講座です。

※受講許可後は、一切の変更ができません。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○修得済み

既に単位修得をしている科目の申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。なお、この不備は受講届から申込みを行った場合にのみ発生します。
(ポータルサイトから申込みの場合、修得済の科目は表示されません)

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続きを行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

7月13日（金）《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

VI 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。
納入がない場合、いかなる理由があっても受講はできず、成績も反映されません。

1 受講料：1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」のみ 13,000円（コンピュータ等実習料を含むため）

2 振込用紙発送予定日：7月6日（金）

発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話03-5275-8925）に連絡してください。

3 納入期限：7月23日（月） 銀行窓口 当日取扱時間まで

4 納入方法

必ず大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から振り込んでください。

「博物館実習Ⅰ」・「教職実践演習②」は受講料納入方法が他の講座とは異なります。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けません。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

既に所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」又は「教材購入願」によって入手する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（218ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課宛てに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「資料・申請書」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課宛てに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入（通学証明書の発行）

通学定期券は、正科生（教職生含む）がスクーリング受講を目的とし、スクーリング期間中、乗車券にて通学するより、定期券で通学の方が安価な場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	①「学生番号」, 「氏名」, 「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ②「通学区間」欄に対象区間及び経由(乗り換え駅)を記入してください。 また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
必要書類 学生課窓口にて記入	① 通学定期乗車券発行控<全員必要> ② 通学証明書<都営地下鉄, 都電, 各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要> ③ 滞在先届<スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要>
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から以下「通信教育部最寄駅」までの最短経路
購入手続き	① 学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて、所定の用紙に記入の上、「経路確認」印の押印を受けてください。 ② 通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他 注意事項	① 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。 ② 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。 ③ 「経路確認」印は、スクーリング期間内に限り有効です。 ④ 科目履修生は対象外です。

<通信教育部最寄り駅>

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄り駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅（三田線） 神保町駅（三田線・新宿線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることとなります。不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

①通学以外の目的で使用すること。	③記名人以外が使用すること。
②現住所及び通学区間を偽ること。	④他人に譲渡・貸与すること。

4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

学割証は、科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席するため、片道101kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り、使用することができます。

申込方法	巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。郵送の場合は、返信用封筒（82円切手貼付、宛名明記）を同封してください。
発行条件	以下の全項目に該当すること ①正科生（教職生含む）であること。 ※科目履修生は対象外 ②科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。 ③JR各社の鉄道又はバスを使用すること。 ※JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。 ④乗車距離が片道101km以上であること。
割引額	普通乗車券運賃の2割（特急券・指定券は割引対象外）
乗車日（有効期間）	乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間で選択できます。学割証には交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが、この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間内でなければ、乗車券は購入できません。
発行枚数	原則として1枚（1枚で往復が購入できます）。 ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

往復乗車券 有効期間	片道の距離 (km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
	有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間
	※学割証の申請枚数は、目的地までの距離と滞在期間によります。例えば、名古屋在住の方が、東京で開講されるスクーリング（3日間）を受講するのに、東京～名古屋間（366 km）の学割を申請する場合、有効期間は6日間となり、往復1枚の申請で済みますが、有効期間を越えて乗車する場合は片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。					
発行所要期間	<p>各行事ごとに定められた発行開始日以降、「学割証交付願」を受理してから2日後（事務取扱休業日を除く）に発行します（即日発行はできません）。郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。</p> <p>※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。</p>					
購入方法	JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。					

<発行開始日>

スクーリング名	日 程	発行開始日
夏期スクーリング 第1期	7月28日（土）・7月29日（日）	
夏期スクーリング 第2期	8月1日（水）～3日（金）	
夏期スクーリング 第3期	8月4日（土）～6日（月）	
夏期スクーリング 第4期	8月8日（水）～10日（金）	
夏期スクーリング 第5期	8月11日（土）～13日（月）	
夏期スクーリング 第6期	8月15日（水）～17日（金）	

注意事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用例】

①記載事項を改変すること。	④購入した乗車券を他人に譲渡すること。
②記名人以外が使用すること。	⑤鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③有効期間外に使用すること。	⑥その他、不正に使用すること。

◆よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？
→A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（8月1日～3日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？
→A 2. 乗車日欄に行8月1日，帰8月3日と記入し，必要枚数欄に3枚，理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「振込用紙（銀行領収印の押印されているもの）」を必ず携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成30年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込みを「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	9月上旬
--------	------

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたレポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

クールビズについて

地球温暖化対策の取組として、日本大学通信教育部ではクールビズを推進しています。

これにより、教室内は冷房の設定温度が高めになりますので、各自、服装の調節や水分補給等に心がけ、体調管理に留意してください。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、教職員も軽装（ノー上着、ノーネクタイ、半袖ワイシャツ等）とさせていただきますのでご了承ください。

- 1 館内の冷房の温度を 28℃に設定します。
- 2 学生ホール、廊下及び事務室の照明を一部消灯します。

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯する必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要になります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落とし物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出てください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、スクーリング等でのインフルエンザ等の集団感染が危惧されます。

学生の皆さんは、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合もありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙，歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお，試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は，保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は，本紙「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」に記入し，受講初日までに学生課に提出してください。

※不測の事故発生時の対応に必要なため，必ず提出してください。

※郵送では受付しません。

※通学定期券購入の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では，歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 市ヶ谷，JR 水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は，「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は，条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが，授業中に起きる不測の事態に備え，身の安全が確保できるよう，以下のとおりの対応について行動方針を示しますので，熟読の上，ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え，学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば，帽子，長袖，安全な靴，タオルやマスク，学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯，自宅までの帰宅経路の地図，携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

X オープン受講

通信教育部の在学生在で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手続内容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
受講資格審査	・各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行う。 ・在在学生は、受講予定の科目を現学籍で修得済みでない場合、オープン受講は許可されません。
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお、受講学生の調整等により、「受講許可通知書兼納金票」が発送予定日より遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。
受講料の納入	①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
授業開始	・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

- ・履習届
- ・夏期スクーリング受講届
- ・「博物館実習Ⅰ」受講届
- ・オープン受講届 通信教育部（在学生用）
- ・オープン受講届 社会人等（卒業生用）
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・夏期スクーリング受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・証明書交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

注意事項①

「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

見本 表

01234-567890

指定受取人
おなまえ

300円

おとこ
おなまえ

発行日付印

定額小為替証書

定額小為替払渡票

01234-567890

300円

この証書は機械で処理しますので、折り曲げたり、汚したりしないでください。

注意事項②
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

注意事項③
為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

見本 裏

ご 注 意

- この証書をお受取人に送られる際は、裏面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人が為替金をお支払いすることとし、これにより生じた損害については、発行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社が発注した者を含みます。）は責任を負いません。
- この証書は、他の銀行その他銀行の定める金融機関内でのみ取り扱えることができます。
- 当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行その他金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同じ欄の面へのご入金等をすることができます。なお、証書の発行の日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。
- 為替金をお受け取りになる場合は、裏面の所定の欄におとこ、おなまえを記入し、押印を押してください。
- 為替金をお受け取りを代理の方に委任するときは、委任欄に代理の方のおなまえを記入し、印を押してください。
- 代理の方がおなまえを記入し、印を押してください。
- ゆうちょ銀行または郵便局では、為替金をお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただくため、要領外の証書または郵便局証明書の取扱いをお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。
- 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならなかったときは、お申出により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年前までのまにしておきますと、証書の再交付を請求する権利及び為替金をお受け取る権利がなくなります。

委任欄

(代理人) おなまえ
上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。

(委任者) おとこ
おなまえ

注意事項④
この欄には何も記入しないでください。

注意事項⑤
右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

(お客さま控)

定額小為替受領証書

見本 表

01234-567890

300円

料金 100円

発行日付印

(お客さま控)



履修登録年度 平成 年度

履 修 届

提出年月日 平成 年 月 日

学生番号	フリガナ 氏名	電話番号 (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
------	------------	-------------------------------

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。
 教職生および2学年以上の教職コース登録者は
 年間 60 単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

□内をすべて記入してください。

平成 年 月 日作成

平成 30 年度夏期スクーリング受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
1期			
2期			
3期			
4期			
5期			
6期			



- 提出締切日 〔平成 30 年 6 月 20 日 (水)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、夏期スクーリングの受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動的にスクーリング併用試験方式になります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

平成 30 年度「博物館実習 I」受講届

下記のとおり、「博物館実習 I（学内実習）」【8月8日（水）～10日（金）】の受講を申し込みます。

学部・学科・学年	学部		学科 専攻 ()	年
学 生 番 号				
氏 名				
連絡先電話番号				
メールアドレス				
博物館実習Ⅲ（館務実習）実習館の受入状況	実習館の受入状況	決定	申込中	未定
		※決定者は実習館・実習期間も記入のこと ※未決定者は現在の状況や、今後の予定（構想）等を備考欄に記入のこと		
	実習館名			
	実習期間	月 日	～	月 日
必要単位修得後 (いずれかに☑)	<input type="checkbox"/> 卒業希望 (年 月)		<input type="checkbox"/> 退学予定	
備 考				

受講届提出締切 平成 30 年 6 月 20 日（水）必着

【注意】

- ・「博物館実習 I」の受講手続は、ポータルサイトからは申込できません。本紙で申し込みをしてください。
- ・別途、履修登録が必要です。

履修登録	ポータルサイト	履修届（用紙）
締 切 日	6月20日（水）24時（厳守）	郵送：6月20日（水）必着 窓口：6月20日（水）事務取扱時間内必着

- ・その他、受講条件及び諸注意事項は、「夏期スクーリングの手引」3ページを参照してください。

スクーリングオープン受講届

下記のとおり，スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部			学科 専攻（ ）
学 年	年	学生番号		
フリガナ				
氏 名				

【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

事務局使用欄

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 30 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講座 コード	講座名	充当科目

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講座 コード	講座名	充当科目

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリガナ							
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

教務課受付印

教務課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成30年度夏期スクーリング受講申込辞退願

- 1 学 生 番 号 _____
- 2 氏 名 (フリガナ) _____
- 3 連絡先電話番号 _____ - _____

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退
 (□にチェック) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを
 以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		
3期		
4期		
5期		
6期		

- 5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】7/13（金） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成30年度夏期スクーリング」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
（提出先：研究事務課）

教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号	- -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード	教材名	配本 単位数
1			単位
2			単位
3			単位
4			単位
5			単位
6			単位
7			単位
8			単位
9			単位
10			単位
合 計			単位



ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

- ※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
- ※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
- ※消えないボールペンを使用し、記入してください。
- ※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
- ※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
- ※2冊組教材はセットコードを記入してください。
- ※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。
所定の「教材配本申請書」で申請してください。
一度提出した書類の追加・変更はできません。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。
教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

スクーリングの手引の「教材発送照会」画面の「登録（購入）」から用紙を作成・出力後、必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料250円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又はFAXをしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代＋送料（実費）＋手数料（250円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（F A X）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

通 材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号				氏 名	フリガナ
連絡先電話番号				- -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別
				講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数			合計金額	
_____ 科目			_____ 円	



- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



通学定期乗車券発行控

		平成	年	月	日
学 科	学 年	学 生 番 号			
大 学 院					
フリガナ		性 別	年 齢		
氏 名		男・女	才		
現 住 所					
電 話	()				
会社線名		駅～	駅	經由	
通学区間		会社線名	駅～	駅	經由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

平成30年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、平成30年度 以下のスクーリングを受講する予定です。
つきましては、当該スクーリングを受講しなくなった場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。

なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づき処分を受けることを
誓約いたします。

また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従
うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請			
学部		学科（専攻）		学生番号		
氏 名					年齢 歳	
現住所 〒 -						
TEL ()						
申請事由（該当箇所に○を記入してください）						
東京スクーリング（ 月期）				卒業論文指導（ 月 日）		
夏期スクーリング（第 期）				総合面接試問		
地方スクーリング（ 月期）			開講地 （ ）	科目修得試験（第 回）		
昼間・夜間スクーリング（ 曜日 時限）				その他（ ）		
乗車区間	自	線 駅		至	線 駅	
乗車日	行	平成	年	月	日	帰 平成 年 月 日
必要枚数	枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること）					
	※理由					
利用交通機関	鉄道・バス・その他（ ）			受取方法	窓口・郵送	

【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が101kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。

必ず裏面の注意事項を確認してください。

- 併せて提出するもの
- ・発行手数料（為替又は現金書留）
 - ・在学生：学生証の写し／離籍者：公的身分証明書の写し
 - ・返信用封筒（郵送受領の場合のみ）

証明書交付願

平成 年 月 日申請

所 属	学 部	学 科	学 生 番 号				フリガナ						
正 科 生								氏 名					
科目履修生	科目履修生番号							昭和・平成 年 月 日生					
昭和	年	月	日	入学	昭和	年	月	日	卒業・修了	本籍地		都道府県	
平成				編入学 再入学	平成			退学・在学中					
現住所	〒 — — — — — 電話番号 — — — — — 携帯電話 — — — — —												
成績証明書 (単位数・成績を表示)			300円	通	※ 2学年修了証明書			300円	通				
単位照合票 (在学生のみ発行)			300円	通	※ 資格試験修了証明 (以下のいずれかに○を付す)			300円	通				
※ 卒業証明書			300円	通	資格試験名	司書教諭・学芸員 その他 ()							
※ 卒業見込証明書 (平成 年 月)			300円	通	※ スクーリング出席証明書 (以下を記入すること)			300円	通				
※ 在学証明書			300円	通	年度	種別	開講地						
※ 退学証明書			300円	通	※ 人物考査書			300円	通				
注) 教員免許状取得見込証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1	注) 教員免許状申請用学力に関する証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1				
証明方法 新法・旧法				別表第4	証明方法 新法・旧法				別表第4				
教科		種類	中1種 中2種 高1種	300円	通	教科		種類	中1種 中2種 高1種	300円	通		
【記入上の注意】 教科欄に申請希望の教科をすべて記入し(例:「社会・公民・地歴」), 種類欄は希望種類すべてに○を付すこと。						教科		種類	中1種 中2種 高1種	300円	通		
※ 大学院受験用調査書			300円	通	教科		種類	中1種 中2種 高1種	300円	通			
◎用途(具体的に)必ず記入する						【記入上の注意】教科欄は1行につき1教科を記入すること。種類欄はいずれかひとつに○を付すこと。							
厳 封 要 ・ 不 要 (希 望 に ○ を し て く だ さ い)						合 計 通 円							
受領方法			登 校 (月 日) ・ 郵 送 (返 信 用 封 筒 を 添 付 (切 手 貼 付) す る こ と)										

※必ず裏面の注意事項を確認し、了承されましたら、チェックをお願いします。

注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。また、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。申請時に本学通信教育部HP又はポータルサイトにて事務取扱日時を確認の上、期限に余裕をもって申請してください。
- 0 郵送での請求の場合、学生証（離籍者は運転免許証・パスポート・健康保険証等の公的身分証明書）のコピーを同封してください（コピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかります）。また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証または公的身分証明書を提示してください。

また、身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、教務課へ確認してください。

- 1 「英文証明書」の場合には、この交付願ではなく、所定の用紙にて手続きが必要となります。本学通信教育部HP又はポータルサイトに掲載している「英文証明書作成依頼書」にて請求をしてください。
- 2 ※印の証明書は科目履修生には発行していません。また、主な証明書の種類及び発行条件は以下のとおりです。

種類	発行条件
成績証明書	最低1科目は修得済みであること。
単位照合票	在籍中であること。
※卒業証明書	本学を卒業していること。
※退学証明書	大学からの退学許可通知又は除籍通知を受け取っていること。
※在学証明書	請求時に年度授業料等を納入していること（スクーリング受講料ではない）。
教員免許状申請用学力に関する証明書	最低1科目は修得済みであること。
※卒業見込証明書	A) 4学年であること。 B) 3月卒業の場合、前年の4月1日現在で80単位以上、若しくは10月1日現在で90単位以上修得していること。 C) 9月卒業の場合、前年の10月1日現在で80単位以上、若しくは当年の4月1日現在で90単位以上修得していること。 D) 希望する時期の卒業手続を行っていること。
教員免許状取得見込証明書	A) 免許申請に必要な単位を当該年度中に修得する計画が成立すること（履修計画を添付すること。書き方は、⑤を参照）。 B) 編入学生で本学以外の単位修得機関で修得した単位を免許申請時に使用する場合は、当該単位修得機関の免許申請用学力に関する証明書（写し可）も添付すること。 C) 他教科免許の取得（教育職員免許法第6条別表第4）の場合は、基礎資格となる免許状の写しを添付すること。
※2学年修了証明書	A) 本学通信教育部に2年以上在籍していること。 B) 総合教育科目20単位、外国語科目いずれか1外国語8単位（文学専攻（英文学）は英語10単位）、保健体育科目2単位（保健体育講義1単位、体育実技1単位）、専門教育科目を含めて合計62単位以上修得済みであること。
※スクーリング出席証明書	該当するスクーリングの受講料を納入済みで、受講が終了していること。
※人物考査書	教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に確認してください。
※大学院受験用「調査書」	各大学の所定の用紙を添付してください。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に確認してください。

- 3 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合の履修計画の記載は、第○回科目修得試験○限受験予定・結果待ち、○○スクーリング受講予定・受講中、レポート○分冊提出予定・結果待ち等を記載してください。履修計画が不十分の場合は、確認の連絡をしますので、履修計画は必ずコピーを取り、自身でも計画に間違いがないか、無理がないか等を確認してください。
- 4 「教員免許状取得見込証明書」の取得見込年月日は、前期生は3月31日、後期生は9月30日となりますが、後期生で3月31日付けでの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
- 5 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- 6 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することになりますので、注意してください。


	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通		4通まで	5～10通	11～20通
厳封あり	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕	205円 〔定形外〕	厳封なし	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。誤って記入した場合、確認に時間を要し、免許状申請等ができない場合がありますので、留意してください。

提出対象者

スクーリング期間中に、大学登録住所以外から通学する学生のみ。

滞在先届 [平成30年度夏期スクーリング用]

学 部	学科(専攻)	学 生 番 号					氏 名	
							フリガナ	
スクーリング期間中滞在先住所(宿泊施設名, 知人宅名等もご記入ください。)								
〒 - _____ 方								
電 話 () _____								
最 寄 駅 [_____ 駅]								
受講スクーリング _____ スクーリング (_____ 期)								
_____ 第 期								
通学区間(駅名)								
 市ヶ谷 水道橋・神保町・後樂園 (いずれかに○)								
現 住 所(大学登録住所)								
〒 - _____								
電 話 () _____								

注意事項

- ① 本届は、スクーリング開講期間中に、大学登録住所以外から通学する場合に限り、提出が必要です。
- ② 記入後、コピーしたものを添えて、学生課窓口に提出してください。
- ③ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時に大学が各種対応をするために利用します。

提出先

日本大学通信教育部 学生課

提出期限

受講するスクーリングの授業初日まで(窓口・郵送ともに事務取扱時間内必着)

休暇依頼状(勸奨状)申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状(勸奨状)の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

申 込 者	学 部		学科(専攻)	
	学生番号		学 年	
	氏 名			
	日中連絡先 電話番号			
	勤 務 先 正式名称			
	所属部署			
受 講 す る スクーリング	種 別		開 催 地	
	受 講 期 間			
提 出 先	勤 務 先 正式名称			
	代 表 者 名 代 表 者 名			
	代 表 者 名 氏 名			

【注意事項】

- *スクーリング受講許可後に発行します。
- *勤務先に対してのみ発行します。
- *提出先には勤務先の代表者名を記入してください。
- *休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- *送付先を明記した返信用封筒(長形3号・82円切手貼付)を必ず同封してください。
- *複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

庶務課受付印

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28



JR 中央・総武線 (各駅停車) 市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線, 東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

水道橋キャンパス

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1



JR 中央・総武線 (各駅停車), 都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線, 東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ャ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	V-2 履修登録をする表紙（履修登録締切日）
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆併用	
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のレポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙（レポート提出締切日）
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙（受講届提出締切日） V-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか（受講届のコピー）	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	V-3 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



各種連絡先

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ○スクーリングの手續等に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○通学定期・学割・滞在先届に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | ○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項
庶務課 03-5275-8901 |

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 関 正晴 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部